



CS研創立30周年記念誌

2015

私立大学キャンパスシステム研究会

CS研のアルバム

～活動を振り返って～

分科会合同研修会 その1



2005年度 信州松代ロイヤルH



2006年度 信州松代ロイヤルH



2007年度 榎原ロイヤルH



2008年度 信州松代ロイヤルH



2009年度 信州松代ロイヤルH



2010年度 長浜ロイヤルH

分科会合同研修会 その2



2011年度 信州松代ロイヤルH



2012年度 信州松代ロイヤルH



2013年度 浜名湖ロイヤルH



2014年度 浜名湖ロイヤルH



2015年度 浜名湖ロイヤルH



2015年度 浜名湖ロイヤルH

海外セミナー



2005年度 韓国



2005年度 韓国



2005年度 韓国



2011年度 フィンランド



2011年度 フィンランド



2011年度 フィンランド

10年間の思い出

2005年度



総会 高輪プリンスH 6月



総会 高輪プリンスH 6月



合同研修会 信州松代ロイヤルH 8月



第一分科会 日本女子大学 12月



第二分科会 白鷗大学 10月



第三分科会 名古屋外国語大学 10月



第四分科会 名古屋大学 10月



技術講習会 産業能率大学 11月

2006年度



総会 富士通(株) 6月



合同研修会 信州松代ロイヤルH 8、9月



第一分科会 熊本大学 10月



第二分科会 大東文化大学 12月



第三分科会 芝浦工業大学 12月



第四分科会 富士通(株) 10月



技術講習会 日本女子大学 11月



管理職セミナー 富士通(株) 5月

2007年度



総会 富士通(株) 6月



総会 富士通(株) 6月



合同研修会 榎原ロイヤルH 8月



第一分科会 千歳科学技術大学 6月



第二分科会 武蔵工業大学 11月



第三分科会 東洋学園大学 7月



第一～四分科会 富士通(株) 5月



最新技術セミナー 富士通(株) 3月

2008年度



総会 富士通(株) 6月



合同研修会 信州松代ロイヤルH 8月



第一分科会 東海大学 5月



第二分科会 千葉工業大学 11月



第三分科会 大阪経済大学 11月



第四分科会 武蔵工業大学 5月



第五分科会 千葉工業大学 11月



技術講習会 富士通エフ・オー・エム(株) 7月

2009年度



総会 富士通(株) 6月



合同研修会 信州松代ロイヤルH 8月



第一分科会 日本女子大学 10月



第二分科会 立教大学 12月



第三分科会 富士通(株) 9月



第四分科会 厚木市役所 10月



第五分科会 富士通(株) 9月



技術講習会 富士通エフ・オー・エム(株) 9月

2010年度



総会 富士通(株) 6月



合同研修会 長浜ロイヤルH 9月



第一分科会 筑波大学 12月



第二分科会 神戸学院大学 11月



第三分科会 東京工科大学 12月



第四分科会 神田外語大学 7月



第五分科会 富士通(株) 8月



技術講習会 富士通エフ・オー・エム(株) 7月

2011年度



総会 富士通(株) 6月



合同研修会 信州松代ロイヤルH 8月



第一分科会 武蔵大学 5月



第二分科会 共立女子大学 6月



第三分科会 工学院大学 5月



第四分科会 東京都市大学 12月



第五分科会 富士通(株) 6月



管理職セミナー 明治大学 6月

2012年度



総会 富士通(株) 6月



合同研修会 信州松代ロイヤルH 8月



第一分科会 津田塾大学 6月



第二分科会 帝京大学 6月



第三分科会 聖学院大学 6月



第四分科会 明治大学 10月



第五分科会 名城大学 10月



第六分科会 甲南大学 7月

2013年度



総会 富士通(株) 6月



合同研修会 浜名湖ロイヤルH 8月



第一分科会 青山学院大学 12月



第二分科会 慶應義塾大学 5月



第三分科会 シスコシステムズ(同) 5月



第四分科会 京都産業大学 7月



第五分科会 富士通(株) 10月



第六分科会 関西大学 6月

2014年度



総会 富士通(株) 6月



合同研修会 浜名湖ロイヤルH 8月



第一分科会 公立はこだて未来大学 10月



第二分科会 富士通(株) 12月



第三分科会 (株)内田洋行 5月



第四分科会 関西学院大学 10月



第五分科会 大手前大学 10月



第六分科会 大阪工業大学 10月

2015年度



総会 富士通(株) 6月



合同研修会 浜名湖ロイヤルH 8、9月



第一分科会 立正大学 6月



第二分科会 札幌学院大学 6月



第三分科会 津田塾大学 7月



第四分科会 東京都市大学 5月



第五分科会 芝浦工業大学 7月



第六分科会 近畿大学 6月

目 次

巻頭言

私立大学キャンパスシステム研究会会長

阪井 和男

30周年記念式典風景

私立大学キャンパスシステム研究会30周年記念式典風景

寄稿

CS研の源流

伊藤 謙哉

1990年代前半のCS研活動を振り返って

山崎 和海

CS研の思い出

望月 達彦

CS研のエッセンス

中島 善彦

「CS研に参加したい」と思わせよう

遠山 紘司

すばらしい「絆」

千葉 敏雄

「縁は異なるもの」

小山 信弥

CS研の発展を祈念して

得永 義則

楽しい思い出そして絆

平森 主

感謝！！

石井 明

CS研で学ぶということ

田中 俊介

俗に「10年は一昔」と申しますが・・・

福森 幸久

30年という年月

町田 富夫

CS研30周年にあたり

會澤 信

CS研との出会いに感謝

可児 光眞

私とコンピュータ&CS研

中芝 義之

CS研への感謝状

星野 励

振り返りのひととき

清水 幸子

CS研に参加して

須賀 人志

第四分科会お祝いメッセージリレー

第四分科会 2015年度運営委員

CS研関西

正司 久博

CS研の発展を願って

吉永 裕司

CS研活動をとおして

石渡 実

CS研への思い

高山 英文

祝 CS研 創立30周年

山岸 俊則

入会一年を振り返って

間瀬 悟史

CS研創立30周年によせて

北村 和人

CS研事務局 お祝いメッセージリレー

CS研事務局

CS研と出会えたこと

辻本 成彦

資料

2 0 1 5 年度会員校一覧
歴代役員一覧
歴代運営委員長一覧
表彰者一覧
C S 研 3 0 年間のあゆみ
活動実績一覧
海外セミナー一覧
情報戦略フォーラム実施一覧

あとがき

私立大学キャンパスシステム研究会副会長 山崎 達朗

卷 頭 言

ごあいさつ

私立大学キャンパスシステム研究会
会長 阪井 和男
(明治大学)

私立大学キャンパスシステム研究会（略称 CS 研）は今年の 2015 年 11 月に創立 30 周年を迎えます。これもひとえに会員および賛助会員の皆様方、ならびに OB・OG、事務局の皆様方のご支援のおかげです。ここに、厚く御礼申し上げます。

はじめに、CS 研の意義を振り返ってみたいと思います。本研究会の前身として、私立大学の富士通ユーザー会が設立されたのが 1985 年 11 月でした。両会に共通するのは、会員大学の教職員が大学の枠を越えて自主的な運営がなされてきたことです。CS 研の活動を担ってきた私たちにとっては当たり前の活動だったのですが、実はこのことは他ベンダーのユーザー会や研究会には見られない特徴なのです。これを以下で考えてみましょう。

まず私自身のことですが、明治大学に奉職した 1990 年から、当時の情報科学センター・向殿政男所長（CS 研会長：1990 年度～1993 年度）のご推挙により、CS 研第一分科会に所属して活動を始めました。ちょうど 5 周年を迎えるころから 10 周年にかけてのことです。ここでの私の経験は、その後に明治大学で推進した情報環境整備や情報戦略立案においてとても貴重な原体験になったのです。

たとえば、明治大学リバティタワーは 9,000 名の学生収容力を誇る先進の情報インフラを備えた教育棟として 1998 年秋に第 1 期工事が竣工しましたが、この情報環境の構築において CS 研の活動は決定的に重要な役割を果たしています。

当初、担当理事からは「リバティタワーは教育棟であり、教室は特殊教室ではなく一般教室である」と言われました。そこで「建築後何年間くらい使われるのか」と考えました。設計会社に尋ねると「50 年から 100 年もつ」と言うのです。すると、100 年先まで見通した一般教室と情報インフラのビジョンを作る必要があることになります。この答えは、CS 研の海外視察（アメリカ）によって得られました。さらに、学内の多くの部署や十数社を超える企業群と連携しつつ複雑なプロジェクトを教職員一体となって運営するノウハウについても、CS 研分科会活動から得られたものでした。

このように、CS 研は大学における教育研究環境を向上させることを目的としつつ、キャンパスシステムに関する諸問題を大学間および大学と富士通間相互で解決するなど、会員相互の情報交換と親睦の場として着実に発展してきたといえます。30 周年という節目を無事に迎えることができたことは、この活動のひとつの成果にしか過ぎません。結果として、CS 研の目標である「ヒューマンネットワークの充実」そして「相互利益の向上」が実現されてきた成果があったからこそ 30 周年を迎えられたといえるでしょう。

CS 研の歴史が教えてくれること。それは、大学の枠を越えた教職員の自主的な活動は「知の共鳴場」として私たちの未来を拓くパワーがあるということです。創立 30 周年記念事業の一環として「CS 研創立 30 周年記念誌」をここに発刊させていただきました。本誌は本研究会の発展にご尽力いただいた方々からの寄稿を中心に構成したものです。CS 研の歴史が語る「知の共鳴場」のパワーをどうぞお楽しみください。

30周年記念式典風景

2015年6月5日 CS研創立 30周年記念式典

阪井 CS研会長よりご挨拶

CS研も創立30周年となりました。私は会長七代目となります。30年といえますといろいろとありましたが、こうして懐かしい方々にもお集まりいただくことが叶いまして、本当にありがとうございます。ぜひ、ごゆっくりとご歓談いただければと思います。



阪井 和男会長
明治大学

華麗なチアリーダーの オープニング!!!



フロンティアレッツ
(富士通チアリーダー部)

野崎 IS研会長よりご祝辞

30周年、まことにおめでとうございます。30年前は、インターネットもウィルスも無かった時代です。それから30年で ICT 環境が欠かせない時代になりました。これからも変化する時代に適応した研究会になることを祈念し、ご挨拶とさせていただきます。



野崎 剛一様
長崎大学

司会進行



清泉女子大学
アナウンス部
藤野さん、佐藤さん

司会進行補佐

福森 幸久幹事
産業能率大学



町田 富夫幹事
明治大学



下垣 伸吉会計監査
立正大学

村上 SS研会長よりご祝辞

30歳おめでとうございます。大学における情報の位置づけは大きく変わってきています。今の情報環境を踏まえて「大学は何をすべきなのか」をCS研、IS研、SS研でいっしょに考えていきましょう。



村上 和彰様
九州大学



田中 俊介幹事
共立女子大学

●すべしやるインタビュー● 田中幹事編

仕事に就いて、右も左も分からずに過ごしていた時にCS研に参加させていただいて、いろいろと教えていただきました。20年ぐらい前です。大学も「コンピュータがないと良い授業が出来ない」という状況になっています。学生はデジタルをうまく利用して、入学したての友達作りのきっかけにしているようです。デジタルで知り合った友達とリアルな友人関係を築いていっています。これからの未来は「どうなるのか、良くわからない」ということではないでしょうか。大学としては、コンピュータのスキルの教育ではなく、リテラシーの教育に重点をおくべきではないかと思っています。



川尻 則夫会計監査
中部大学



篠田 有史幹事
甲南大学

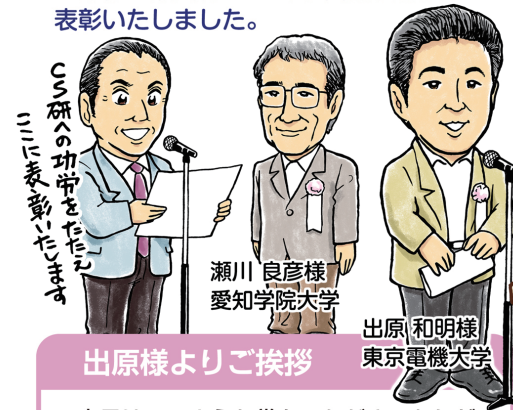
大久保副会長 による乾杯



大久保 英嗣副会長
立命館大学

特別功労者表彰

CS研創立以来、最もご貢献いただいた出原様、瀬川様を30周年特別功労者として表彰いたしました。



瀬川 良彦様
愛知学院大学

出原 和明様
東京電機大学

出原様よりご挨拶

本日はこのような賞をいただき、ありがとうございました。懐かしい方々にもお会いできて嬉しく思っております。私は、まだ卒業には早いので、いろいろと参加出来る機会があれば、お手伝いさせていただきたいと思っています。

●すべしやるインタビュー● 會澤幹事編

コンピュータを使い始めて30年です。ワープロは富士通のオアシスとか使っていました。当時はコンピュータを使えることが最先端のスキルでした。最近の学生さんはコンピュータを使うことで、調べるのは非常に楽になってます。彼らはコンピュータの存在自体にほとんど意識がなく、スマホだけでコンピュータ端末を持たない学生もいるぐらいです。大学は今、未来の「学生とコンピュータの関係」がどうなるべきなのか、一生懸命考えています。その教育にもコンピュータの力を活用していくことになると思います。今後のCS研の重要なテーマだと思います。



會澤 信幹事
東海大学

中芝 義之幹事
関西大学

可児 光眞幹事
清泉女子大学



大森 正士幹事
恵泉女学園大学



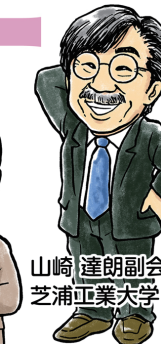
島崎 一彦幹事
専修大学



遠藤 桂一幹事
芝浦工業大学

●すべしやるインタビュー● 山崎副会長編

私の最初のコンピュータとの関わりは図書館の業務です。本のタイトルや著者情報をどうやってデータ化するかに取り組んでいました。ひたすらデータを貯め込んでいった時代で、「誰かが、何かに使うだろう」という感じでした。情報をデータ化すると個人で検索するのは簡単になりますが、それで全て終わりとはならなかったんです。「もっと調べて欲しい」という要望があり、巨大なデータと個人をつなぐ「架け橋」としての仕事が重要となってきました。今後はもっと人間がデジタル化し、コンピュータがアナログ化していくと思います。その中で「では、人間とは何なのか？」をCS研でも考えていくことになると思いますね。



山崎 達朗副会長
芝浦工業大学



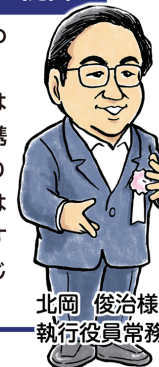
小糸 達夫幹事
関東学院大学

富士通 北岡様よりご祝辞

創立30周年おめでとうございます。一人一人の努力は足し算ですが、連携協力は掛け算になります。このCS研はその成果を生み出す場ではないかと存じます。



小林 澄人様
執行役員



北岡 俊治様
執行役員常務

OB 向殿様よりご祝辞

30年たっても、変わらないものですね。ぱっと見てもすぐに誰かわかる。CS研で培った仲間意識はとても強いです。大学を越えての集まりですから。今後の素晴らしい発展を期待しております。



向殿 政男様
明治大学顧問

齊藤様による 中締め



齊藤 剛前会長
東京電機大学



簡単に
締まらないのが
CS研!!!!

寄稿

CS研の源流

立教大学 伊藤 謙哉
(1986年～1989年 会長)

CS研 創立30周年おめでとうございます。

10年前に出版された20周年記念誌を改めて読み返してみますと、CS研の象徴であるところのヒューマン・ネットワークがいかにもすばらしく構築されたものであったかを、知ることができ、初代の会長として会員の方々とともに心から喜びを分かちあえたと思います。その内容につきましては20年誌の会員座談会や寄稿文でご覧頂けます。

この場では、CS研の前身である「私立大学FACOMユーザー研究会」との関連について、ご存知の方もおありでしょうが少しく触れたいと思います。

1972年（昭和47年）ごろ、当時コンピューターの分野で勢いのあったIBMに対抗するために、富士通と日立製作所の合併会社が九段下に6階ビルとして誕生しました。

ファコム・ハイタック（FHL）と命名されたこの会社は面白いことに、ビルの1、3、5階は富士通からの出向社員が使い（課名も1、3、5のみ）、ビルの2、4、6階は日立製作所（課名も2、4、6のみ）が占めました。この会社の仕事は官庁と文教の電算化が主体でしたが、当時大学生の就職に際しては、余談ですがけっこう評判のよい会社でした。

その頃から10年余り、「FHL」の奇数組の活躍と富士通の積極的な応援もあって、1985年11月の設立総会のあと「私立大学FACOMユーザー研究会」が発足しました。研究会の進め方につきましては大学・研究所におけるコンピューター利用の質の拡大が急務となってきましたので、「FHL」時代につづいて4つの分科会（研究教育、事務利用、センターの運用管理、図書館学術情報）を設け、各分科会の枠を超えた議論になりました。さらには年一回のメーカー、ユーザーが一体となった討論が活発化し、まさにヒューマン・ネットワークの真価が発揮され他に類をみない何年もつづくであろう有意義な研究会となりました。

この研究会では当初4つの分科会の実現の他、会員の増加、海外研修、出版物の刊行、会の名称変更など課題があり、その中で会の名称がなかなか決まらなかったのですが、その後、向殿 政男先生の時代に「私立大学キャンパスシステム研究会（CS研）」という素敵な名前が決まり私もほっとしました。

最後に、私が非常に気に入っていることがあります。それは年一回開かれている合同研修会の特別講演の人選についてです。もちろんコンピューター関係の深い著名人がいつも選ばれていてすばらしいのですが、コンピューターとは無関係だが誰でもぜひ話を聞きたいと思う講師の人選です。この会は2泊3日ですから当然CS研の会員同士が話をするチャンスが増え、ヒューマン・ネットワークがここでも研究会のさらなる発展につながるといわけです。そこでたとえば無礼と存じましたが過去の20年誌の中から講師を選ばせて頂きますと次の方々になるのではないのでしょうか（好みもはいています?！）

1990年8月 岡村 喬生氏（型破りオペラ歌手ロマンを語る）

2000年8月 海部 宣男氏（電波天文学で宇宙の謎に挑む）

2002年8月 大谷 由里子さん（吉本興業で大谷流人脈の作り方）

これからもすばらしい講師をお呼びしてCS研会員で会場を満杯にしてください。

1990年代前半のC S研活動を振り返って

立正大学 山崎 和海

(1990 年～1994 年 副会長)

私立大学キャンパスシステム研究会（C S 研）は、ユーザー研究会として設立されて、今年 11 月に創立 30 周年を迎えるとのこと、おめでとうございます。

私自身を振り返ってみても、C S 研の着実な歩みと歩調を合わせるかのように、1982 年から立正大学の情報システム化の一端を担ってまいりました。そして、1990 年から 1994 年までの 5 年間、C S 研の副会長としての任も担わせて頂きました。そこで、1990 年代前半の C S 研活動と、平成の初期（平成 5、6 年頃まで）までの大学の情報システム化の発展過程に焦点を絞って、簡単に振り返ってみたいと思います。

昭和の終わりの 1985 年代から 1990 年までの大学の情報システム環境は、汎用コンピュータ（メインフレーム）を核とした、入試システムに代表される典型的な「バッチ処理システム」の運用の一方で、日本語による「リアルタイム処理」でのデータベースシステム（例：学生情報システム）の開発とその運用といった大学における情報インフラ造りにあったと思います。そして、大学の情報処理教育にあっては、TSS を利用したプログラム言語学習から計量分析や統計解析等の情報活用教育が主流ではなかったかと思います。

年号が平成となった 1989 年から 1990 年代に入り、産業界における OA 化の波やダウンサイジング、そしてネットワーク化の確かな潮流の下、大学にあっても既存の情報基盤を基に、新たな教育・研究環境のインテリジェンス化への展開とともに、一方で、情報システム化へ投資することへの反省と見直しの時期に入っていたかと思います。また当時は、いわゆる文系大学における情報処理教育に対して、「コンピュータ嫌いを作る情報処理教育」といった批判が出され、「情報リテラシー教育（情報教育）」が強く標榜された時期でもありました。私が所属している立正大学経営学部では、ダウンサイジングの潮流に乗り、1989 年（平成元年）から「学生一人 1 台の携帯型（ラップトップ or ノート型）パソコン」を配布した“特別情報教育プログラム（情報活用教育）”を開始しております。本プログラムは、当然ですが、教育内容の見直しなどを含め、紆余曲折はありましたが、2015 年現在まで、「学生一人 1 台のパソコンによる情報活用教育」が続けられております。

またネットワーク化を前提に、大学にあっては、情報システム環境としての“インテリジェント・キャンパス”という概念に注目が集まり、「キャンパスそれ自体が大学の経営資源」であることを再認識させられたのもこの頃になります。

このように、1990 年代前半は、「IT（情報技術）」という言葉より、意識して「ICT（情報通信技術）」という用語を強く打ち出す方々が増え、メインフレームから脱却したダウンサイジングとネットワーク時代の幕開けといった情報技術や情報システムとともに、「情報概念のパラダイム変革」といった激流の渦中にあったように思います。

その後の 1990 年代後半から 21 世紀に入っても、情報端末や情報システム環境の変容（Windows、インターネット、SNS、タブレットなど）、情報倫理や情報活用教育、ICT を活用した高等教育の質的転換など、C S 研には尽きることのない研究テーマが転がっていると思いますが、「夢を形に」していくところが、C S 研の活動の本題だと思います。

C S 研参加者の方々にあっては、「将来ある学生の伸びしろ」を担保できるような「学生の夢と我々の将来とを重ね合えるような大学」づくりに邁進していただければと期待しております。

CS研の思い出

名古屋外国語大学 望月 達彦
(2007年～2011年 副会長)

私の私立大学キャンパスシステム研究会（CS研）との係わりは、本学園（中西学園）の電算システム室の室長に就任した時からです。本来の所属は教員ですが、本学園が経営している3つの大学（名古屋外国語大学、名古屋学芸大学、名古屋学芸大学短期大学部）の情報システムの開発に深く係わっており、理事長からの就任要請を受諾したのです。室長に就任した時、既にCS研の正会員になっていましたので、第一と第二分科会に登録しました。

分科会に参加して最も驚いたのは、会の運営がメーカ（富士通）主導ではなく、会員大学から参加している幹事や運営委員により行われており、富士通さんは事務局として裏方に徹していることでした。また例会後の食事会は、飲みニケーションによるヒューマンネットワークの充実に、かけがえのない機会となりました。

その後幹事を引き受けることになり、会員の皆様との接触が増え、今までにない多くの知識や情報を吸収させてもらうことが出来ました。さらに突然、副会長への就任依頼があり、快く引き受けることにして、5年間務めさせていただきました。副会長といっても、当時の会長の東京電機大学の齊藤先生の後ろに控えているだけでよく、楽に務めさせていただきました。

CS研に関して最も苦勞したのは、行事に参加するための授業との調整でした。3つの大学で多くの授業を担当しており、休講した場合はその補講が必ず求められていましたので、夏休みや春休みの期間に補講を行わなければならない、学生にはたいへん迷惑を掛けました。

CS研の活動の中で最も思い出に残っているのは、創立25周年記念企画の海外セミナー「フィンランド教育事情視察」です。当初は25周年に当たる2010年に実施する予定でしたが、諸事情により、やむなく翌年に延期することになりました。ところが、その年の3月に東日本大震災が発生し、関東地区の大学は多大な影響を受けたため、一時は実施が危ぶまれましたが、無事に実施することが出来ました。私は団長を引き受けることになり、名古屋の中部国際空港からもフィンランドへの直行便がありましたので、ヘルシンキ空港で合流しました。現地では、参加された皆様の行動や体調に全く問題なく、添乗員の美甘小竹様と現地コーディネーターのヒルトゥネン久美子様の完璧といえるサポート、並びに天候に恵まれたことにより、何の問題もなく予定のスケジュールを全うすることが出来、期待以上の成果を得ることが出来ました。

また、帰国後も参加者の皆様の絆は強く、富士通さんが撮影した視察旅行のビデオ撮影会や、懇親会が開催されました。特に印象深いのは、東通産業（株）の大賀様にお世話していただいた、六本木ヒルズのグランドハイアット東京で開催された、フィンランド大使ご夫妻をお迎えしての懇親会でした。普通ではなかなかお会いできない大使ご夫妻にわざわざお越しいただき、親しく歓談でき、たいへん感激するとともに、生涯の思い出の一つとなりました。これも大賀様ご夫妻の幅広い人脈のお蔭と、たいへん感謝しております。

私の人生において、CS研を通じてのヒューマンネットワークは、かけがえのないものとなっており、この会がますます発展されますことを、心より願っています。ありがとうございました。

CS研のエッセンス

日本体育大学 中島 善彦
(2002年～2010年 会計監査)

私立大学キャンパスシステム研究会創立30周年、誠におめでとうございます。

その活動の一端に参加させていただきましたことを大変嬉しく感じておりますとともに、会員校、賛助会員、事務局の皆様方をはじめ、折に触れて激励をいただいた諸先輩方、貴重なご講演等をお引き受けいただいた方々に心底からの感謝とお礼を申し上げます。

本学、日本体育大学は、「體育富強之基」を建学の精神として、開学以来一貫してスポーツを通じた心身の健康や優秀な競技者、指導者を育成することを追求してきました。

そのような、いわゆる理系、文系といった大学の枠組みとは一線を画す立場とも見られる本学にとっても情報化の流れは容赦なく押し寄せたのです。

年号が平成に変わり、オペレーティングシステムがMS-DOSからWindowsへ、またコンピューター同士のコミュニケーション(=通信)が社会を席卷する兆しを見せ始めたこの時期、本学では単体で運用されるたった数台のパーソナルコンピューターと相当数のワードプロセッサ専用機が唯一の情報機器と呼べる存在でした。

折しも18歳人口が減少傾向に至ることを目前として、数度に渡ってカリキュラムの改訂が行われたことに伴い煩雑化した事務処理を何とかしたい、それが本学のICTを活用することへの積極的な取り組みの入り口でした。

事務システム、Campusmateの導入です。

既存の事務フロア、お世辞にも綺麗とは言いがたい場所にパーティションで間仕切りをし、汎用機なんてとんでもない！オフィスコンピューター(Kシリーズ)でダウンサイジングです。今じゃダウンサイジングなんて車の用語になっているのかもしれませんがね。

システムの設計、構築、試験も連日夜遅くまでがんばったものです。

晴れて？無事に？運用に至ったわけですが、そこまでの苦労話よりも、その後の“後悔”と“光明”をお話ししたほうが良いと思います。

“後悔”、それはネガティブな話ではありません。

Campusmateの運用開始後、ほどなくCS研に参加させていただくようになった際に感じたことは「ああ、もっと早く、事務システムの導入時(前)にこの仲間たちと知り合いたかった。」

そうです。この仲間たちとの意見交換が、本学の事務システムの在り方に多く良質なエッセンスを加えてくれるのだとわかったのです。

そんなある種の“後悔”を感じたものです。

“光明”、これはそのとおりポジティブな話です。

CS研では、事務システムの在り方を考えるだけでなく、事務職員として、大学に身を置く者としての有り様、すなわち自らの啓発のための大きな力を養うことができたのです。

会員コラムではプレゼンテーション能力を養い、ご講演やその実践ではKJ法やワールドカフェ、Ph.P手法等の様々な知見、見識を得ることができる貴重なエッセンスを提供していただきました。

そんな未来に向けての“光明”を感じたものです。

私立大学キャンパスシステム研究会が、いつの時代においても、どんな世代に対しても、そんな素敵なエッセンスを与えられる会でありますように、心から願ってやみません。

「CS研に参加したい」と思わせよう

放送大学 遠山 紘司

(2011年～2013年 幹事)

CS研に関わりはじめて15年になる。2000年4月神奈川工科大学に赴任してすぐCS研を担当されていた先生から誘われた。当時、FDなる言葉が流行り始めた頃である。大学では教育開発センターというFDを中心に活動する部署の所属であった関係から第一分科会に登録したが最初は年に1、2回参加する程度であった。当時、関西を中心にGE (General Education) 研というのが活動しており、ここに重きを置きFDや初年次教育の考えを学んだ。

それに対し、活動の中心が関東にあるCS研は参加に便利であった。CS研に惹かれたもう一つの理由は構成員にある。ほとんどの学会やGE研を含めた研究会は構成員の大半が教員であるのに対し、CS研には事務系・技術系職員さらに企業からも参加しておられたことである。成り立ちが富士通のユーザー会として発足したとは言え、教員集団の中で育った私にとって新鮮であったし、私自身が大学は教員と学生が中心でなく、教員・学生・職員の3本柱がしっかりと組み合わなければレベルアップはないという考えを持っていたからである。

第一分科会しか知らないままCS研活動に参加する機会が増えてくるにつけ、他の分科会のことも気になりだした。「大学を良くしたい」「大学の改善に寄与したい」「他の大学の進んでいる点を学びたい」という気持ちはあるのだが、自分の所属する大学の様子を知ることさえままならない現実があった。たまたま第二分科会の予定を聞く機会が有り、タイトルに魅せられて仙台まで出かけたが充実した良い内容であった。その後、数年間幹事を担当し初めて全体像を知ることができた。幹事会等で皆さんが自大学の仕事とは別にCS研のために力を割いておられることも知った。活動内容は盛りだくさんで充実している。この努力の成果をもっと活かさないのだろうか。「CS研に参加したい」「他の分科会にも参加してみたい」と思わせるにはどうすればよいのだろうか。

第一から第六まである分科会は意味があって分けられているのだが、参加する会員にとっては夏の合同研修会にでて初めて全体像が分かるものであり、通常は登録時に申請した分科会の情報しか入らない。

もちろん、その気になって「CS研」を検索すれば他の分科会の様子を知ることができる。

これができるほどの人はかなりCS研に興味を持っている人であり、興味を持つ以前の人を引き込むものではない。初めて会員になった人、参加して1、2年目の人に全体像を知らせ、より興味を持ってもらうためにはどうすればよいのだろうか。

私の感じでは他の分科会に参加するためのバリアーは意外に高い。情報が入ってこないのだから無理もない。全ての情報を提供する必要はない。各分科会の案内時に、他の分科会の簡単な予定表、タイトルと日時だけでも提供してはどうだろうか。

予定表、参加申し込み送付と同時に”どなたでも参加歓迎”の文字を付して「出てみようかな」と思わせることが大切であろう。

CS研へ初めての参加者の場合、「CS研で勉強してこい」と背中を押されることも多いと聞く。各分科会、合同研修会にできるだけ多くの人に参加し、学び、討論し、所属大学の発展に寄与することで日本全体の大学のレベルも底上げされると思う。会員へのPRが大切である。CS研30周年を機に会員、会員校が増えるためのPR方法を考えることは楽しいものである。

すばらしい「絆」

関東学院大学 千葉 敏雄
(2007年～2013年 幹事)

私立大学キャンパス研究会（以下、C S 研）創立30周年おめでとうございます。

私はC S 研第二分科会（以下、分科会）に参加し、多くの貴重な体験ができ大変感謝しております。その時代にあった講演や先進的なシステムを導入している大学の事例紹介、他大学との情報交換を自身の業務に常に活かすことができましたし、分科会活動を通じて非常に多くの方々と「絆」をつくることができました。また、大学職員としての幅広い知識の習得、コミュニケーション能力やプレゼン能力の向上等、職能開発の機会としても非常に有意義な分科会でした。

私は30年前、大学へ就職してすぐに分科会へ参加させていただきました。当時、大学ではホストコンピュータの導入が主流であったため、参加メンバーの多くはシステム管理者でした。分科会の会議でも専門用語が飛び交い、エンドユーザの私は「ちんぷんかんぷん」であったのを思い出します。しばらくC S 研へ参加できない時期がありましたが、15年ほど前に本学の教務システムの改変を行ったこともあり、久しぶりに分科会へ参加しました。その後、運営委員、運営委員長、第二分科会担当幹事を続けて2013年まで務めさせていただきました。ちょうど委員を担当した頃は、18歳人口の減少等、大学を取り巻く社会状況が大きく変わった時期でもありました。各大学とも志願者確保の対策に取り組みつつ、学生サービスの向上に力を注いでいました。サービス向上に付随するシステム開発も進められ、多くの大学に教務・学籍業務のパッケージソフトが導入されました。そのような流れもあり、分科会にもシステム管理者だけでなくエンドユーザが多く参加するようになりました。分科会のテーマも、システムに特化したものだけでなく、活気ある学生生活を支援する取り組みや、業務改善など幅広いものを取り上げるようになり、参加者がシステム改変はもちろん、業務そのものの改善に役立てることができるようになりました。

特に運営委員長を務めていた時には、本学や分科会参加大学が抱えている問題について、分科会参加者や運営スタッフへ相談すると、問題解決につながる有益な情報を各大学や関連企業から惜しみなく提供していただき、C S 研ならではのネットワークの素晴らしさに感銘を受けました。毎回の分科会のテーマに関して、参加大学全体の状況把握や、自学で抱える問題提起がしやすいように、分科会開催前にアンケート調査を行ったことも当日の議論の活性化につながりました。多くの大学を訪問し、実際に目の前で、最新の施設設備、運用体制を紹介していただいたことも貴重な体験でした。

幹事を務めていた時は、合同研修会の運営や分科会の運営サポートをする傍ら、私自身も常に旬なテーマについて学び、自身の業務における課題についての情報を提供していたり、アンケートに協力していただいたりと、C S 研で培った「絆」により、多くの方々に助けていただきました。

単なるベンダーによるシステムユーザ会ではなく、多くの大学からの参加者が主体となって運営するC S 研に参加したことは、システムの研究という枠を超え、S D（Staff Development）も含めて成長できたと自負しております。

最後になりましたが、ご協力いただきました各大学の皆様、幹事・運営委員の皆様、富士通株式会社及び関連企業の皆様に対して、心より感謝申し上げます。

「縁は異なるもの」

関東学院大学 小山 信弥
(2011年～2013年 幹事)

僕がはじめて私立大学キャンパスシステム研究会に参加をさせていただいたのは、図書館システムを iLisWave に変更した年だったと思う。第四分科会に参加をして、まず驚いたのが、運営委員に僕の大学時代の同級生がいたことだった。旧知ということもあり、当然の流れで、運営委員に誘われたわけである。お誘いをうけて、すぐに返事ができるわけもなく、何ヶ月かがたったと思う。その後、結局引き受けることになり会員から運営する側にまわることになりました。仕事をはじめて、いわゆる中堅という層になっていて、県の協会の仕事などはしたことがあったが、単発的なもので、何年間かを通じてこういった会の運営に携わるのは、CS 研がはじめてだったように思います。大学の枠をこえて、会の運営をどうするかといった議論をさせていただくことは、自分自身の成長にもつながったのかなと今となっては思います。学内の事情により、その後運営委員を辞することになったのですが（会員としてのエントリーもしていなかったように記憶しています。）、この場所で知り合った方との縁で別の協会のお仕事をさせていただくことになり、数年がたったある年末に、第四分科会の忘年会だったように思うのですが、顔をだす機会がありました。そこで待っていたのは、僕自身も思いもよらないオーダーでした。第四分科会を離れて数年がたっており、運営委員長も未経験の僕に「幹事やらない？」とのお話。しかも当時の幹事会議長からの話でした。頭の中は「???」という状態。とはいえ、お世話になった方からのオーダーで無下には断れず、持ち帰ったように思います。その時には本学から幹事として一人参加をさせていただいておりましたし、二人いってもいいのかという思いと僕にやれるのかといった思いが交錯して、かなり悩んだのですが、最終的にはお引き受けることになったわけです。そして、幹事会に初めて出席をする段になって、会場に入り、周りを見回すと、僕はどう見ても場違いにしか思えなかったわけです。各大学の管理職の方々が、ずらりと並び、どう見ても僕は最年少。「あ、騙された」というフレーズが頭の中を駆け巡る事態になったわけです。もう緊張なんてものではありません。挨拶をするときにも声が震えました。会を重ねていくうちに、緊張はとけていくわけなのですが、ここでの議論や話の進め方、考え方は僕が受けてきた研修などとは比べ物にならないほどに、僕自身の糧になっていることに、いま改めて思いを馳せています。そして疑問に思うのです。幹事会議長は、何をお思いになって僕を指名されたのか？今度、あったら聞いてみようと思います。CS 研に参加している方、これから参加する方、ぜひ運営側にまわってほしいと思います。学内では得られないご縁と違う大学の人たちと同じ目標を共有して会を運営していく経験を積むことは何よりの研究になるはずです。

最後になりましたが、僕の今があるのは、CS 研の運営に携わったことを抜きにしては語れないと思います。感謝をいたします。そして、益々の発展を祈念して筆を置きます。

C S 研の発展を祈念して

関西国際大学 得永 義則

(2012 年 幹事)

昭和 45 年(1970 年)に TOSBAC から始まった私の IT 遍歴は 45 年になります。その後、IBM360、IBM370、FACOM230 などのメインフレームと係わり、製造業を中心とした IT コンサルタントなどを経て、平成 7 年(1995 年)金沢工業大学のシステム部長に着任しました。そして、その年に信州松代ロイヤルホテルで行われた合同研修会に参加させていただいたのが、CS 研との出会いとなりました。今までに、多くのメーカー・ベンダーが開催する同様のユーザー研究会に参加してきましたが、この CS 研は違いました。

- ①大学の教職員が主体的にかつ活発に活動している。
- ②5 つの分科会があり幅広い領域をカバーしている。
- ③合同研修会では長時間にわたり交流の機会が設けられており濃い人間関係が構築できる。など、他のユーザー研究会では、なし得ない活動が行われており、今も CS 研が国内一番のユーザー研究会であると思っています。

その後、金沢工業大学の (1) 全学生が所持する PC をストレスなく接続するネットワークインフラの構築 (2) ポータルや学生カルテなどの教育支援を目的とした Web システムの開発 (3) e ラーニング教材の開発支援体制の整備を手掛け、平成 18 年 (2006 年) からは、関西大学で、学内の全てのシステムの再構築と統合化を図り情報・データの一元化を実現するとともに、卒業生や保護者を含めた 40 万人規模の認証基盤を構築しました。

統合化が完成した頃、久しぶりに合同研修会に参加し、第六分科会の設立を当時の齊藤会長 (東京電機大学) ならびに幹事のみなさまに提案させていただきました。当時の 5 つの分科会は、関東を中心に活動が行われており、関西以西の大学が参加しにくく参加が低迷していました。そこで、関西を中心に活動を行うとともに、事例発表などを通じた情報収集に留まるのではなく、大学と富士通が協同して何か成果物を創出できないか挑戦してみたいという思いを込め、第六分科会が誕生しました。

その後、関西大学の定年を迎え、平成 26 年 (2014 年) からは、関西国際大学で、15 年前から完成を目指している以下の「次世代教育システム」の開発に取り組んでいます。

多くの大学では、1995 年以降、シラバスや履修登録などの修学を支援する Web システムが整備されてきました。昨今、PBL(アクティブラーニング)や反転授業、ポートフォリオ、IR など文科省が教育の質保証のための転換を求める中で、これらを支援するシステムが導入され始めていますが、そのほとんどが単体システムとして導入されているにとどまっています。そこで、「授業支援機能」「e ラーニング機能」「e ポートフォリオ機能」「IR 機能」そして、これらシステム群の「教育ポータル機能」を合わせ持った「教育システム」の開発を目指しています。この教育トータルシステムは、既存の修学を側面から支援するシステムではなく、日常的な教育プロセスそのものを、システム化するものです。

「教育ポータル機能」・・・学生目線のモバイルに対応したポータル

「授業支援機能」・・・レポートの提出や学修コミュニティ

「e ラーニング機能」・・・反転授業の事前学修記録と理解度テスト

「e ポートフォリオ機能」・・・成長確認、ルーブリックに対する到達確認

「IR 機能」・・・蓄積された種々のデータ(ビッグデータ)の分析

最後になりましたが、CS 研の今後のますますのご発展を祈念し、結びといたします。

楽しい思い出そして絆

東京都市大学 平森 主

(2004年～2010年 運営委員長)

私立大学キャンパスシステム研究会 創立30周年おめでとうございます。

今回の寄稿にあたり、何を書こうかと悩みました。提言もOKとも書かれておりましたが、恐れ多いので思い出話を中心に書かせていただきたいと思います。

私がCS研に初参加したのは1999年、入社3年目でした。この年も本学からも数人参加させていただきましたが、この時期から回を重ねていくうちに常連のように参加したのは小生だけでした。きっかけはCS研のある方から、参加理由をお聞きした際、印象に残る言葉をいただいたことでした。「自分の大学、つまり小さな世界だけにとどまっているとそれが全てだと勘違いしてしまう。だから、CS研に参加しています」と。

このような素敵なお言葉をきっかけに、当時の自分は、若造で世間知らず者でしたが、人と接することが好きなことが幸いし積極的にお話させていただき、様々な要件を吸収しようとして無我夢中だった記憶があります。そんな中、微力ながら第一分科会運営委員として2001年、2003年に副委員長、2004年に委員長、2011年3月まで分科会の運営を10年間務めさせていただきました。(2011年度フォーラム運営委員長)トラブルもなく第一分科会の運営ができたことに幹事様および事務局様のお力添えがなければ実現できなかったことだと考えております。

13年間CS研に参加させていただいた中での思い出は沢山ありますが、最初に挙げるとしたら2011年合同研修会実習時に提示するコンテンツの事前準備ですね。大変だったイメージが残っています。夏休み期間中でしたが、運営委員の皆様の本学までご足労いただき、一所懸命作成した記憶があります。結構、作成に手間と時間がかかり、結局夜まで…。そのころ、学内では町内会の盆踊りが開催されており、休憩中、音楽を聴きながらみんなで缶コーヒーを飲んでいたことが思い出されます。このころから仲間意識が強かったですね。

個人では分科会活動は、北は北海道、南は九州熊本まで様々な大学を見学も含めて訪問いたしました。ジンギスカン、きりたんぼ、馬刺し、地魚…夜には美味しいものを皆さんで遅くまで語りながら食べました。そして絆も深くなりました。そんな雰囲気の中できっかけが生まれ、分科会の次テーマにつながり、また絆が深くなる。実にCS研のいいところですね。皆様と共に悩みや問題などお互いに共有し、情報入手とともに交流の場として提供される分科会は常に楽しみでした。

楽しみといえばもう一つ！地方遠征地の温泉に行くことも第一分科会では選定基準（命令…笑）でもありましたので、委員長拝命時には苦労いたしました。でも今ではいい思い出ですね。ちなみに現在の小生ですが、新しい情報やコミュニケーションを引き続き他の職員に体験してもらいたく、涙を吞んで(?)譲っております。

大学を取り巻く環境は年々に厳しい状況に置かれている中、分科会参加することを楽しみ・期待されている皆様に応えようと奮闘されている関係者皆様には、常にご苦労されているかと思います。改めて感謝、お礼を申し上げます。今後ともヒューマンネットワークを大切にされながら活動されることを期待しております。

感謝！！

津田塾大学 石井 明
(2004 年 運営委員長)

C S 研が創立30周年を迎えられたことをまずは心からお慶び申し上げます。

20周年の記念事業がついこの間のこのように感じるのは年をとった証拠でしょうか。未だ情報に絡む業務に携わっていますが、引き際を考えなければならない時期を迎えているようです。

社会経済史が専攻で **Computer** なるものを見たこともなかった文系出身者が、計算センターへ異動、事務システムの **COBOL Program** の **Coding** を言い付けられた時、目の前にあったのが **FACOM M340R** でした。「改ページ処理はここでもう書くと・・・」「コンパイルが終わってエラーが出たら・・・」「外字を作って登録するには・・・」何のこっちゃ、知らない、分からないといった日々の中で一条の光が **CS 研**（当時 **FACOM ユーザ研究会**）でした。そこで話合われるシステム事例、参加者との交流を通じて、与えられた業務の位置づけや目的が見えるようになったと思っています。

汎用機からの **Downsizing** の流れの中、本学では **UNIX** 機である **FUJITSU DS90/7630** へシステム更新を行い、**COBOL** を **awk** に、コマンドプロシージャをシェルスクリプトに置き換えて **RDB** のデータ処理をする **Server Client** 環境の構築、業務仕様の洗い出しなど作業が続きました。（その間 **CS 研**への参加は遠のいてしまいました）統合した内部開発の方針は各部門、エンドユーザに移りパッケージが中心となっていきましたが、その時の経験と体験が次に繋がっていったように思えてなりません。

教育研究のサポート業務に携わり学内 **LAN** の構築などが仕事となりました。その時も道を照らしてもらったのが **CS 研**です。第三分科会に参加させていただくようになり、**Computer** 教室を **Windows** 機（本学では **UNIX** での教育研究環境が中心でしたし、個人的にもブラックボックス化した **Windows** には、マルチユーザ、マルチタスクですなどと言ったところで、**UNIX** には敵わないと時代錯誤な思いが今でも残っています）にするためには何が必要なのかとか、トレンドな基幹スイッチシステムの状況とか、その時々の特ピックスは時代を捉えるための指針となっていました。馬鹿なことを質問しても、対等に扱ってもらえることの心地よさ、還元するものは何も持ち合わせてはいませんでした。何かお手伝いできること（今から思えば浅はかであったのかもしれません）があればといった心境から運営委員をお引き受けすることになり、ひょんなことから運営委員長を仰せつかることにもなりました。**Mac** を情報教育に取り入れたシステム事例の見学などといった我がままも、委員の皆様の暖かい支えと後押し、また富士通事務局の広い視野に立たれた対応に、今でも感謝の気持ちでいっぱいになります。ありがとうございました。

18歳人口の減少、大学教育の質的転換、大学を取り巻く環境はその厳しさを増しています。ギブアンドギブ、**CS 研**の活動を体現するヒューマンネットワークが大切な時代になっていくように感じています。私立大学キャンパスシステム研究会のますますの発展を願ってやみません。

CS研で学ぶということ

共立女子大学 田中 俊介
(2011年～ 幹事会副議長)

まずは、私立大学キャンパスシステム研究会の創立30周年に対し、心よりお祝いを申し上げます。

私のCS研との関わりは、1992年から始まります。手元の資料によると、その1992年はFACOMユーザ研究会という名称の最後の年度だったようです。その後、CS研に変更になり、1997年までの6年間、まずはCS研第二分科会でお世話になりました。「まずは」と書きましたのが、この意味はその後2008年に復帰したことによります。

さて、その復帰後のことは後述するとして、やはり1992年からの6年間のCS研での活動は、私にとって非常に価値のあるものだったと思っています。当時、学内での仕事も一通り覚えた時期で、多少自分に自信が付いていました。ところが、CS研に参加してみるとその自信がすっかり吹っ飛んでしまいました。「何も知らない自分」がそこにあったからです。つまり、大学のことが分かっていない、ITの技術も知っていない、ビジネスのことも知らない…と知らないことだらけだったことが自覚できたわけです。

今から思えば、その自覚があったからこそ、6年間の活動ができたのではないかと思います。そして、CS研に育ててもらったという思いが今も強くあります。そんな思いが伝わってか、2年目から運営委員を仰せつかりました。運営委員会での活動も私にとっては研修の一環だったように思います。

そして、2008年に第五分科会が新設したとの情報を得て、復帰しました。復帰後すぐに幹事就任の打診があり、お引き受けすることにしました。これも前述のCS研に育ててもらったという思いから、その恩返しをしたいという気持ちがあったからです。

2009年からは第一分科会の担当幹事として、今日まで活動を続けています。若い頃と同じく、自分の知らないことを知りたいという気持ちは変わりませんので、毎度が非常に新鮮です。だからこそ、続けられているのだと思っています。

最後に、CS研のメンバーとの交流についてお話しします。若い頃のメンバーとも今でも交流がありますし、現在の分科会のメンバーとも情報交換を続けています。これは、互いが情報交換や話し合いを通じて、学びあう姿勢は今も変わらないCS研のヒューマンネットワークです。これも、私がCS研に参加してきたもう一つの大きな要因だと思います。

以上、私の勝手な思いを書いた雑文になってしまいましたことをご容赦ください。
このCS研の活動が、40周年に向けてさらに発展することを祈念しています。

俗に「10年は一昔」と申しますが・・・

福森 幸久

(2002年～ 幹事)

私立大学キャンパスシステム研究会が創立30周年を迎えられたこと心からお慶び申し上げます。

思えば、2002年春、当時、大学のICT担当部署にいた私のところへ、CS研の幹事をしていた情報システム部（法人管理部門）の人間が、事務局長をともないやってきました。曰く『『キャンパスシステム研究会』という私立大学の富士通ユーザーを組織した会がある。これまでは情報システム部が参加していたが、本来、大学の人間が参加するべきであるので、幹事をやりなさい。』とのこと。「企業のお手盛りユーザー会はたくさんあるし、そう手間もかかるまい。幹事なんてどうせ持ち回りだろうし、まあいいか。」くらいの軽い気持ちで承諾したのが運の尽き、以来10年超に亘るお付き合いと相成りました（しかも継続中）。

そんなわけで、おっとり刀で参加したのはよいのですが、担当した第二分科会には毎回50名を越える参加者が集い、自主的にプランニングした課題を中心に活発な討議が行われ、終了後の情報交換会も本会を上回る熱気に満ちておりました。想像していた「企業お仕着せ」の形式的な会とはまったく異なったもので、正直、「これは侮れないぞ」と思ったものです。それまで社会人教育関係の業務に携わることが多く、学生教育部門での経験が少なかった私にとって、大学の置かれた状況や、教育現場で働いている方の本音ベースでの課題や意見に触れたこと、更には、親しく意見交換をさせていただける皆様と出会えたことは、大変大きな財産となったと実感しております。

また、初参加から現在までの期間は、ICTが、汎用機やユニックスといった「専門家のもの」から、WindowsやMACに代表される「素人でも操れる道具」、更には、インターネット環境の充実を背景としたモバイル端末、スマートフォンのような「いつでも手元にある環境」へと、急激な変化を遂げた時代でした。当然、大学で提供する情報サービスも、これらの環境変化に合わせ、「より学生個々に寄り添うもの」が求められていきました。

このような試行錯誤の繰り返しが必要な時期に、単なる技術だけではなく、学生のためになるサービスやそれを実現するための方策や職員自身のあり方といった面にまで踏み込んだ勉強をさせていただいたことは、本務である自学の情報サービス構築に際し、極めて有効であったと思っています。

とはいえ、大学業界を取り巻く環境は激変の最中であり、対応すべき課題は山積するばかりです。今後も新たな知見、出会いを大切に、CS研の活発な活動に加えていただければと存じますので、よろしくお願い申し上げます。

最後に、自社製品の傍若無人な批判にも柔軟に耳を傾けていただけた富士通様の懐の深さと、手間仕事を一手に代行していただく事務局の皆様に、深く御礼を申し上げます。

ということで、CS研にはとても感謝しているのですが、最後に一言だけ、
・・・「永年勤続表彰制度はないのかしらん？」

30年という年月

明治大学 町田 富夫
(2006年～ 幹事)

CS研には2006年度より幹事をさせていただき、現在に至っているが、実をいうと創立の1985年当時からお世話になっている。創立式典にも先輩職員のかばん持ちで参加させていただいている。会場は東伊豆（記憶が定かでないが赤根崎ではなかったかと思う。）のホテルで、先輩職員と車で行ったのだが、途中道に迷い、2時間以上の大遅刻という失態を演じてしまった。遅刻の2時間の間に主要行事は大方終わってしまっていて、申し訳ないことに、肝心の創立式典の内容はほとんど記憶にない。その後数年間第三分科会にメンバー登録させていただき、様々な交流をさせていただいた。その頃の思い出を2つほど述べてさせていただきたい。

1985年～1990年頃は、それまで部分的であったネットワークを学内インフラとして整備することが始まった頃かと思う。明治大学でもネットワーク整備が始まり、分科会で事例報告をさせていただいたことがあったが、その際、ある会員からとても貴重なご意見をいただいたことを鮮明に覚えている。事例報告では、システム構成に加え、ネットワークは、電気、水道と同じように何処でも何時でも利用できるように整備しようと考えている旨述べた。それに対して、ネットワークを流れるのは人の活動に由来する情報であるので、電気の配線や水道の配管と同じようにと考えるのは違うのではないかといった趣旨のご指摘をいただいたのである。まさにコンピュータウィルスや昨今の情報漏洩事件、サーバー攻撃などネットワークが持つ問題を見通されたご指摘で、その当時、技術中心でネットワークの社会性などには思いも至らなかった私は衝撃を受けたことを覚えている。

2つ目は、磁気テープに関する話である。磁気テープなどという過去の遺物は見たことも触ったこともない人にとってはピンとこない、仮にピンときたとしても今時役に立つような話でもないことを予めご容赦願いたい。データ記録済みのマスタ磁気テープを、本来読み取りモードでオープンすべきところを誤って新規作成モードでオープンしてしまうという操作ミスで壊してしまった。そのデータを回復する方法はないだろうかと、CS研で知り合った人と一緒に苦労しながら取り組んだという思い出である。新規作成モードでオープンすると磁気テープの先頭はヘッダ情報が書き込まれ、上書きされてしまうが、それ以降には前の記録は残っている。それを読み出せれば、先頭のデータ以外は回復できそうだが、旧データの開始位置が失われているので、読み込めない。メールでアイデアを出し合いながら調べたところ、先頭から読めないならば最後尾から逆方向に読めば良いのではないかということになり、PL/I（それ何と思った人は、ウィキペディアなどで調べてください。）では磁気テープを逆方向に読むプログラムが書けることが分かった。早速プログラムを作ってみたところ、無事データの回復ができた。磁気テープは逆方向に読めることを初めて知った出来事で記憶に残っている。

ムーアの法則を持ち出すまでもなく、30年間のIT技術の発達には驚異的である。1985年当時、私が運用を担当していたコンピュータはFACOM M180IIADという機種で、メモリは8MB、ディスク容量は3.5GBだった。今やその数百～千倍のスペックのノートPCやスマートフォンを学生は持ち歩いている。30年後、CS研が60周年を迎える頃には、知りたいことを頭の中で思うだけで腕時計型ディスプレイにその答えが表示されるとか、行き先を思いながら乗るとそこまで自動で走る車などが実現しているかもしれない。

CS研30周年にあたり

東海大学 會澤 信
(2000年～ 幹事)

1985年11月8日に創立した私立大学 FACOM ユーザ研究会は30周年を迎えることとなりますが、ほぼ同じ時期に大学職員となり図書館に配属され、本会、皆様にお会いすることになりました。図書館学の授業で教わった、求める情報を利用者に届けるという役割は、大学の役割、ICT 部門の役割と同義であると思いながら、学生・教育・研究支援にかかわり続けた歳月となります。会の活動から様々なご示唆をいただき、諸先輩のご指導を賜りましたことを心より感謝申し上げます

「図書館の機械化」とか言いながら、名古屋大学様、京都大学様、明治大様といった何周も周回を先行する大学様を羨望の目で見、ILIS の導入事例を何とか自分たちのものにできないかと思っていたものでした。90年頃には、ILIS/X70 の開発があり、分科会として要求仕様を取りまとめる活動がありました。パソコンや EXCEL などが自由に使える状況ではありませんでしたので、各大学さんが、要求する機能の一覧表を持ち寄り、これを一要求ずつ、ハサミで切り離し、並び替え、内容を議論し、書き換え、貼り合わせ、結果第四分科会の期待するシステムの機能一覧をまとめ上げ、その多くのものを製品に反映していただいたと記憶しています。ユーザ会のあるシステムに関わる大学、メーカーの意義ある関係だと思います。伝統的な第四分科会の活動「言いたい放題」は、ここを起点にしていると思います。時は進み、SaaS によるシステムの利用が行われようとしている今こそ、大学とメーカーが分科会で議論し、仕様に反映することにより、システムの採否、展開を考えられる最も第四分科会らしい活動ができる時に来ているのではないかと思います。

海外セミナーについては設立時の趣意の一つとして、先進事例を学ぶために企画されてきましたが、90年第1回目ではアメリカ、MIT、UCLA、Stanford、等々が視察され、図書館システムの事例、24時間利用できる図書館やキャンパスのことが熱く語られた報告書、諸先輩の事例報告がありました。言葉は違いますが、今取り組んでいるラーニングコモンズのことが語られていたのだと思いました。自身としては、05年「韓国先進大学システム視察」において慶熙大学校で、日本の大学事情、CS 研の紹介、個人情報保護法、本学の WEB 履修、当時 IDC センターにあった図書館システムの紹介、本学についてプレゼンする貴重な機会をいただきました。11年の「フィンランド教育事情視察」では、国立図書館、大学、職業学校、総合学校（小中学校）また、そこに設置されている図書館、公共図書館等「市民の居間」を標榜する各図書館を視察することができ、総合学校では学生、教員、保護者も含めたポータルシステム、学習支援システムを地域全体で共同運用されている状況からは、現行のシステムに様々な示唆が得られたと思っています。

今では当たり前のネットワークの利用については、図書館では、黒電話の受話器を音響カプラに挟み情報検索をしていた Windows95、インターネット以前の88年から Nifty-Serve のプライベートフォーラムで分科会フォーラムが利用できましたが、これをなぜ職場で利用しなければならないかを説明するのに苦心した覚えがあります。

以上、第四分科会に関連して記憶をたどってみましたが、5周年記念誌のあとがきを読みますと、「グローバル化、高齢化、高学歴化、環境問題、18歳人口の減少の中、学生サービスの充実、時代の要請に応えた個性ある教育・研究支援を、最新の情報技術を利用しながら進めていく」とその当時が語られています。しかし、30年経ても何ら変わらず、この命題の中に、連綿と CS 研の活動がなされてきたのだと確認した次第です。

CS研との出会いに感謝

清泉女子大学 可児 光眞
(2011年～ 幹事)

CS研がスタートした30年前といえば、電電公社が民営化され、それまでは高級車にしか付いていなかった車載電話が、ショルダーフォンとして携行できるようになった事を思い出します。会社役員しか使えなかった存在の物から、平社員でも使える物に変わった事は、当時の私にとって衝撃の出会いでした。バッテリー部が大半を占めるため、重量が3kg以上もあり、名前の通り肩から提げて持ち歩かなければなりません、あの当時は重いと思ったことはありませんでした。

今では携帯電話も、電話らしい形状すら無くなったスマホが主流となり、大学でのスマホ利用は年々変化していき、情報システム職員は将来予測と時代の変化には益々翻弄されるようになりました。さらにパソコンも軽量化やタブレット化が進み、もはや1kgでも持ち歩くと重く感じるようになってきました。外出先から通話出来る事が便利で嬉しくて、3kgも重くなかったあの時代はつい最近だったような気がするのですが、30年は長いようで短いのかもかもしれません。

私がCS研に参加をしたのはちょうど5年前、CollegeServerとインフラ基幹部分の構築は富士通にお願いしていた縁で、CS研参加の声はかけてもらっていましたが、研修の類いが好きでは無い性分もあってお断りし続けてきました。CollegeServerからCampusmateへの移行が決まり、導入を進めるに当たって他大学の教職員とも情報交換したいと考えた事がCS研に参加するきっかけでした。

それぞれ分科会の説明を受けましたが、中途採用の私は大学事務や教育に精通しているわけではないし、さらに図書館やシステム系もよくわからないため自信がない、そこで立場的にも管理職であるし、無難だろうと考えて第五分科会に参加することにしました。大学全般に幅広く情報が聞けそうだったのと、他大学の経営層の教職員が集まるのであれば、他では聞けない生の情報が色々聞けると思ったからです。

第五分科会に参加してみてもすぐに「これはいい!」と感じました。テーマや議論の内容がちょうど日頃悩み・考えている事と合致していたし、なにより本学より規模も雰囲気も異なる大学の話を聞けるのは大変勉強になりました。利害関係の無い皆様との話しは、困っている事も、苦労している事も共感する事ばかりで、色々と親身になって助けてもらった事もあるし、話をするだけでも日頃のモヤモヤは解消されました。組織の壁に当たって諦めかけていた時には、同様の苦労をしている皆様から助言や勇気をもらって、もっとやれるから頑張ろうと思った事もありました。研修嫌いは相変わらずなのですが、CS研は予め用意された内容を学ぶ研修の場という要素もありながら、自分の課題をそれぞれの視点で解決していく研究会の要素もあって、これほど良いものはありません。

今では第五分科会の運営もやらせていただく事となり、さらに幹事らからのお誘いを受けて他分科会にも参加させて頂く機会も増えました。それぞれの分科会のそれぞれの良さや個性有る参加者や優秀な方々とも出会って、いつも色々と刺激を頂いています。精神的な面だけではなく、システムの新規導入時に頂いた生の声やご意見・情報也大いに参考になっています。私にとっていまやCS研は欠かせない存在になりました。

私とコンピュータ & C S 研

関西大学 中芝 義之
(2013 年～ 幹事)

CS 研 30 周年おめでとうございます。

CS 研の発足（1985 年）から 30 年とのことですが、振り返れば、私が大学に転職した前年のことで、ほぼ同じ月日がたったとのことで、改めて長く続いているもしくは働いてきたと実感しました。

私とコンピュータとの出会いは、大学の授業で **Fortran** を使ったのが始まりです。その後、研究室で実験データの整理&図化で計測用 PC と出会い、コンサルタント会社に就職、PC9801 向けに簡単な土木関係プログラムの開発に関わった後、大学の情報処理部門に転職しました。

情報処理部門では研究・教育関係を主に担当し、ホストコンピュータ (M380,M780,VPP)、ワークステーション (Sun)、ネットワーク (FNA,DS-link,ATM,GigaEthernet,Sinet)、インターネットサービス (Mail,news,Web) に関わり、SS 研には最新情報や運用方法の収集のため参加していましたが、CS 研にはなぜかほとんど参加していませんでした。今回改めて振り返ると、当時は CS 研は関東のファコムハイタックユーザ会と思っていました。その後情報収集の目的が、技術面での最新情報ではなく、他大学の ICT 活用状況および運用情報に変改していき、若手職員を中心に参加していました。しかし、平成 24 年に新たに第六分科会が立ち上がったことを契機に参加するようになりました。

第六分科会は、スマートフォン・タブレットなどのモバイル環境の充実および普及、ソーシャルメディア (Facebook,Twitter,Line) の出現および発展、アクティブラーニング (Mooc,JMooc) などの教育形態の転換により、旧来の ICT 環境が大きく変化している時代となり、大学として教育の質向上のために、いかに ICT を活用して教育改善、学士力の向上を図るかがテーマとなっています。

CS 研の参加校は関東の大学が多く、関東の方々は打ち合わせや相談するにしても簡単に集まることができるのですが、関西からはやはり時間と費用面で毎回参加するのが難しい状況です。そこで、関西人としては阪神 vs 巨人の思いもあり、関東の方々に負けず関西の方々を中心とした分科会が立ち上りました。その後、幹事としてより深くかかわるようになりました。

第六分科会の特徴としては、分科会だけではなく、分科会のメンバー有志によるワーキンググループ活動も行っており、関西の方々だけでなく関東の方々の参加を期待しています。また、分科会の後の情報交換会においても関西の雰囲気ですら遠慮なく？情報交換が進んでいると感じています。

最後に、ICT 環境の変化や ICT が教育面でどのように活用されるかを楽しみに、CS 研のさらなる発展を期待しています。

C S 研への感謝状

芝浦工業大学 星野 励
(2006 年～ 運営委員)

私立大学キャンパスシステム研究会の30周年おめでとうございます。

私は入職以来、主にシステム開発に携わっておりますが、そんな私がCS研に参加したのは、「出張にいけるよ」という上司の甘い誘惑からでした。システム開発ばかりしていると、外に出る機会がほとんどなく、また、システム開発をする立場として、他の大学のシステムがどのようなものなのか、とても興味があったのです。

そんな私が初めてCS研に参加したのは、2004年のことだったかと思います。主に教員向けシステムの開発を担当していたので、第一分科会に参加しました。皆さんご存じの通り、第一分科会は教員と職員からなりますが、分科会において、皆が忌憚なく、課題に対して討議する風景は、当時の私にとってかなりのカルチャーショックでした。そして、2006年より運営委員を拝命、現在に至っております。当時の分科会でご尽力・ご活躍されていた方も、リタイアや異動などで一人、また一人といなくなり、気が付いたら自分が一番古参の運営委員となっていました。時の流れは早いなと感じると共に、一抹の寂しさを感じております。

これまでCS研を通じて、様々な大学を見学・視察して参りました。2009年から2010年にかけては、GPに採択された大学を中心に周りましたが、このような大学は自分たちだけでは関係者に知り合いでもない限り、なかなか訪問が叶いません。ですがCS研を通すことで、実際に関わられた方のご講演を拝聴し、質問や討議を行うことができました。これは私にとって、とてもいい刺激になりましたし、いまでも貴重な財産となっています。また、近年アクティブラーニングが注目されていますが、これに合わせ分科会では「実際の優れた能動的授業を見学・体験・参加」という試みを行っています。これもCS研でないとなかなかできない体験だと思えます。

さらに、今までの分科会を通じて、多くの大学関係の方と知り合う事ができ、懇親を深められたことが、私にとって大きな財産となっています。悩み事があっても、同じ大学内だとなかなか相談しづらい事がありますが、他の大学の方ですと、かえって気軽に相談でき、また環境の違いから、違った角度で色々な考えやアドバイスをいただくことが多々ありました。そして、これらに非常に助けられ、支えられました。このようなヒューマンネットワークが作れたのは、ひとえにCS研のおかげだと思っております。

私が分科会に参加したころは e-Learning のソリューションが闊歩する中、大学も導入してみたはいいが、どのように教育に生かせば効果的なのか、模索している時代でした。その後、授業収録等も普及し、全体的にこなれていく中、今度は学士力の確保や教育の質・学修時間の保証が叫ばれるようになり、近年では e-Portfolio が注目されています。これを利用するデバイスについては、いままでは PC が主体でしたが、その後タブレットが登場し、今やほとんどの学生がスマートフォンを持つ時代となりました。これらを教育に生かすどう生かすか、ICT に対する期待は、これからますます膨らむばかりかと思えます。

これらの諸問題に対し、これからもCS研において、分科会の皆様と討議し、勉強させていただければと思います。いままでこのような若輩者を温かく見守っていただき、ありがとうございました。これからもよろしく願いいたします。また事務局におかれては、分科会開催、日程調整等、いつもご尽力いただいております。この場を借りて感謝を申し上げますとともに、これからもよろしく願いいたします。

振り返りのひととき

中部大学 清水 幸子
(2010年～ 運営委員)

私立大学キャンパスシステム研究会、創立30周年おめでとうございます。

私は2008年から第二分科会に参加させていただいており、運営委員としては6年目になりました。

私にとって、C S 研の分科会活動に参加することは、自分の固定的な考え方をリセットし、業務を客観的に見直す良い機会になっています。

なかでも印象深いのは、合同研修会での現役大学生を交えた意見交換でした。富士通のインターンシップに参加している学生さんが合同研修会の会場に来ていたので、グループ討議に加わってもらうことになりました。討議のテーマは、『退学者の削減につながる学生サービスを考える』というような内容だったと思います。私たちは、「大学で友達が出来ないと退学の可能性が高まるので、友達づくりのイベントを企画して、ひとりぼっちでいる学生に参加を呼び掛けよう。」といったアイデアを出しました。そして、インターンシップの学生さんに意見を求めたところ、「そのイベントに参加することで友達がいらない人と思われるのが恥ずかしいから、私なら参加しないと思います。それより、面白そうなイベントが色々あって、何となく参加したら友達出来るようにして欲しいです。」というようなことを遠慮がちに話してくれました。「確かに、おっしゃる通り。」と、一同納得の瞬間でした。もし、このようなイベントを企画するなら、学生同士を友達にさせることが目的であっても、決してそれを前面には出さず、職員はあくまでもさりげなくサポートすることが重要なのです。私たち職員は、学生のことを考えてはいるものの、上から目線の発想になっていることに気付かされました。

大学の色々なサービスも同様に、たとえ本質的なニーズが合っていても、学生目線の案内や説明ができていなければ、学生は利用しないのかもしれません。大いに反省し、その後も大学内で各種システムやサービスを検討する際、このことを思い出しています。

事務局の皆様のお計らいで、ここ数年、合同研修会のグループ討議には毎回インターンシップの学生と賛助会員の方に加わっていただき、履修システムや学生ポータル等について、意見交換する機会を設けていただいています。システムを開発する企業の方と運用する大学職員と利用する学生が気軽に話し合える機会など、C S 研の他にはまずありません。きっと良いアイデアが生まれ、より良いキャンパスシステムの提供に繋がると思います。

分科会で出会った方々と名刺を交換するとき、中部大学の所在地が愛知県だと知ると、ほとんどの方が「遠くから大変ですね。」と、気遣いの声を掛けてくださいます。けれど、私にとって会場までの道のりは、それほど大変ではありません。会場へ向かう時は「今日はどんな発見があるかなあ」と、ワクワクしています。帰りには「あのシステムが導入されたらどうなるだろう…」「私も明日からはもっとこうしよう…」などと、思いを廻らせています。新幹線の車内でひとり過ごす時間は、日常の業務と自分自身を見直すことができる貴重なひとときです。

事務局の皆様にはいつも親切にいただき、本当にありがとうございます。C S 研が40周年、50周年に向け、ますます発展していくことをお祈りいたします。

CS研に参加して

名古屋外国語大学 須賀 人志
(2007年～ 運営委員)

このたびは私立大学キャンパスシステム研究会（CS研）が創立30周年を迎えられ、心よりお祝い申し上げます。

私がCS研に参加するようになっておよそ15年が経ちます。この間、私立大学や国公立大学、IT関連企業への訪問を通じて色々な知識や技術を習得することができ、本当に感謝しています。特に大学への訪問ではそれぞれが抱える課題やその対策、方針に触れることができ、実践的な内容でとても実務に役立ちました。

第三分科会では2005年と2014年に名古屋外国語大学にご訪問いただき、私が担当しているキャンパスネットワークを中心とした事例紹介や施設紹介をいたしました。具体的には、有線LAN、無線LAN、WANの稼働環境、実際に発生したネットワークトラブル、Google Apps活用、サーバ環境、ゼロクライアント活用、今後のネットワークの課題などをご紹介しましたが、ご訪問してくださった皆さんの参考となっていたならば幸いです。

夏の合同研修会で行われるハンズオン形式での分科会活動は、新しい技術に触れることのできる貴重な体験です。富士通の方を初めとする賛助会員の皆さんには利用端末やサーバ、ライセンス、回線などの事前準備や分科会当日の技術支援をしていただいております。お忙しい中での毎回の作業、ありがとうございます。

CS研を通じて知り合った参加校の方に直接技術指導を仰ぐこともありました。2009年秋ごろよりGoogle Appsを利用開始したのですが、その運用にはAPIの活用が欠かせませんでした。当時ご指導下さった津田塾大学の岸田様、小池様、石井様には本当に感謝しております。私から助言などできることは少ないですが、CS研とはこれからも持ちつ持たれつの関係を続けていきたいと思います。

ここ数年は第三分科会の運営委員をさせていただいています。運営委員になって感じることは、色々な経験、知識、スキルのメンバで構成されていることからテーマ決めが難しいということです。どうしても最近のトレンドに目を向けた内容に重きが置かれがちなのですが、これから経験を積んでいこうとするメンバにとって敷居が高くないよう心掛けることが、今後CS研が有意義であり続けるために必要ではないかと考えます。

これからもCS研の益々の発展と、会員校ならびに賛助会員の皆様がご活躍されますことを祈念いたします。

第四分科会お祝いメッセージリレー

私立大学キャンパスシステム研究会（CS 研）創立 30 周年おめでとうございます。第四分科会 2015 年度運営委員の女性 3 名からお祝いを申し上げます。

東海大学 秋山 緑 （2012 年～ 運営委員）

私は、部署内の係異動でシステム係に配属された 3 年前から CS 研に参加させて頂いています。司書として採用されて以来、中央図書館と 2 つの分館をまわり、理工系、人文系と分野の違いなどはありませんでしたが、長年ずっと利用サービス部門におりましたので、不安に思っていたところ、CS 研という頼りになる場を得ることができ、大変ありがたく思っています。気がつけば運営委員となっていますが、まだまだ勉強させて頂くことばかりです。

他の研究会などにはないメリットとして、同じシステムを使っているため、他大学での事例を具体的に聞くことができ、実務の参考になるということです。ちょうど機関リポジトリの運用開始の時期に係異動になったため、e-Lib を導入されている貴重なお仲間には、いろいろ質問させて頂き、大変お世話になりました。今後ともよろしくお願いいたします。

共立女子大学 森 美由紀 （2015 年 運営委員）

2014 年度に図書課へ異動すると同時に CS 研へも参加させていただきました。分科会では他大学の方々と交流を持つことができ、大変有意義な時間を過ごさせていただいております。また、施設見学や最新動向など外へ出なければ分からない情報も多く、私自身の経験や成長に欠かせない研究会です。感謝しております。

社会人としても大学職員としても経験の浅い私ですが、今年度から運営委員として参加させていただくことになりました。このように寄稿文にも一筆入れていただくことができ大変光栄に思います。私はいつもベテラン運営委員の皆さんや他大学、CS 研会員の方々に支えられて委員をしております。これからも皆さんとの交流で多くのことを学び、吸収し、成長していきたいです。今後ともよろしくお願いいたします。

中部大学 長縄 克枝 （2007 年～2009 年 運営委員長）

まずは CS 研設立 30 周年、おめでとうございます。

ひとくちに 10 年といっても、年を重ねるごとに過ぎゆく速さが違ってきて、いつも「この 10 年」のほうがより速く感じるのは私だけでしょうか。特にこの 10 年間。東京タワーは東京スカイツリーになり、携帯はスマートフォンに、Windows は Vista→7→8→10 とかわり、新幹線は新青森から鹿児島、金沢まで延び、2020 年の東京オリンピック開催が決まりました。時代は常に進み、逆戻りすることはありません。

しかしながら、CS 研では、10 年たっても 20 年たっても 30 年たっても、途中休んでも、隠退しても、また逢えば、以前と変わらぬ笑顔と雰囲気であえてくれて、まるで故郷に帰ってきたような暖かさを感じます。これも設立当初から、歴代の役員、幹事、事務局、運営委員、そして何より参加会員の皆様が大切にされているヒューマンネットワークの賜物でしょう。私たちも次の 10 年を担う世代に必ず引き継いでいきたい大切な宝物です。

10 年間、本当にお世話になりました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

CS研関西

学校法人常翔学園 大阪工業大学 正司 久博
(2013年～ 運営委員長)

私立大学キャンパスシステム研究会、創立30周年おめでとうございます。

私の所属する第六分科会は、関東を中心に活動されているCS研に関西旋風を巻き起こせ（誰かが言ったらしい）と2012年度から活動を開始した創立3周年のまだまだ若い分科会です。30年の歴史を持つCS研ですので歴代のOBOGの皆様には馴染みの薄い分科会ではありますが、どうぞお見知り置きくださいませ。

さて、私ですがその旋風が巻き起こる前の微風に巻き込まれて第六分科会運営委員として参画することになりました。どうせやるなら積極的に頑張ろうと運営委員長も買って出るつもりでしたが、運営委員の中の最年長者ということで、委員長をお願いされる形でお引き受けしました。

活動内容としましては、第六分科会のコンセプトのひとつに「何か成果物を残そう！」というのがあります。集まってお話しをしたり聞いたりするだけで終わらず、その結果を何か形にしようという目標を掲げ、活動2年目から分科会とは別枠で年2回程度ワーキンググループ(WG)を開催しています。

個人的にはCS研活動の中で得られるものは多く、情報部門の業務に関するトレンドやソリューション、他大学の状況、ヒューマンネットワークなど盛り沢山です。本学は過去に情報鎖国時代（勝手に言っています）があったため情報システム部門が他大学の情報部門と交流を持つことがほとんど無い状況でしたので、CS研活動を通じて少しでも交流の場が増えればいいなあと考えていましたので、願ったり叶ったりです。

運営委員という立場からすると、分科会の実施内容を検討する際に足を運んでいただく会員の皆様により良い内容を提供し、どれだけ満足していただけるかといったことを考えますので、その準備の手間や苦労は当然あります。しかし、企画する楽しみややりがいもたくさんあり、終了後の達成感も十分に感じております。

(第六分科会では運営委員を募集しております!!)

あっそうそう、忘れてならないのがいつもご苦労をお掛けしている事務局の皆様です。事務局のご協力がなければ第六分科会は機能いたしません。人一倍文句の多い私ですが、今後とも第六分科会のためによりしくお願いいたします。

最後になりますが、CS研の今後益々のご発展を・・・、いや、そんなに発展しなくてもいいか。今のままで細く長く続けて行ければ良いかなあと 생각합니다。そして私を20年後の創立50周年記念式典なんかに呼んでいただき、「いやー今日は懐かしい顔が並んでいますなあ。」などご挨拶できれば嬉しいかも、です。

「ゴーゴー レッツゴー シー・エス・ケーン！」(フロンティアレッツ談)

関西旋風を巻き起こせ！第六分科会！！

(第六分科会へのご参加お待ちしております。)

CS研の発展を願って

株式会社内田洋行 吉永 裕司

CS研創立30周年、おめでとうございます。今から二十数年前、初めて本研究会に参加したのが夏の合同研修会でした。その当時は、多くの大学が情報インフラの整備を進めており、情報部門を担当する教職員はとても多忙でしたが、「最新のテクノロジーを学びたい」、「先進的な事例を知りたい」、「他大学の教職員と情報交換したい」等を目的に、多くの方がこの研修会に参加していました。錚々たる顔ぶれの先生方がその時々のテーマを真剣に議論し、時にはそれが深夜まで続くこともありました。企業会員のソリューションの展示見学は、教職員の皆様から様々な意見をお聞きする貴重な場で、これをきっかけに実際に大学へ新製品を導入させて頂いたこともありました。とにかく、いろいろな面で刺激的で、毎年、夏の合同研修会に参加することを楽しみにしていたことを思い出します。

現在、大学は、「教育の質向上」、「グローバル人材の育成」、「地域への貢献」、「産業界との連携」等、多くの課題に直面していますが、本研究会においても、第五分科会（大学経営と情報戦略）、第六分科会（教育モデルと情報基盤）が設置され、より本質的な大学の課題を研究する場が変わってきています。我々も微力ではありますが今後も本研究会に参加させて頂き、これからの時代が求める教育環境について、会員の皆様と一緒に考えていきたいと思っております。最後に、未筆ながら、CS研の一層のご発展と皆様方のご活躍を祈念いたします。

CS研活動をとおして

株式会社富士通マーケティング 石渡 実

この度は、私立大学キャンパスシステム研究会（CS研）が創立30周年を迎えられたことを、心よりお祝い申し上げます。

弊社もCS研では、分科会活動や合同研修会を通して、会員の私立大学様や、賛助会員の企業様と様々な情報交換ができ、教育現場の生の声や最新技術習得の場として、活用させて頂いております。

過去にも、分科会や合同研修会のソリューション紹介で弊社のソリューションである双方向コミュニケーションツール『PInT』や、デジタルサイネージ『ChaME0』を紹介させて頂いたことがきっかけで、会員の大学様への導入が決まり、実際にキャンパス内でご活用頂けている事例もあり、CS研の交流を通してその活用事例や改善点などをフィードバックして頂く事ができ、こういった現場のご意見を取り入れ、よりよいソリューションの提供に努めていきたいと考えております。

結びに、CS研の更なるご発展と、皆様の今後益々のご健勝、ご活躍を心から祈念申し上げます。お祝いのことばといたします。

CS研への思い

京都電子計算株式会社 高山 英文

この度は、CS研の創立30周年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。

弊社は2007年度から正式加入させていただき8年目となりました。当時は、東京支店を開設したところで、この機会に関東圏の大学様へアピールの絶好のタイミングと思い加入させていただいた次第です。

弊社では、富士通様の事務システム（Campusmate-J）を導入と販売をお請けしている関係で、第二分科会への活動に同行させていただき、大学事務の現状や担当者様の貴重なご意見を伺い、システムへの反映に参考とさせていただいております。最初に参加させていただいた分科会の思い出として「札幌」での開催で、私としては北海道が初めてであり、予定を1日延長して小樽観光までしてしまい、目的はどっちやねん！と周りから非難を受けてしまったのを思い出します。

さて、毎年の合同研修会は、ソリューションの紹介や多くの会員様との交流の場として楽しみにしており、事務局の皆さんも大変かと思いますが、今後も益々盛り上がることを期待しております。

末筆ながら、CS研の一層のご発展と皆様のご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

祝 CS研 創立30周年

東通産業株式会社 山岸 俊則

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素、私立大学キャンパスシステム研究会(通称CS研)会員の皆様や事務局の方々には格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

この11月にCS研創立30周年を迎えられましたこと、衷心よりお祝い申し上げます。30年間研究会として存続しているという事実は、CS研がいかにも有意義かつ有用な充実した研究会であるかを立証するものであり、それには会員の皆様や事務局の方々の並々ならぬ努力とご理解、ご協力があったればこそそのもの、と改めて深謝する次第でございます。

30年の間にはバブルの崩壊や大震災の発生などもあり、激動を乗り越え活動されてこられたことは今後の更なる発展の力として必ずや寄与するものと信じております。

弊社 東通産業は平成22年4月からの参画で研究会の中では新参者ですが、映像・音響設備のシステムインテグレート企業として、コンピュータ及びネットワーク系とは別の視点に立ったお手伝い出来るものと確信しております。皆様方のお役に立てる様、さらに情報交換や交流を密にしていける所存です。引続きのご指導ご鞭撻宜しくお願いします。

CS研会員および関係各社の益々のご発展、ご健勝を祈念申し上げます。 敬白

入会一年を振り返って

富士通関西中部ネットテック株式会社 間瀬 悟史

2014年7月に賛助会員として新規入会した富士通関西中部ネットテック（略称：KCN）でございます。

入会後すぐに浜名湖での合同研修会に参加させていただきました。大学様を取り巻く環境変化、大学様が抱える課題、それらに対し大学様がどのように向き合っているか等について、具体的な話を聞かせていただくことができ、大変勉強になりました。

合同研修会2日目のセッションでは、第三分科会に参加させていただき、アクティブラーニング環境を実際に体験したり、グループ討議を通して他の会員様との交流をはかることができ大変有意義でした。さらに、このセッションでは、インターンシップの学生や、昨年まで学生だった新入社員によるパネルディスカッションを通して、学生の生の声を聞かせていただきました。その中で、「大学からの案内は、学校ポータルからでなく、友達からのLINEで知る」との意見には驚きましたが、これがまさに生の声だと実感しました。現場で起きている現実を知り、新たな気付きを得ることができました。

一年後、今年も同研修会に参加させていただきました。改めてCS研のパワフルな活動、人の繋がり、一体感に感銘を受けると共に、その一員になれたことを嬉しく思います。

今後もCS研を通して大学様のご意見を聞かせていただき、皆様と一緒に教育の未来を築いていくために、ICTを通してご協力、ご提案させていただきたいと思います。

CS研創立30周年によせて

富士電機ITソリューション株式会社 北村 和人

CS研創立30周年、誠におめでとうございます。30年の長きにわたり貴研究会が運営、発展されてこられたのも、ひとえに歴代の会長はじめ会員の皆様方の熱心な活動の成果であると考え、ここに深く敬意の意を表す次第でございます。

既知ではありますが、近年少子化高齢化が急速に進展して大学を取り巻く環境は、厳しいものとなっております。弊社も大学様に関わる業者としていかにお役に立てるか日々愚考しているところであります。

これからも会員の皆様の活動に同席させていただき有意義な情報交換をお願いしたく考えておりますので何卒よろしくお願い致します。

この度の佳節を契機とされて更なる飛躍を遂げられますようご期待申し上げます。

弊社も「お客様の満足度向上」を基本姿勢にお客様、社会に貢献させて頂く所存です。

なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

また結びに貴研究会の更なる発展と、皆様の今後益々のご健勝、ご活躍を心から祈念申し上げます。お祝いの言葉といたします。

CS研事務局 お祝いメッセージリレー

私立大学キャンパスシステム研究会（CS研）創立30周年おめでとうございます。事務局からお祝いを申し上げます。

大浦 秀夫（1998年 事務局長）

早いものですね。もうCS研創立30周年ですか。先日(2015年6月)、記念式典に参加させていただき、懐かしい方とお会いでき、楽しい一時をすごすことができました。

私がCS研事務局の一員として関わりをもつようになったのは、ユーザ会ができて5年後からで、当初からお客様主体(手弁当で参加)で会の運営をされており、それが30年も続いた一番の理由だと思います。これからも40周年に向けて益々のご発展を祈念いたします。

藤野 誠治（1999年 事務局長）

CS研創立30周年、おめでとうございます。事務局長は1年間だけでしたが、教員・職員の方々の、仲の良い丁々発止の議論が大変新鮮でした。「これからの大学経営は、今ベースの改善に加え破壊ベースの見直しも大いに必要」という当時の言葉は今も生きています。

環境が変わりグローバルな競争が進む中で、多様化を十分認識し活動に結び付けていくこと、ここにCS研の意義があるのだと思います。CS研の更なる発展を祈念しております。

秋山 敬悟（2000年～2002年 事務局長）

私立大学キャンパスシステム研究会創立30周年おめでとうございます。これもひとえに会員の皆様方のご尽力の賜物と存じます。長浜での合同研修会に於けるご熱心な討議、一方夜の懇親会での意見交換などを懐かしく思い出します。唯残念だったのは、韓国セミナーが、2001年9月11日米国同時多発テロの余波で、翌朝成田に集合したのですが、飛行機が飛ばず視察できなかったことです。本研究会の益々のご発展を祈念申し上げます。

尾川 正美（2003年～2008年 事務局長）

私は2003年に秋山さんが社外に転出され、大島部長の依頼を受けて事務局長に就任しました。加賀美会長時代からSE側の責任者として、CS研に深く関わっていたので、スムーズに引き継ぎました。特に印象深い思い出は、下坂会長時代には海外研修にご一緒させて頂いた事と20周年記念事業の推進であり、齊藤会長時代には第五分科会を設立した事です。

その後、2009年2月から神戸大学への転出が決まり、西原本部長に後を託しました。

西原 寛治（2009年～2011年 事務局長）

CS研30周年、誠におめでとうございます。在籍中、第五分科会の立ち上げ、ロゴマークの公募と決定、海外（フィンランド）セミナーの企画など数々の事業に携わらせていただきました。また2009年にSS研、IS研とのコラボで立ち上げた「情報戦略フォーラム」が今日まで継続していることも大変嬉しく思っております。ご関係の皆さまにあらためて御礼申し上げますと共に、CS研のますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

CS研と出会えたこと

富士通株式会社 辻本 成彦
(2012年～ 事務局長)

CS研が創立30周年を迎えられたこと、心よりお祝いを申し上げます。これまでCS研の様々な活動を暖かく見守り、また時には厳しく育てていただいた歴代の諸先輩の多くの皆様のご尽力とお心遣いに深く感謝いたしております。この30周年を会員はじめ関係者の皆様がそれぞれ、色んな想いを持ってお迎えいただいているのではと拝察いたします。おそらくこの記念誌を手にした皆様にも色んな想いが伝わっていることでしょう。私事で恐縮ですが、振り返れば私がCS研と出会えたのは7年前、ちょうど京都から東京に赴任した直後で、まだ地下鉄の乗り方すらわからず、大都会恐怖症の慣れない生活を強いられていた頃でした（今は乗り換え案内のお陰でさすがに迷子にはなりません）。当時の会長は東京電機大学の齊藤先生でいつも「いいよいいよ」と笑顔で会員の皆様や事務局メンバにも励ましと癒しを与えていただき、事務局次長見習いであった私も何度となく救っていただくなか、何とかこれまで続けられたと深く感謝しております。そんな齊藤会長がある時、緊急役員ミーティングを招集されました。何事かと思いきや「5年後のCS研を考えよう！！」と役員の皆様にかなり重そうな宿題をご提示されました。常に変わり続けることの大切さは企業人である私も頭の中では理解できておりましたが、「じゃあどうすればいいの？」と正直自問自答したのを記憶しています。ただあの時の発想転換がなければ、いま関西旋風を巻き起こそうとしている第六分科会の設立もおそらく無かったと思いますし、賛助会員情報交換会などCS研の新たな取り組みも生まれていなかったのではと思っています。CS研の魅力は一言で表現するならば「色んな出会いが生まれること」に尽きるものと個人的には思っています。毎年20数回近く開催している分科会活動を中心に、これまで本当に沢山の方との面識が生まれ、また日頃なかなか訪問できないような大学や企業にもCS研のフリーパスで訪問でき、老若男女、大学人企業人など何の垣根も無く、「和気藹々」と語りあい、ある時は酒を酌み交わしながら、何の遠慮も無く日頃の想いをぶつけ合える場はイマドキそうは見当たらないような気がします。昨年の4月から会長にご就任いただいている明治大学阪井先生のこれまた強固なリーダーシップ（ご指導）の元、転換期を迎えたCS研が更なるステップアップ（全国制覇、会員数拡大、プレゼンスアップ？）を目指し、今後も役員・運営委員の方を中心とする多くの皆様のご指導・ご支援をいただきながら、常に変わり続けるのだと思います。お蔭様で「さらに5年後のCS研を考えよう！！」との宿題は、今のところ阪井会長からはご提示されていませんが、おそらく今のCS研の良さを一人でも多くの大学・企業の方に知っていただき、会員の皆様全員にとってこのCS研の存在がかけがえのないものであり続けることが、我々CS研事務局に与えられたミッションであると考えております。次の記念誌が刊行されるであろう2020年（35年記念誌）は東京オリンピック開催年であり、少し影が薄れる？かもしれませんが（そんなこと無いか！）、無事記念誌が発刊できるよう、これからの5年間もまた一步一步、この素晴らしい研究会の事務局であることへの誇りを胸に、微力ではありますが、精進してまいりたいと思います。これまで同様、ご指導・ご支援のほど、どうかよろしくお願いいたします。さらなる飛躍がCS研に生まれることを祈念しております。

CS研創立30周年、本当におめでとうございます。

資 料

2015年度会員一覧

歴代役員一覧

歴代運営委員長一覧

表彰者一覧

CS研30年間のあゆみ

活動実績一覧

海外セミナー一覧

情報戦略フォーラム実施一覧

2015年度 会員校一覧

【正会員】

(五十音順)

No.	会員名
1	愛知学院大学
2	青山学院大学
3	亜細亜大学
4	追手門学院大学
5	大阪大谷大学
6	大阪経済大学
7	大阪産業大学
8	学校法人神戸女学院
9	学校法人常翔学園
10	学校法人日本工業大学
11	学校法人日本体育大学
12	神奈川工科大学
13	神奈川大学
14	鎌倉女子大学
15	関西大学
16	関西国際大学
17	神田外語大学
18	関東学院大学
19	京都産業大学
20	共立女子大学
21	久留米大学
22	慶應義塾大学
23	恵泉女学園大学
24	工学院大学
25	甲南大学
26	神戸学院大学
27	國學院大学
28	国際基督教大学
29	国士舘大学
30	産業能率大学
31	実践女子大学
32	芝浦工業大学
33	順天堂大学
34	城西大学
35	昭和女子大学
36	女子栄養大学
37	駿河台大学
38	聖学院大学
39	成蹊大学
40	成城大学
41	清泉女学院大学
42	清泉女子大学
43	専修大学
44	大東文化大学
45	千葉工業大学
46	中京大学
47	中部大学
48	津田塾大学
49	帝京大学
50	東海大学
51	東京工科大学
52	東京情報大学
53	東京電機大学
54	東京都市大学
55	東京農業大学

No.	会員名
56	東北学院大学
57	東洋英和女学院大学
58	東洋学園大学
59	東洋大学
60	常磐大学
61	名古屋外国語大学
62	日本女子大学
63	日本大学生産工学部
64	日本大学理工学部
65	日本福祉大学
66	白鷗大学
67	阪南大学
68	文化学園大学
69	文京学院大学
70	武蔵大学
71	明治大学
72	名城大学
73	立教大学
74	立正大学
75	立命館大学
76	龍谷大学
77	早稲田大学
78	和洋女子大学

【賛助会員】

No.	会員名
79	インテル株式会社
80	株式会社インフィニテック
81	株式会社内田洋行
82	株式会社システムサポート
83	株式会社ディスコ
84	株式会社東和エンジニアリング
85	株式会社富士通アドバンスドエンジニアリング
86	株式会社富士通システムズ・ウエスト
87	株式会社富士通ソーシアルサイエンスラボラトリ
88	株式会社富士通マーケティング
89	株式会社富士通ミッションクリティカルシステムズ
90	株式会社TOKAIコミュニケーションズ
91	京都電子計算株式会社
92	ソフト・オン・ネット ジャパン株式会社
93	大興電子通信株式会社
94	テクノシステム株式会社 (サーラグループ)
95	テクノシステム株式会社 (新潟県長岡市)
96	東京コンピュータサービス株式会社
97	東通産業株式会社
98	日本ソフト開発株式会社
99	日本データパシフィック株式会社
100	日本マイクロソフト株式会社
101	富士通エフ・アイ・ピー株式会社
102	富士通エフ・オー・エム株式会社
103	富士通株式会社
104	富士通関西中部ネットテック株式会社
105	富士電機ITソリューション株式会社
106	マカフィー株式会社

2015年10月1日現在

歴代役員一覧（1986年～2000年）

(敬称略)

[illegible]

歴代役員一覧（2001年～2015年）

歴代役員一覧 (2001年～2015年)

(敬称略)

			2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
会長	下坂 陽男	(明治大学)															
	齊藤 剛	(東京電機大学)															
	阪井 和男	(明治大学)															
副会長	永田 守男	(慶應義塾大学)															
	木戸 能史	(育英工業高専) (現：サレジオ工業高専)			代行												
	望月 達彦	(名古屋外国語大学)															
	大久保 英嗣	(立命館大学)															
	山崎 達朗	(芝浦工業大学)															
	大西 淳	(立命館大学)															
会計監査	瀬川 良彦	(愛知学院大学)															
	志村 公夫	(中央大学)															
	中島 善彦	(日本体育大学)															
	川尻 則夫	(中部大学)															
	下垣 伸吉	(立正大学)															
幹事	出原 和明	(東京電機大学)															
	田中 祥友	(立正大学)															
	大住 良生	(産能大学) (現：産業能率大学)															
	和田 悟	(明治大学)															
	牛久保 智子	(白鷗大学)															
	會澤 信	(東海大学)															
	小川 靖夫	(千葉工業大学)															
	佐古 卓史	(工学院大学)															
	小坂 哲郎	(武蔵工業大学) (現：東京都市大学)															
	鎌倉 行男	(明治大学)															
	福森 幸久	(産能大学) (現：産業能率大学)															
	高見澤 秀幸	(東海大学短期大学部)															
	久東 光代	(日本女子大学)															
	望月 達彦	(名古屋外国語大学)															
	立花 厚子	(日本女子大学)															
	松尾 しゅん	(法政大学)															
	小笠原 渉	(明治大学)															
	中田 義三	(明治大学)															
	山崎 達朗	(芝浦工業大学)															
	町田 富夫	(明治大学)															
	千葉 敏雄	(関東学院大学)															
	田中 俊介	(共立女子大学)															
	大森 正士	(恵泉女学園大学)															
	高橋 陽子	(東京電機大学)															
	遠山 紘司	(神奈川工科大学)															
	小山 信弥	(関東学院大学)															
	可児 光真	(清泉女子大学)															
	島崎 一彦	(専修大学)															
	得永 義則	(関西大学)															
	井上 明	(甲南大学)															
	柴田 直人	(立命館大学)															
	中芝 義之	(関西大学)															
	遠藤 桂一	(芝浦工業大学)															
	小糸 達夫	(関東学院大学)															
	篠田 有史	(甲南大学)															
	相根 誠	(立命館大学)															
事務局長	秋山 敬悟	(富士通㈱)															
	尾川 正美	(富士通㈱)															
	西原 寛治	(富士通㈱)															
	辻本 成彦	(富士通㈱)															

〓〓〓〓 : 幹事会議長
 〓〓〓〓 : 幹事会副議長
 - - - - : 幹事

歴代運営委員長一覧（1986年～2000年）

歴代連立委員長一覧（1986年～2000年）			(敬称略)														
			1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000
第一	阮 建治	(立教大学)															
	木戸 能史	(育英工業高専) (現：サレジオ工業高専)															
	阪井 和男	(明治大学)															
	牛久保 智子	(白鷗大学)															
	高見澤 秀幸	(東海大学短期大学部)															
	朝比奈 貴晃	(立正大学)															
第二	井草 茂麿	(中央大学)															
	江口 孝一	(豊田工業大学)															
	石井 博文	(芝浦工業大学)															
	高木 信一	(東京農業大学)															
	二橋 隆平	(中央大学)															
	松尾 恭	(名古屋外国語大学)															
	石井 和利	(日本体育大学)															
第三	北住 敏麿	(神奈川工科大学)															
	田中 祥友	(立正大学)		代行													
	蓮尾 章子	(東京電機大学)															
	宗像 吉延	(津田塾大学)															
	志村 公夫	(中央大学)															
	榎 守	(成城大学)															
	手島 秀樹	(東京情報大学)															
	筑山 正之	(武蔵工業大学) (現：東京都市大学)															
	福田 光良	(城西大学)															
第四	高多 亨	(名古屋学院大学)															
	牛崎 進	(立教大学)															
	大野 友和	(明治大学)															
	新谷 知之	(東海大学)															
	安田 博	(慶應義塾大学)															
	山崎 達朗	(芝浦工業大学)															
	久保木 和義	(明治大学)															
フォーラム (現MC局)	渡邊 純一	(中央大学)															
	河田 昌俊	(関東学院大学)															
	荒舩 勝浩	(武蔵工業大学) (現：東京都市大学)															
	太田 恵介	(中央大学)															
	伊藤 富夫	(日本大学生産工学部)															
	長縄 克枝	(中部大学)															

MC局は、メディアコミュニケーション局の略称です。

歴代運営委員長一覧（2001年～2015年）

		(敬称略)														
		2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
第一	朝比奈 貴晃 (立正大学)															
	矢野口 聡 (文京学院大学)															
	平森 主 (武蔵工業大学) (現：東京都市大学)															
	恵藤 浩朗 (日本大学理工学部)															
第二	石井 和利 (日本体育大学)															
	千葉 敏雄 (関東学院大学)															
	出口 武志 (千葉工業大学)															
	今野 陽夫 (東北学院大学)															
	石田 恭啓 (立正大学)															
	新井 清秋 (城西大学)															
	中村 高士 (松本大学)															
	平石 泰介 (東海大学)															
第三	福田 光良 (城西大学)															
	高井 麻季子 (武蔵大学)															
	佐藤 龍 (東京電機大学)															
	石井 明 (津田塾大学)															
	錦織 政晴 (産業能率大学)															
第四	久保木 和義 (明治大学)															
	三橋 雅之 (東海大学)															
	長縄 克枝 (中部大学)															
	靱江 哲生 (東京都市大学)															
第六	正司 久博 (学校法人常翔学園)															
フォーラム (現MC局)	長縄 克枝 (中部大学)															
	今野 陽夫 (東北学院大学)															
	福田 光良 (城西大学)															
	三橋 雅之 (東海大学)															
	平森 主 (東京都市大学)															
	恵藤 浩朗 (日本大学理工学部)															

MC局は、メディアコミュニケーション局の略称です。

特別功労者表彰

(敬称略)

2015年度 30周年記 念式典に て表彰		会員名	氏名	貢献内容
	1	元 愛知学院大学	瀬川 良彦	1994年度～2006年度 会計監査
	2	東京電機大学	出原 和明	1996年度～2000年度 幹事 2001年度～2008年度 幹事会副議長

功労者表彰

2011年度 総会にて 表彰		会員名	氏名	貢献内容
	1	元 学校法人日本体育会	中島 善彦	2002年度～2010年度 会計監査
	2	千葉工業大学	小川 靖夫	2008年度～2010年度 幹事会議長
	3	恵泉女学園大学	大森 正士	2008年度～2010年度 幹事
	4	東京都市大学	平森 主	2004年度～2010年度 第一分科会 運営委員長
	5	松本大学	中村 高士	2010年度 第二分科会 運営委員長
	6	城西大学	福田 光良	2009年度～2010年度 フォーラム運営委員長 (現：メディアコミュニケーション局運営委員長)

2012年度 総会にて 表彰		会員名	氏名	貢献内容
	1	名古屋外国語大学	望月 達彦	2007年度～2011年度 幹事会副議長
	2	東京都市大学	平森 主	2011年度 フォーラム運営委員長 (現：メディアコミュニケーション局運営委員長)
	3	東海大学	三橋 雅之	2002年度～2011年度 第四分科会 運営委員
	4	明治大学	久保木 和義	2002年度～2011年度 第四分科会 運営委員

2013年度 総会にて 表彰		会員名	氏名	貢献内容
	1	関西大学	得永 義則	2012年度 幹事
	2	関東学院大学	小山 信弥	2011年度～2012年度 幹事
	3	城西大学	福田 光良	2002年度～2012年度 第三分科会 運営委員長および運営委員 2002年度～2012年度 メディアコミュニケーション局運営委員長 (旧：フォーラム運営委員長)
	4	東京都市大学	靱江 哲生	2006年度～2012年度 第四分科会 運営委員長および運営委員

2014年度 総会にて 表彰		会員名	氏名	貢献内容
	1	東京電機大学	齊藤 剛	2006年度～2013年度 会長
	2	関東学院大学	千葉 敏雄	2007年度～2013年度 幹事
	3	東京電機大学	高橋 陽子	2009年度～2013年度 幹事
	4	神奈川工科大学	遠山 紘司	2011年度～2013年度 幹事
	5	立命館大学	柴田 直人	2012年度～2013年度 幹事
	6	甲南大学	井上 明	2012年度～2013年度 幹事
	7	立正大学	石田 恭啓	2011年度～2013年度 第二分科会 運営委員長

2015年度 総会にて 表彰		会員名	氏名	貢献内容
	1	立命館大学	大久保 英嗣	2013年度～2014年度 副会長
	2	立命館大学	相根 誠	2014年度 幹事

会員名は表彰時点の登録会員名で記載をしています。

皆勤賞

(敬称略)

2011年度 総会にて表彰		会員名	氏名	分科会
	1	共立女子大学	村居 昌俊	第二分科会
	2	東海大学	加藤 弓枝	第二分科会
	3	東海大学	齊藤 祐子	第二分科会
	4	学校法人日本体育会	太田 史枝	第二分科会
	5	千葉工業大学	平田 幸夫	第五分科会
2012年度 総会にて表彰		会員名	氏名	分科会
	1	東海大学	遠藤 裕城	第一分科会
	2	学校法人日本体育大学	荒井 俊嘉	第二分科会
	3	学校法人日本体育大学	濱田 潔	第二分科会
	4	共立女子大学	村居 昌俊	第二分科会
	5	千葉工業大学	白石 隼人	第二分科会
	6	東海大学	加藤 弓枝	第二分科会
	7	東京工科大学	金野 雅章	第三分科会
	8	東京工科大学	尾中 秀樹	第三分科会
2013年度 総会にて表彰		会員名	氏名	分科会
	1	清泉女子大学	可児 光眞	第一分科会
	2	立正大学	中里 裕子	第一分科会
	3	関東学院大学	中島 佑介	第二分科会
	4	東海大学	加藤 弓枝	第二分科会
	5	立正大学	白川 晃大	第二分科会
	6	関東学院大学	小糸 達夫	第三分科会
	7	共立女子大学	村居 昌俊	第四分科会
	8	愛知学院大学	高原 紀明	第六分科会
	9	関西大学	笹川 剛	第六分科会
	10	関西大学	長畑 俊郎	第六分科会
	11	京都産業大学	吉田 浩史	第六分科会
	12	昭和女子大学	森本 力	第六分科会
	13	立命館大学	相根 誠	第六分科会
2014年度 総会にて表彰		会員名	氏名	分科会
	1	関東学院大学	吉田 朋央	第二分科会
	2	東海大学	齊藤 祐子	第二分科会
	3	学校法人常翔学園	廣田 文男	第六分科会
	4	京都産業大学	平野 伸明	第六分科会
	5	昭和女子大学	森本 力	第六分科会
2015年度 総会にて表彰		会員名	氏名	分科会
	1	東海大学	加藤 弓枝	第一分科会
	2	共立女子大学	林 友里	第二分科会
	3	東海大学	守屋 智美	第二分科会
	4	東海大学	荻堂 枝里	第二分科会
	5	共立女子大学	森 美由紀	第四分科会
	6	学校法人常翔学園	田添 司	第六分科会
	7	京都産業大学	平野 伸明	第六分科会
	8	昭和女子大学	森本 力	第六分科会

会員名は表彰時点の登録会員名で記載をしております。

C S 研 3 0 年間のあゆみ

年次	私立大学キャンパスシテム研究会	富 士 通	業 界	一 般
1985 年	11.8 1985年度総会 私立大学FACOMユーザ研究会として発足 東京ガーデンパレス 会員大学：27校 登録会員数：149名	・汎用機にUNIX採用 ・「VP400/50」発表 ・大型汎用機M-780発表 ・富士通VANサービ FENICSの販売開始 ・FETEX-150 世界初のISDN 実用試験をシンガポ ールで実施	・UNIXでの学術研究 ネットワークとしてJ UNETが慶応大、東 大、東工大によってス タート ・Σプロジェクト開始 (国のソフトウェア技 術者養成プロジェク ト)	・東北・上越新幹線(上野 ～大宮間)開通(3月) ・日本たばこ産業・NTT開 業(公社の民営化)(4月) ・日航機、御巣鷹山に墜落 (8月) ・科学万国博「つくば85」 開幕 ・通信端末設備の自由化 ・プラザ合意(9月)
1986 年	6.20 1986年度総会 青学会館 会員大学：29校 登録会員数：149名 9.4～9.6 第1回分科会合同研修会 シャトーテル赤根崎 テーマ：データベース 講演テーマ／講演者 大学におけるコンピュータ利用の一考案 植村 満夫(ファコムハイタック㈱) 私立大学コンピュータセンターの今後の役割 川井 忠雄(東海大学)	・デジタル交換機「ETEX3000」 発表 ・スーパーコンピュータ 「VP-30」発売 ・富士通ビデオテクスシ ステムの運用開始	・日電・東芝4Mビット DRAMを開発 ・文化庁、データベース を著作権の対象に ・日米半導体交渉最終合 意 ・コンピュータ教育開発 センター(CEC)設 立 ・日立M-660Xシリ ーズ発表	・ソ連チェルノブイリ原子 力発電所爆発(4月) ・三原山大噴火(11月) ・男女雇用機会均等法施行 (4月) ・日米貿易摩擦 日米半導体協定スタート ・円高不況 ・金融ビッグバン
1987 年	5.15 1987年度総会 東京ガーデンパレス 会員大学：33校 登録会員数：153名 9.9～9.11 第2回分科会合同研修会 東海大学三保研修館 テーマ：システム監査 講演テーマ／講演者 システム監査 大山 政雄(横浜商科大学)	・ビジネスパソコン「FMR」 発表 ・大型汎用機「M-700 シ リーズ」発表 ・32ビットワークステー ション「Gシリーズ」発 表 ・人工知能の新体系KSA 知識情報システム開発	・日電・日立・富士通等 32ビットパソコン相 次いで発表 ・IBMがOS/2を発売 ・Motorola社：MMU内蔵 の32ビットマイクロプ ロセッサMC68030を出 荷 ・NTT、携帯電話サービ スを開始	・国鉄民営化(3月) ・利根川進、ノーベル医学 生理学賞受賞(10月) ・ニューヨーク株式市場大 暴落(10月) ・東証1部、平均株価2万 円を突破
1988 年	5.27 1988年度総会 東京ガーデンパレス 会員大学：36校 登録会員数：138名 9.7～9.9 第3回分科会合同研修会 静岡厚生年金休暇センター テーマ：ネットワークの運用 講演テーマ／講演者 ①大学におけるコンピュータネットワークの構築と運用 北川 一(豊田工業大学) ②異機種間接続に関する富士通の対応 小谷野 正博(富士通㈱) 10.6～10.7 ・第1回私立大学エグゼクティブセミナー 富士フォーラム テーマ：インテリジェントキャンパス	・ニューロコンピュータ開 発 ・川崎工場に新技術新棟竣 工 ・広帯域ISDNシステムを 世界で初めて試作 ・オフィスプロセッサ 「K-600, K-100シリーズ」 発表 ・UNIXワークステーシ ョン「Sファミ」発表 ・「VP-2000 シリーズ」発 表 ・SunOS出荷	・通産省ニューロコンピ ュータ・光コンピュ ータの研究・開発・調査 に着手 ・WIDEプロジェクト 発足 ・日本ユニパックとパロ ーズ合併、日本ユニシ スとして発足	・青函トンネル開通(3月) ・瀬戸大橋開通(4月) ・リクルート疑惑発生 (6月) ・スーパー301条を含む包 括通商法成立が米国で成 立(8月)
1989 年	4月 Niftyにプライベートフォーラム(UFOR) 開設 6.8 1989年度総会 東京ガーデンパレス 会員大学：39校 登録会員数：177名 8.30～9.1 第4回分科会合同研修会 静岡厚生年金休暇センター テーマ：マンマシンインタフェース 講演テーマ／講演者 マンマシンインターフェースにおける曖昧さの役割 向殿 政男(明治大学)	・32ビットハイパーメ ディアパソコン「FMTOWNS」 発表 ・電脳遊園地を東京ドーム にて開催 ・汎用大型コンピュータ向 けOS「MSP-EX」発表 ・豪州ダンデノンにデジ タルPBXの製造工場を開 設	・コンピュータウィルス の被害続出 ・東芝とNECがノートブ ック型パソコン販売 ・Intel社が32ビット マイクロプロセッサ 80486DX(25MHz)を発表	・昭和天皇崩御(1月) ・アフガニスタン駐留のソ 連軍撤退完了(2月) ・消費税3%導入(4月) ・中国で天安門事件(6月) ・ベルリンの壁崩壊(11月) ・ルーマニア、チャウシェ スク政権崩壊(12月) ・東京証券取引所(日経平 均)が史上最高値(12月)

年次	私立大学キャンパスシステム研究会	富士通	業界	一般
1990 年	<p>7. 18～7. 20 創立5周年記念全体研修会 静岡厚生年金休暇センター テーマ：理想の学園システムの構築 講演テーマ／講演者 型破りのオペラ歌手ロマンを語る 岡村 喬生</p> <p>10. 16～10. 31 第1回海外セミナー アメリカ合衆国</p> <p>11. 27 1990年度総会及び創立5周年記念式典 ホテルグランドパレス 会員大学：45校 登録会員数：200名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ノートブック型パソコン「FMNOTEBOOK」発表 ・関澤義第10代社長に就任 ・世界発のUNIX System V Release 4 準拠のメインフレームOS「UXP/M」を発表 ・MISSION/DCの確立と世界最高速の超大型汎用コンピュータ「M-1800」発表 ・1Kgを切るノートブック型パソコン「FMRCARD」発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・日立、M-880シリーズ発表 ・Motorola 社：FPU, MMU 内蔵の32ビットマイクロプロセッサ MC68040 を出荷 	<ul style="list-style-type: none"> ・イラク、クウェートに侵入(8月) ・東西ドイツ統一(10月) ・日米新経済協議(日本市場の開放が一段と進む) ・株価暴落(10/1に2万円割れ。9ヶ月の間に半値まで暴落)
1991 年	<p>6. 18 1991年度総会 東京ガーデンパレス 会員大学：51校 登録会員数：245名 講演テーマ／講演者 情報通信システムの動向と当社の対応 小林 光治(富士通㈱)</p> <p>8. 28～8. 30 第5回分科会合同研修会 静岡厚生年金休暇センター テーマ：言いたい放題 講演テーマ／講演者 脳の可塑性と学習 松本 元(工業技術院電子総合研究所)</p> <p>11. 7～11. 8 第2回私立大学エグゼクティブセミナー 富士フォーラム テーマ：大学に於ける情報の戦略的活用に向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「VP1000」発表 ・「DS/907000シリーズ」発表 ・富士通初の携帯電話「ムーバF」発表 ・1990年代の情報システム構築新コンセプト「MESSAGE90S」発表 ・中大型汎用コンピュータ「M-1400/M-1600」発表 ・世界初SDH光海底システム(FS-1.8G)を英独間に納入 	<ul style="list-style-type: none"> ・PCオープン・アーキテクチャー推進協議会が結成、IBMのDOS/V仕様のパソコンを各社で開発することに合意 ・オープンソースソフトウェアであるLinux公開 	<ul style="list-style-type: none"> ・湾岸戦争勃発、原油高(1月) ・雲仙普賢岳噴火で大火砕流発生(6月) ・ソ連、保守派クーデタ発生(8月) ・ソビエト社会主義共和国連邦消滅、独立国家共同体誕生(12月) ・バブル崩壊(地下の下落が始まる)
1992 年	<p>6. 5 1992年度総会 東京ガーデンパレス 私立大学キャンパスシステム研究会(略称CS研)に名称変更 会員大学：57校 登録会員数：255名 講演テーマ／講演者 ネットワーク社会の技術と利用の問題 安田 寿明(東京電機大学)</p> <p>8. 26～8. 28 第6回分科会合同研修会 磐田グランドホテル テーマ：ダウンサイジング 講演テーマ／講演者 感性とコンピュータ 北川 一(中京大学人工知能高等研究所)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「富士通環境憲章」を発表 ・情報・通信システムの総合サービス体系「PROPOSE」発表 ・世界最高速のベクトルパラレル型スーパーコンピュータ「VPP500」発表 ・世界初、21インチ・フルカラーのプラズマディスプレイを発売 ・幕張システムラボラトリ開設 	<ul style="list-style-type: none"> ・日立、トータルシステムコンセプトFOREFRONT発表 ・マイクロソフト米国でWindows3.1販売開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・欧州連合(EU)発足(2月) ・地球サミット(国連環境開発会議)をブラジルのリオデジャネイロで開催(6月) ・第25回夏期オリンピックバルセロナ大会開催(7月) ・毛利 衛さん宇宙へ(9月) ・あかつき丸プルトニウム1tを積みフランスを出港(11月) ・失われた10年
1993 年	<p>6. 15 1993年度総会 富士通幕張システムラボラトリ 会員大学：62校 登録会員数：255名 講演テーマ／講演者 マルチメディアの動向と富士通の取り組み 坂本 善博(富士通㈱)</p> <p>8. 25～8. 27 第7回分科会合同研修会 磐田グランドホテル テーマ：マルチメディアとネットワーク 講演テーマ／講演者 日本の情報システムとオープンシステムパラダイム 山崎 和海(立正大学)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3Dシステム「AGシリーズ」発表 ・中国人民会堂で「富士通総合技術展」開催 ・Windows時代に対応する国際標準機「FMVシリーズ」発表 ・スパコン「数値風洞システム」(NWT)※が世界初100GFlops超え ※航空宇宙技術研究所(現JAXA)と富士通が共同で開発 ・スーパーコンピュータ「VP2000シリーズ」発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・NECのPC-VAN米英の国際VANと接続 ・日本DEC社、64ビットパソコンを発売 ・携帯電話第2世代(PDC)サービス開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・新総合経済対策13兆2千億円(4月) ・皇太子・雅子さまご結婚(6月) ・細川連立内閣成立ー「55年体制」崩壊(8月) ・環境基本法の公布、施行(11月)

年次	私立大学キャンパスシステム研究会	富 士 通	業 界	一 般
1994 年	<p>6.10 1994年度総会 富士通本社 会員大学：61校 登録会員数：250名 講演テーマ／講演者 使える意思決定法 若山 邦紘（法政大学）</p> <p>8.24～8.26 第8回分科会合同研修会 磐田グランドホテル テーマ：ユースターサービス 講演テーマ／講演者 マイクロソフトのWindows戦略 加藤 浩一（日本マイクロソフト㈱）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・商用インターネットサービス「Infoweb」の提供開始 ・都市型 CATV の新サービストライアルを日本で初めて実施 ・ATMマルチメディアシステム「E-7000 シリーズ」発表 ・世界最速プリンタ「F6772D」を出荷 ・「FMV DESKPOWER」発売 	<ul style="list-style-type: none"> ・IBMパソコン通信参入 ・ソニー・コンピュータエンタテインメントが家庭用テレビゲーム機プレイステーションを発売。 ・製造物責任法（PL法）成立 	<ul style="list-style-type: none"> ・新総合経済対策 15兆2千5百億円（2月） ・米国にてスーパー301条を復活（3月） ・中華航空140便墜落炎上（4月） ・向井千秋さんスペースシャトルで宇宙へ旅立つ（7月） ・大江健三郎ノーベル文学賞受賞（10月）
1995 年	<p>2.22 創立10周年記念座談会</p> <p>6.9 1995年度総会及び創立10周年記念式典 富士通幕張システムラボラトリ、幕張プリンスホテル 会員大学：56校 登録会員数：211名 講演テーマ／講演者 海外ビジネス体験談 山本 卓眞（富士通㈱）</p> <p>8.20～8.26 第2回海外セミナー（第1回アジアセミナー） 中華人民共和国</p> <p>9.11～9.12 創立10周年記念研修会及び第9回分科会合同研修会 熱海後楽園ホテル 講演テーマ／講演者 ネットワークが世の中を変える 京増 弘志（ニフティ㈱）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新サービス体系「C/Sデスクトップサービス」を発表 ・仮想現実によるマルチメディア通信サービス「Worlds Away」の提供開始を発表 ・マルチメディアのクリエイターを支援する「コンテンツラボ」を開設 ・新グローバルサーバ「GS8000 シリーズ」発表 ・42型カラープラズマディスプレイを世界で初めて商品化 ・世界初、2GB/4GBの3.5インチ光磁気ディスクを開発 ・アウトソーシングサービス拠点「館林システムセンタ」開設 ・世界最速アレイディスクサブシステム「F6493」を発売 	<ul style="list-style-type: none"> ・電話の公専接続解禁 ・製造物責任法（PL法）施行 ・首都圏と北海道でPHSサービス開始 ・Windows95発表 ・日本でインターネットが普及しはじめる 	<ul style="list-style-type: none"> ・阪神大震災発生（1月） ・世界貿易機構（WTO）が発足（1月） ・地下鉄サリン事件発生（3月） ・東京円1ドル79円 -産業の空洞化の進行-（4月） ・世界都市博中止（5月） ・野茂投手大リーグ初勝利（6月） ・フランス、ムルロア環境で核実験強行（9月） ・イスラエル、ラビン首相暗殺（11月）
1996 年	<p>6.7 1996年度総会 富士通本社 会員大学：55校 登録会員数：202名 共通テーマ：21世紀の大学 講演テーマ／講演者 CALSの動向と事例 生田 賢次（富士通㈱）</p> <p>8.28～8.30 第10回分科会合同研修会 浜名湖ロイヤルホテル テーマ：21世紀の大学 講演テーマ／講演者 収奪文明から調和文明へ 鳥井 弘之（日本経済新聞社）</p> <p>10.1～10.12 第3回海外セミナー アメリカ合衆国</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバルサーバ「GS8600」発表 ・超高速スーパーコンピュータ「VPP700」発表 ・新並列サーバ「AP3000」発表 ・「Wild Bird センター」をインターネット上に開設し、世界初の携帯情報端末・携帯パソコン向け情報サービスを開始 ・世界最高速の並列DBプロセッサ「TX5000」、Symfowar製品、サービス商品を提供し、データウェアハウス市場へ本格参入 ・パソコンサーバ「GRANPOWER5000」発表 ・ウェブTV社と日本におけるテレビ向けインターネット事業を行なうことに合意 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界にさきがけ、東京圏に道路交通情報システム（VICS）サービス開始 ・日本初の衛星デジタル放送「パーフェクTV」本放送開始 ・NTTがOCNサービス開始 ・デジタル・カメラが普及 ・インターネットのポータルサイト Yahoo! JAPAN（ヤフー）がスタート ・米国、通信の規制緩和 ・携帯電話加入者1千万人を突破 	<ul style="list-style-type: none"> ・若田さん宇宙へ日本人初の搭乗運用技術者（1月） ・日本サッカー28年振り五輪出場権獲得（3月） ・2002年サッカーW杯日韓共催決定（5月） ・アトランタ五輪開幕 179ヶ国・地域が参加（7月） ・ローマ法王、進化論認める（10月） ・金融ビッグバン（11月） ・ペルーの日本大使公邸占拠事件（12月） ・労働省、人材派遣業を自由化（12月）
1997 年	<p>4月 CS研ホームページ開設</p> <p>6.6 1997年度総会 富士通川崎工場 会員大学：56校 登録会員数：196名 共通テーマ：21世紀の大学 講演テーマ／講演者 大学の情報化と国の財政援助 井端 正臣（社）私立大学情報教育協会）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新ビジネスサーバ「GRANPOWER6000」発表 ・新携帯情報ツール「INTERTOP」発表 ・ネットワークコンピューティングの体系「SOLUTIONVISION」を確立 	<ul style="list-style-type: none"> ・住銀、国内初の「インターネットバンキング」サービス開始 ・NTT移動通信網「10円メール」サービス開始 ・アスキーがIP事業から全面撤退 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロシアタンカー日本海で沈没、各地に重油被害（1月） ・クローン羊ドリー誕生（2月） ・消費税5%に（4月） ・香港の中国変換、155年の英統治に幕（7月）

年次	私立大学キャンパスシステム研究会	富士通	業界	一般
1997 年	<p>8. 27～8. 29 第 1 1 回分科会合同研修会 浜名湖ロイヤルホテル テーマ：2 1 世紀の大学 講演テーマ／講演者 2 1 世紀の大学 下坂 陽男（明治大学）</p> <p>9. 6～9. 14 第 4 回海外セミナー（第 2 回アジアセミナー） シンガポール共和国・タイ王国</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・世界初の WDM 光海底システムをアラブ湾岸 3 カ国に納入 ・女性向けスタイリッシュパソコン「FMV-DESKPOWER プリシエ」を発売 ・米アムダール社を 100% 子会社化 ・国内全製造工場にて ISO14001 認証取得完了 	<ul style="list-style-type: none"> ・NTT のアナログ更改完了、クロスバ交換機終息 ・携帯電話加入者 2 千万人を突破 	<ul style="list-style-type: none"> ・持株会社解禁（7 月） ・タイで通貨危機、周辺国に波及（7 月） ・マザーテレサ死去（9 月） ・土井隆雄さん宇宙へ、日本人初の宇宙遊泳（11 月） ・地球温暖化防止京都会議開催（12 月） ・クレジットクライシス（貸し渋り）により金融機関の経営破綻のはじまり
1998 年	<p>6. 5 1 9 9 8 年度総会 富士通本社 会員大学：5 4 校 登録会員数：2 0 4 名 共通テーマ：2 1 世紀の大学ー2 1 世紀を目指した大学の情報化と情報環境ー 講演テーマ／講演者 インターネット社会の人権 夏井 高人（明治大学）</p> <p>8. 26～8. 28 第 5 回海外セミナー （第 3 回アジアセミナー）日本は、 第 1 2 回分科会合同研修会として実施</p> <p>富浦ロイヤルホテル テーマ：2 1 世紀の大学ーアジア諸国の大学との連携と貢献 講演テーマ／講演者 ①大学における情報処理環境の現状と将来 宓 廷耀（華東大学） ②華東師範大学におけるキャンパスネットワーク及び情報システムの現状と将来 王 能（華東師範大学） ③情報処理教育／情報教育の変遷と今後の課題 山崎 和（立正大学）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・世界最高速の CMOS 大型汎用機「GS8800」発表 ・ソニーと次世代システム L S I の開発、製造における協業で基本合意 ・We b T V 日本法人に資本参加 ・日立製作所と次世代 P D P に関する共同開発契約を締結 ・基本ソフトウェアに S o l a r i s を採用した自社製チップ搭載の U N I X サ ー バ「GP7000F」発表 ・ソニーと 1 . 3 G B の 3 . 5 インチ光磁気ディスクシステム「GIGAMO」を共同開発 ・サービス事業本格展開 FENICS トータルアウトソーシングサービス発売 	<ul style="list-style-type: none"> ・改正著作権法施行、デジタルネットワークにおける双方向通信に対応 ・国内の I P 事業者数、3 0 0 0 社突破 ・京都市内でデビットカードサービス開始 ・公取委、マイクロソフトに独禁法違反で排除勧告 ・Windows 98 を発売開始 ・Google 社設立 	<ul style="list-style-type: none"> ・長野村ツッパ開幕（2 月） ・若乃花 66 代横綱、史上初兄弟横綱（5 月） ・和歌山市毒入りカレー事件（7 月） ・NTT ドコモが東証 1 部に上場（10 月）
1999 年	<p>6. 4 1 9 9 9 年度総会 富士通本社 会員大学：5 3 校 登録会員数：2 1 0 名 共通テーマ：2 1 世紀の大学ー2 1 世紀を目指した大学の情報化と情報環境ー 講演テーマ／講演者 デジタルコミュニケーションへの期待と役割 村井 純（慶應義塾大学）</p> <p>8. 25～8. 27 第 1 3 回分科会合同研修会 浜名湖ロイヤルホテル テーマ：2 1 世紀の大学ー多様化と個性化へのアプローチ 講演テーマ／講演者 世紀末とコンピュータワールド 加賀美 鐵雄（中央大学）</p> <p>11. 9 創立 1 5 周年記念座談会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・衛星イントラネットの販売開始 ・世界初の 1Tbps 光多重の 1 万キロメートル伝送実験に成功 ・富士通と日立、大型 P D P の開発・製造・販売で合弁会社 ・米ビジネス・ウィーク誌年間企業広告賞受賞 ・3 5 0 万会員のメガ・プロバイダーサービス「@ n i f t y」が誕生 ・富士通と日興証券が業務提携 ・世界初、富士通、ファナック、東レが T h e M O L D E S T の共同開発に成功 ・世界最高速の処理能力「GS8900」発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・NTT ドコモが世界初の携帯電話 IP 通信サービス「i モード」開始（2 月） ・中古ソフト販売、小売店が勝訴 ・NTT 分割再編、国際通信へ進出 ・MS Office2000 発売 ・東芝、米 P C 訴訟「被害を受ける可能性」で和解金 1 , 1 0 0 億円 	<ul style="list-style-type: none"> ・欧州統一通貨ユーロ誕生（1 月） ・初の「心・肝」脳死移植（2 月） ・トキの人口ふ化、国内初成功（5 月） ・トルコ西部地震、犠牲者 18, 000 人（8 月） ・台湾大地震犠牲者 2, 000 人（9 月） ・東海村で臨界事故（9 月）
2000 年	<p>6. 2 2 0 0 0 年度総会及び創立 1 5 周年記念式典 東京ガーデンパレス 会員大学：5 4 校 登録会員数：2 4 4 名 共通テーマ：2 1 世紀の大学ー2 1 世紀を目指した大学の情報化と情報環境ー 講演テーマ／講演者 Everything on the Internet 渡辺 武経（ニフティ㈱）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・富士通ショッピングサイト「WEB MART（ウェブマート）」を開設 ・グローバルビジネスの展開に向けたサーバ戦略を発表、サーバのブランド全世界で統一 	<ul style="list-style-type: none"> ・西暦 2 0 0 0 年問題、順調な幕開け ・Windows2000 発売 ・省庁ホームページ改ざん ・日本 I B M 企業向けパソコンで新ブランド「ネットビスタ」 	<ul style="list-style-type: none"> ・初の女性知事、大阪府に誕生（2 月） ・有珠山噴火（3 月） ・朝鮮半島で初の南北首脳会議（6 月）

年次	私立大学キャンパスシステム研究会	富 士 通	業 界	一 般
2000 年	<p>8.28～8.30 第 14 回分科会合同研修会 長浜ロイヤルホテル テーマ：21 世紀の大学－教育の情報化と事務のオープン化－ 講演テーマ／講演者 宇宙の謎に挑む 海部 宣男（国立天文台）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ブライバシーマーク取得、ネットの情報管理強化 ・電子部品、ネット購買網を公開会員、企業を募る ・ブランド戦略推進 グループ各社 ロゴマーク統一 ・世界初、高速 64kbps ワイヤレスデータ通信機能を標準内蔵したモバイルパソコン「FMV－BIBLO LOOX(ルークス)」2 機種を提供 ・電子社会の未来を拓く「net Community」開設 ・世界最大容量の 1.76Tbps 光波長多重伝送システムが完成（02 年に市村産業賞を受賞） ・企業向けサポートデスク開始－コールセンター業務の本格展開－ ・あきるのテクノロジーセンター開設 	<ul style="list-style-type: none"> ・東電など、データセンター設立発表 東京に世界最大級 設備投資 100 億円 ・日本ボルチモア、サイバートラストと合併 電子認証でシェア 1 位に ・NTTドコモ、携帯電話機の海外利用を開始 ・日本ゲートウェイ、コンビニでパソコン販売サンクスと提携 ・米クレイ日本法人設立 相次ぎスパコン投入 ・DDI・IDO、携帯電話で位置検索「EZWeb」新サービス展開 ・日本IBM、Linux 拠点開設 専属技術者を 100 人配置 ・マイクロソフト、ウィンドウズ EC の携帯端末日本語版を投入 ・新型コンピュータウイルス 「マトリックス」「ナビダ」が日本で猛威 ・BS デジタル放送開始 ・インバク開幕、ネット上に 200 超す「パビリオン」 	<ul style="list-style-type: none"> ・パリ郊外で超音速旅客機コンコルド墜落（7 月） ・新額面紙幣 2 千円札発行（7 月） ・三宅島噴火で全島民避難 17 年ぶりに噴火。島民約 3800 人が避難（8 月） ・シドニー五輪開幕（9 月） ・白川博士にノーベル化学賞。電気を通すプラスチック（導電性高分子）を発見（10 月） ・アメリカ大統領選、歴史的な大接戦で混乱 共和党のブッシュ候補が当選（12 月） ・IT バブルの崩壊
2001 年	<p>6.8 2001 年度総会 富士通本社 会員大学：57 校 登録会員数：269 名 共通テーマ：学生に対するサービスのあり方 講演テーマ／講演者 死の四重奏は正しい食生活で直せる 佐藤 和子（大塚製薬㈱）</p> <p>8.29～8.31 第 15 回分科会合同研修会 長浜ロイヤルホテル テーマ：学生に対するサービスのあり方 講演テーマ／講演者 大変革時代の大学と情報技術 永田 守男（慶應義塾大学）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「富士通 IA ソリューションセンター」を開設 ・「PRIMEPOWER CENTER」を開設 ・FUJITSU LIFEBOOK、COMDEX 2001 で最優秀賞受賞 ・The FUJITSU Way（現 FUJITSU Way）を制定 ・日本初のビジネスサポートサービス（コンサルティング、コラボレーションサービス、構築テンプレート）発売 	<ul style="list-style-type: none"> ・マイクロソフト、新ゲーム機 X-BOX を披露 ・家電リサイクル法の施行 ・XML コンソーシアム設立 ・新ウイルス「コード・レッド」、世界で被害拡大 ・日本IBM、PC ブランドを「ネットビスタ」に統一 ・新種のコンピュータウイルス「ニムダ」被害拡大 ・マイクロソフト、XP 国内販売開始 ・NTT ドコモが「FOMA サービス」開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・中央省庁再編スタート（1 月） ・IT 戦略本部が「e-Japan 戦略」として IT 国家戦略を策定（1 月） ・えひめ丸がハワイ沖で米原潜と衝突（2 月） ・小泉純一郎内閣発足。驚異的内閣支持率を得て『小泉人気』とよばれる（4 月） ・国内初の狂牛病の牛を確認（9 月） ・米国同時多発テロ（9 月） ・テロ対策特別措置法成立、自衛艦インド洋へ（10 月）
2002 年	<p>6.7 2002 年度総会 富士通本社 会員大学：55 校 登録会員数：266 名 共通テーマ：学生に対するサービスの向上 講演テーマ／講演者 これからの大学評価と認定 大橋 秀雄（工学院大学）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークストレージサーバ「ETERNUS SP5000」発表 ・プラットフォームコンセプト「TRIOLE」を確立 ・世界最高速の大型汎用コンピュータ「GS21 600 モデルグループ」発表 ・「FUJITSU ユニバーシティ」の設立 ・「あきる野テクノロジーセンター」世界で初めて 90 ナノメートル LSI 試作量産ラインの稼働開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・インテル、新型「ペンティアム 4」を発売 ・日立と IBM が HDD 事業統合へ ・海洋科学技術センターが、多目的スーパーコンピュータ「地球シミュレーター」「Earth Simulator」の運用開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・公立学校完全週 5 日制の開始（4 月） ・経団連と日経連が統合し日本経団連が発足（5 月） ・日韓共催サッカーワールドカップ開催（5 月） ・東ティモール民主共和国が独立（5 月） ・アフリカ連合発足（7 月） ・住民基本台帳ネットワーク稼働（8 月）

年次	私立大学キャンパスシステム研究会	富士通	業界	一般
2002 年	<p>8.29～8.31 第16回分科会合同研修会 伊勢志摩ロイヤルホテル テーマ：学生に対するサービスの向上 講演テーマ／講演者 大谷流 人脈の作り方 大谷 由里子（吉本興業㈱）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・世界初、環境負荷の少ない「生分解性プラスチック」部品をノートパソコンに採用 ・「GLOVIA ソリューション」の提供開始 ・ギガヘルツプロセッサを搭載した UNIX サーバ「PRIMEPOWER」販売開始 ・日本最大規模の新スーパーコンピュータシステムが航空宇宙技術研究所で稼働 ・自社回収したパソコンの筐体樹脂をノートパソコンに再生利用 ・プラットフォームコンセプト TRIOLE を確立 ・「Campusmate-J」提供開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本IBM、ホームページ・ビルダーの認定資格制度を設置 ・電子投票、岡山県新見市で全国初の試み ・マイクロソフト、「ウィンドウズ・メディア9」公開へ 	<ul style="list-style-type: none"> ・スイス国連加盟（9月） ・ノーベル賞初のダブル受賞、小柴昌俊氏が物理学賞、田中耕一氏が化学賞を受賞（10月） ・日朝首脳会談が行われ、北朝鮮拉致被害者5人帰国（10月）
2003 年	<p>6.6 2003年度総会 富士通本社 会員大学：60校 登録会員数：326名 共通テーマ：学生サービスの向上 講演テーマ／講演者 大学行政の転換と大学運営 清成 忠男（法政大学）</p> <p>8.29～8.31 第17回分科会合同研修会 伊勢志摩ロイヤルホテル テーマ：学生に対するサービスの向上 講演テーマ／講演者 ①ナノテクが拓く新しいITの世界 横山 直樹（㈱富士通研究所） ②スーパーカミオカンデによる素粒子ニュートリノの観測 小汐 由介（東京大学）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・世界初の非接触型手のひら静脈認証技術を開発 ・手書き機能付き日本語入力ソフト「ジャパニスト2003」発売 ・最適な通信網選択ソフト「シームレスリンクVI」発売 ・ブレード型IAサーバ「PRIMERGY BX300」発表 ・世界規模で社員教育改革、eラーニング5万人に拡大 ・電子投票システム、ムサシが製品化、富士通と共同開発 ・高性能メインフレーム「GS21」発売 ・札幌にデータセンター開設 ・アメフト・パールボウル 富士通、逆転初V ・統合業務パッケージ「GLOVIA」製品体系一新 ・UNIXサーバ「PRIMEPOWER」TPC-Hベンチマークで世界最高性能を達成 ・高知にIDC完成 ・ソフト事業の拠点「富士通ソリューションスクエア」開設、技術者4000人結集 	<ul style="list-style-type: none"> ・手書きパソコン「タブレットPC」販売開始 ・日本HP・コンパック合併 ・住基カード、サービス実験開始 ・マイクロソフト、「ウィンドウズサーバー2003」発売 ・日立・三菱、「半導体」本格統合へ ・新ウイルス「バグベアB」感染報告が増加 ・「リンドウズ」発売 ・e-Japan戦略II決定 ・新ウイルス MSプラストの被害拡大 ・住基ネット、本格稼働 ・NEC、PC-9800シリーズの歴史に幕 ・家庭のパソコンを再資源化するPCリサイクル法が開始 ・アップルの直営店が銀座に開店 ・Apple社がiTunes Music Store開始 ・地上デジタルテレビ放送開始 ・「資源有効利用促進法（パソコンリサイクル法）の改正施行 	<ul style="list-style-type: none"> ・スペースシャトル「コロンビア」が空中分解、乗員死亡（2月） ・新型肺炎（SARS）が世界的流行。世界全体で感染者は8千人以上（2月） ・個人情報保護法が成立（5月） ・有事関連法が成立（6月） ・イラク復興支援特措法成立、自衛隊派遣へ（7月） ・阪神タイガースが18年ぶりリーグ優勝（9月） ・中国初の有人宇宙船「神舟5号」の打ち上げに成功（10月） ・第43回衆院選において民主躍進、二大政党時代へ（11月） ・邦人外交官2人がイラクで殺害（11月） ・フセイン元大統領を拘束（12月）
2004 年	<p>6.4 2004年度総会 富士通本社 会員大学：65校 登録会員数：359名 共通テーマ：学生の視点に立ったキャンパスシステムの在り方 講演テーマ／講演者 日本の大学の致命的な欠陥 諸星 裕（桜美林大学）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・GPS搭載携帯電話「ムーバF505iGPS」出荷 ・世界初のiモードFeliCa対応携帯電話「FOMA F900Ic」を発売 ・三重に半導体新工場建設を発表（来年4月稼働予定） ・世界最大容量（1メガビット）のFRAM発売 ・国内最大規模「Platform Solution Center」を開設（浜松町）システム検証、新拠点 	<ul style="list-style-type: none"> ・総務省 8日から住基カード交付 ・新ウイルス「ネットスカイQ」国内で感染被害拡大 ・ソニー 885万画素の液晶パネルを開発 ・日本IBM 新ブランド戦略「e」から「ON」へ7年ぶり刷新 ・アップル「iPod mini」発売 ・アップルが大阪に直営店（国内2店目） ・総務省 電子政府の体験サイトを開設 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国内で79年ぶりで鳥インフルエンザ（1月） ・国立大学法人化（4月） ・拉致被害者の家族が帰国（5月） ・アテネ五輪で日本大活躍。史上最多のメダルを獲得（8月） ・プロ野球大再編、選手会がストを決定（9月） ・マリナーズのイチロ、今季通算262安打で大リーグの1シーズン最多安打新記録を樹立（10月） ・新潟県中越地震（10月）

年次	私立大学キャンパスシステム研究会	富士通	業界	一般
2004 年	<p>8.25～8.27 第18回分科会合同研修会 浜名湖ロイヤルホテル テーマ：学生の視点に立ったキャンパスシステムの在り方 講演テーマ／講演者 ①情報生物学のすすめ 菅原 秀明（国立遺伝学研究所） ②大学の情報化と著作権 久保田 裕（コンピュータソフトウェア著作権協会）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークサーバー「IPCOM S シリーズ」発売 ・シスコ社とルータ・スイッチ分野で戦略提携 	<ul style="list-style-type: none"> ・米サン 「Solaris10」最新版を発表 ・IBM、聯想にパソコン事業売却を発表 ・任天堂がゲーム機「ニンテンドーDS」を発売 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブッシュ大統領が大接戦の末、再選（11月） ・スマトラ沖地震津波（12月）
2005 年	<p>1.28 創立20周年運営委員長座談会</p> <p>6.3 2005年度総会及び創立20周年記念式典 高輪プリンスホテル 会員大学：65校 登録会員数：365名 共通テーマ：個性あるキャンパスシステムの構築を目指して 講演テーマ／講演者 大学の情報化と私立大学情報教育協会の取り組み 戸高 敏之（同志社大学 社団法人私立大学情報教育協会）</p> <p>8.24～8.26 第19回分科会合同研修会 信州松代ロイヤルホテル テーマ：個性あるキャンパスの構築を目指して 講演テーマ／講演者 個人情報保護法一システム運用上の留意点を中心に 夏井 高人（明治大学） 事例紹介／講演者 千葉工業大学における静脈認証 IC 学生証の導入について 小川 靖夫（千葉工業大学）</p> <p>9.7～9.10 第6回海外セミナー（第4回アジアセミナー） 大韓民国</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・90nm テクノロジーのロジック LSI 生産拠点、三重工場300mm第1棟を稼働開始 ・国内連結子会社で ISO14001 の一括認証を取得 ・米 EDS 社とグローバルなテクノロジーパートナー契約を締結 ・世界最強の基幹 IA サーバ「PRIMEQUEST」を発表 ・シスコとの戦略提携に基づき、次世代ハイエンドルータ「Fujitsu and Cisco CRS-1」を発売 ・日本初の次世代車載ネットワーク「FlexRay スターターキット」を発売 ・日本初の UHF 帯 RFID 関連商品を発売 ・非接触型手のひら静脈認証装置「PalmSecure」ビジネスをワールドワイドに展開 ・WiMAX 対応の基地局と端末の双方で使える高集積化 LSI を世界で初めて開発 ・最新映像圧縮方式 H.264 に対応したプロセッサを発売 	<ul style="list-style-type: none"> ・外務省など 電子パスポート実証実験実施へ IC チップで本人確認 ・Web 2.0 が流行 ・YouTube 社設立。翌年にかけて大流行 ・アップル社がフラッシュメモリーを搭載した iPod shuffle(アイポッドシャッフル)を発売 	<ul style="list-style-type: none"> ・中部国際空港開港（2月） ・福岡県西方向地震（3月） ・愛知万博「愛・地球博」が開幕（3月） ・個人情報保護法施行（4月） ・JR 福知山線脱線事故（4月） ・京都議定書発効とクールビズ実施（5月） ・宇宙飛行士野口聡一がスペースシャトル「ディスカバリー」で宇宙へ（7月） ・日本の人口が 1899 年の統計開始以来初の自然減（9月） ・郵政民営化関連法案が成立（10月）
2006 年	<p>6.2 2006年度総会 富士通本社 会員大学：69校 登録会員数：380名 共通テーマ：個性あるキャンパスシステムの構築を目指して 講演テーマ／講演者 グローバル化と日本の大学ー国際教養大学の挑戦ー 中嶋 嶺雄（国際教養大学）</p> <p>8.30～9.1 第20回分科会合同研修会 信州松代ロイヤルホテル テーマ：個性あるキャンパスの構築を目指して 講演テーマ／講演者 川中島の戦いーその史実と虚構についてー 原田 和彦（松代文化施設等管理事務所 真田宝物館） 事例紹介／講演者 IT キャンパス構築のためのグランドデザインー 芝浦工業大学豊洲キャンパス IT 環境構築事例ー 山崎 達朗（芝浦工業大学）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・海外グループ会社を含めた ISO14001 グローバル統合認証を取得 ・世界最大の記憶容量「ETERNUS8000」発売 ・独 SAP AG とサービス分野でグローバル協業を強化 ・300 ギガバイトのシリアル ATA 対応 2.5 型 HDD を世界で初めて発売 ・世界最小の設置面積を実現したコンパクトサーバ「PRIMERGY TX120」を発売 ・パソコン通信サービス NIFTY SERVE 終了 ・「iLiswave-J」提供開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・伊藤忠テクノサイエンス CRC ソリューションズと経営統合。伊藤忠テクノソリューションズ（CTC）に社名変更 ・金融商品取引法（J-SOX 法）成立 ・Winny による防衛庁機密情報漏洩事件 ・総務省令改正で UHF 帯対応の IC タグやリーダ・ライタ機器が続々登場。「RFID 元年」 ・Twitter がサービス開始 ・Google 社が「クラウドコンピューティング」を提唱 ・携帯電話の番号ポータビリティ制度（MNP）開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・ライブドア・ショック（1月） ・トリノオリンピック開催、荒川静香がフィギュアスケートで日本人初の金メダル（2月） ・第1回ワールド・ベースボール・クラシック（WBC）開催、日本が優勝（3月） ・地上デジタルテレビのワンセグ放送を開始 ・ジャワ島地震（5月） ・秋篠宮悠仁親王が誕生（9月） ・日本郵政誕生（10月）
2007 年	<p>6.1 2007年度総会 富士通本社 会員大学：72校 登録会員数：465名 共通テーマ：キャンパスシステムの新たな潮流を創る 講演テーマ／講演者 松下政経塾の人材育成 古山 和宏（松下政経塾）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・65nm テクノロジー対応の三重工場300mm第2棟を稼働開始 ・オープンシステムの新標準となる最速・高信頼性の Solaris/SPARC サーバ「SPARC Enterprise」を投入 	<ul style="list-style-type: none"> ・グーグルが携帯用 OS 「アンドロイド」を発表 ・米アップルが iPhone 発売 ・You tube 日本版が公開 	<ul style="list-style-type: none"> ・能登半島地震発生（3月） ・43 年ぶりとなる全国学力調査実施（4月） ・年金記録漏れ 5,000 万件判明（6月）

年次	私立大学キャンパスシステム研究会	富 士 通	業 界	一 般
2007 年	<p>8.29～8.31 第21回分科会合同研修会 樞原ロイヤルホテル テーマ：キャンパスシステムの新たな潮流を創る 講演テーマ／講演者 関西国際大学での学習支援の取り組み ～多面的で発展的な取り組みと今後の課題～ 山下 泰生（関西国際大学）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・フィールドイノベーションを提唱し、フィールド・イノベータの育成を開始 ・世界最薄の防水携帯電話「FOMA F703i」発売 ・キッズケータイ「FOMA F801i」を発売 	<ul style="list-style-type: none"> ・Windows Vista 販売 ・電子ブックリーダー端末 Amazon Kindle 発売 ・携帯電話・PHS の契約数が1億台突破 	<ul style="list-style-type: none"> ・新潟県中越沖地震発生（6月） ・参院選で自民党が歴史的惨敗（7月） ・日本郵政公社の民営化（10月） ・止まらぬ食品偽装 「食」の安全・信頼大きく揺らぐ（12月）
2008 年	<p>6.6 2008年度総会 富士通本社 会員大学：74校 登録会員数：433名 共通テーマ：キャンパスシステムの新たな潮流を創る 講演テーマ／講演者 高等教育の質保証と『学士力』 濱名 篤（関西国際大学）</p> <p>8.27～8.29 第22回分科会合同研修会 信州松代ロイヤルホテル テーマ：キャンパスシステムの新たな潮流を創る 講演テーマ／講演者 「大学のコミュニケーション戦略」 ～カスタマーとなる高校生の理解から～ 小林 浩（株式会社リクルート）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・Fujitsu Services がアステラス製薬欧州株式会社から5年間のITアウトソーシング契約を獲得 ・携帯電話「らくらくホン」シリーズの累計販売台数が1200万台を突破 ・航空分野向け64キロバイト大容量FRMA搭載のRFID タグを世界で初めて開発 ・暗号化方式AES256ビットに対応した320ギガバイト2.5型HDDを世界で初めて発売 ・「Ufinity」提供開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・「Windows Server2008」発売 ・ソフトバンクモバイルが「iPhone 3G」発売、社会現象に ・Google「ストリートビュー」の国内提供を開始 ・Twitter 日本語版サービス開始 ・Facebook 日本語版サービス開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・後期高齢者医療制度がスタート（4月） ・北京オリンピック開催（8月） ・四川大地震（8月） ・リーマンショック、世界同時不況（9月） ・南部陽一郎・小林誠・益川敏英がノーベル物理学賞、下山脩がノーベル科学省を受賞（10月） ・バラク・オバマが黒人初のアメリカ合衆国大統領となる（11月）
2009 年	<p>6.5 2009年度総会 富士通本社 会員大学：72校 登録会員数：397名 共通テーマ：学士力確保を支えるキャンパスシステムのあり方 講演テーマ／講演者 静岡産業大学の「教育第一主義」における実践 ～人材の地産・地育への取り組み～ 大坪 檀（静岡産業大学）</p> <p>8.26～8.28 第23回分科会合同研修会 信州松代ロイヤルホテル テーマ：学士力確保を支えるキャンパスシステムのあり方 講演テーマ／講演者 学士力と教育の質保証 矢部 正之（信州大学）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・世界初、国際エネルギースタープログラム4.0に対応したPCサーバ「PRIMERGY TX120 S2」を販売開始 ・業界初、グリーン電力証書システムに対応したノートPC「FMV-BIBLO LOOX U/C50N ECOモデル」を販売開始 ・次世代サービスの新拠点「館林システムセンター新棟」をオープン ・富士通シーメンス・コンピュータズを100%子会社化し、富士通テクノロジー・ソリューションズを設立 	<ul style="list-style-type: none"> ・Windows7 販売 ・AMD、ネイティブ6コアを搭載するOpteronを発表 ・Twitter が世界的に大流行 ・Facebook が MySpace を抜き世界最大となる ・電子ブックリーダー Amazon Kindle の第2世代機の売り上げが米国市場を中心に増加 	<ul style="list-style-type: none"> ・バラク・オバマ、第44代アメリカ合衆国大統領に就任（1月） ・日経平均株価の終値が7,054円バブル後の最安値を更新（3月） ・新型インフルエンザが大流行（5月） ・裁判員制度始まる（5月） ・総選挙で民主党が政権交代を実現（8月） ・政府が円高、デフレ宣言。日航経営危機など企業業績悪化（11月） ・行政刷新会議の事業仕分け（11月）
2010 年	<p>6.4 2010年度総会 富士通本社 会員大学：74校 登録会員数：455名 共通テーマ：学士力確保を支えるキャンパスシステムのあり方 講演テーマ／講演者 やれば、できる。 小柴 昌俊（財団法人平成基礎科学財団）</p> <p>9.1～9.3 第24回分科会合同研修会 長浜ロイヤルホテル テーマ：学士力確保を支えるキャンパスシステムのあり方 講演テーマ／講演者 クラウドコンピューティングの全面適用とその効果 井上 春樹（静岡大学）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・世界最高水準である東証の次世代株式売買システム「arrowhead」を稼働 ・富士通トラステッド・クラウド・スクエアを開設 ・「PRIMERGY」により欧州のHPC市場に参入 ・富士通の新たなブランドプロミス「shaping tomorrow with you」制定 ・国内最大規模、オフィスでの廃棄物ゼロエミッションを達成。機密文書、一般古紙類、産業廃棄物の資源有効利用を推進 ・富士通グループ、環境省よりITサービス業界で初めて「エコ・ファースト企業」として認定 ・大学向け授業支援システム「CoursePower V1」を販売開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・Oracle、Sun の買収完了を発表 ・Apple、タブレット「iPad」を発表 ・「iPad」などの電子書籍リーダーが流行し、電子書籍元年と呼ばれる ・Microsoft、「Windows Azure」を正式公開 	<ul style="list-style-type: none"> ・ドバイに世界一の超高層ビル、ブルジュ・ハリーフがオープン（1月） ・チリ大地震（2月） ・小惑星探査機「はやぶさ」が7年ぶりに地球へ帰還（6月） ・参院選で民主党が大敗。ねじれ国会に（7月） ・鈴木章・根岸英一がノーベル化学賞を受賞（10月） ・チリ鉱山落盤事故、33人全員が無事救出（10月） ・羽田空港の新国際線ターミナルがオープン（10月） ・アラブ世界において大規模民主化運動（アラブの春）が起こる

年次	私立大学キャンパスシステム研究会	富 士 通	業 界	一 般
2011 年	<p>3.1 25周年記念講演（2010年度事業） 講演テーマ／講演者 なぜ今ドロッカーが求められるのか 岩崎 夏海（放送作家、小説家）</p> <p>6.3 2011年度総会 富士通本社 会員大学：69校 登録会員数：465名 共通テーマ：元気のあるキャンパスを目指して 講演テーマ／講演者 スーパーコンピュータとは何か、 そして次世代スーパーコンピュータ「京（けい）」で 何ができるようになるか？ 姫野 龍太郎（独立行政法人理化学研究所）</p> <p>8.24～8.26 第25回分科会合同研修会 信州松代ロイヤルホテル テーマ：危機管理と事業継続 講演テーマ／講演者 「はやぶさ」と日本の矜持 的川 泰宣（宇宙航空研究開発機構）</p> <p>9.5～9.11 第7回海外セミナー フィンランド共和国</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパーコンピュータ「京」が世界最速を達成 ・スーパーコンピュータ「PRIMEHPC FX10」を発売 ・プライベートクラウド統合製品「Cloud Ready Blocks」を販売 ・パブリック型クラウドサービス「FGCP/S5」を6カ国で展開 ・らくらくホンシリーズ累計販売 2,000 万台突破 ・Windows7 ケータイ「F-07C」発売 ・スマートフォン、タブレット端末のブランド名を「ARROWS」に決定 ・大学向け統合 ID 管理パッケージ「UnifIDone」を販売開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・NEC とレノボ、パソコン事業で提携「NEC レノボ・ジャパン グループ」が発足 ・米 IBM が開発したコンピュータシステム「Watson」が米国のクイズ番組に出演し、クイズ王を抑えて優勝 ・チュニジアやエジプトをはじめとする国で Facebook での呼びかけをきっかけとする政変が発生。東日本大震災の発生により、Twitter などの SNS の活用や震災の映像の YouTube へのアップロードなど、災害時のネットの有用性が再認識される 	<ul style="list-style-type: none"> ・東北新幹線「はやぶさ」が営業運転を開始（3月） ・東日本大震災 M9.0、福島原発で大津波による大事故（3月） ・上野動物園で3年ぶりにパンダを一般公開（4月） ・平泉の世界文化遺産登録が決定（10月） ・サッカー女子日本代表が W 杯で金メダル（7月） ・アナログ放送が終了、58年の歴史に幕（7月） ・タイ洪水
2012 年	<p>6.8 2012年度総会 富士通本社 会員大学：68校 登録会員数：512名 共通テーマ：元気のあるキャンパスを目指して 講演テーマ／講演者 日米のディズニーで教わった感動のサービス 加賀屋 克美（有限会社加賀屋感動ストアーマネジメント）</p> <p>8.29～8.31 第26回分科会合同研修会 信州松代ロイヤルホテル テーマ：大学におけるソーシャルメディアを考える 講演テーマ／講演者 大学におけるソーシャルメディアの活用と事例 鶴野 充茂（ビーンスター株式会社）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・富士通グループ初となる、地中熱採熱システムを長野工場に導入 ・スーパーコンピュータ「京」が完成 ・業界初、自社回収した CD/DVD をノートパソコンに再生利用 ・Newsweek Green Rankings において二年連続で日系企業の最上位獲得 ・らくらくスマートフォン発売 ・食・農クラウド「Akisai」を発売 ・個人向けクラウドサービス「My Cloud」を提供 ・ビッグデータ利活用のためのデータ活用基盤サービス発売 	<ul style="list-style-type: none"> ・Windows8 販売 ・スマートフォン普及率が拡大。 ・スマートフォンで無料通話やメール送受信を行うアプリケーションである LINE が流行 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の原子力発電所がすべて停止（5月） ・金環日食、国内で25年ぶりに観測（5月） ・東京スカイツリーが開業（5月） ・ロンドンオリンピック（第30回夏季オリンピック）開催。日本最多メダル（7月） ・山中伸弥教授がノーベル生理学・医学賞を受賞（10月） ・衆院選において民主党より3年ぶりに政権奪回（12月） ・国内で格安航空会社(LCC)が就航開始
2013 年	<p>6.7 2013年度総会 富士通本社 会員大学：73校 登録会員数：587名 共通テーマ：キャンパスの明日をつくる 講演テーマ／講演者 わかりあえないことから 平田 オリザ（劇作家・演出家、大阪大学）</p> <p>8.29～8.30 第27回分科会合同研修会 浜名湖ロイヤルホテル テーマ：大学におけるデータ活用の可能性を探る～ビッグデータを考える～ 講演テーマ／講演者 大学におけるビッグデータの活用について考える 佐々木 宏（立教大学）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全社ビジョン「Fujitsu Technology and Service Vision」を策定 ・米フォーチュン誌「世界で最も賞賛される企業」に選出 ・宇宙に最も近い大型電波望遠鏡「アルマ」のスーパーコンピュータが稼働 ・業界初、水性塗料を ICT 機器のプラスチック筐体に適用 ・UNIX サーバ「SPARC M10」が Java アプリケーションで世界最高性能を達成 ・UNIX サーバ「SPARC M10」を発売 ・モバイル製品、サービス郡を「FUJITSU Mobile Initiative」として体系化 	<ul style="list-style-type: none"> ・7月の参院選よりインターネット選挙活動が解禁 ・Windows8.1 発売 ・日本オープンオンライン教育推進協議会(JMOOC)設立。 ・ウェアラブルコンピュータが流行の兆し ・3D プリンターが流行 ・米 Twitter 上場 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロシアのチェリャビンスク州に隕石が落下（12月） ・日銀が異次元の量的・質的緩和を決定（4月） ・富士山が世界文化遺産に決定（6月） ・参院選で自民、公明両党が過半数獲得、ねじれ解消（7月） ・2020年夏季五輪・パラリンピックの開催地が東京に決定（9月） ・消費税率8%への引き上げ決定（10月） ・ヒッグス粒子の存在が確認される（10月）

年次	私立大学キャンパスシステム研究会	富士通	業界	一般
2014 年	<p>6.6 2014年度総会 富士通本社 会員大学：72校 登録会員数：611名 共通テーマ：キャンパスの明日をつくる 講演テーマ／講演者 チームメイクにおけるコーチングと強い組織づくり 平尾 誠二（神戸製鋼ラグビー部、 （元）ラグビー日本代表監督）</p> <p>8.28～8.29 第28回分科会合同研修会 浜名湖ロイヤルホテル テーマ：これからの大学を考える 講演テーマ／講演者 社会から期待される大学の姿 伊東 千秋（富士通株式会社）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティ製品、サービス群を「FUJITSU Security Initiative」として体系化 ・スーパーコンピュータの高次元接続技術が「恩賜発明賞」を受賞 ・EMEIA、アメリカ、アジア、オセアニア、日本の5リージョンに再編し新たなグローバルマトリクス体制を構築 ・会津若松 Akisai やさい工場産キレイヤサイを発売 ・ビジネス創出とグローバルエコシステム形成に向けた IoT プラットフォーム発売 ・世界最軽量のタブレット「ARROWS Tab F-03G」発売 ・大人世代向けパソコン「GRANNOTE（LIFEBOOK AH90/P）」を発売 ・大学向けクラウドソリューション「UnifIDone キャンパスクラウド」を提供開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・NTT データ、パチカン市国のパチカン図書館が所蔵する文献のデジタル化プロジェクトを23億円で受注したと発表 ・Windows XP サポート終了 ・ドコモが iPhone 販売に参入 ・ネットバンキングの被害が深刻化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ソチオリンピック（第22回冬季オリンピック）開催、羽生結弦がフィギュアスケート男子シングルのフリープログラムで金メダル（2月） ・消費税8%スタート（4月） ・富岡製糸場が世界文化遺産に決定（6月） ・全米テニスで錦織圭が準優勝（9月） ・御嶽山が噴火（9月） ・青色 LED を開発した赤崎勇、天野浩、中村修二の3氏がノーベル物理学賞を受賞（10月） ・ウクライナ紛争
2015 年	<p>6.5 2015年度総会及び創立30周年記念式典 富士通本社 ロイヤルパークホテル ザ 汐留 会員大学：77校 登録会員数：633名 共通テーマ：グローバルな学びを育むキャンパスを目指して 講演テーマ／講演者 あたりまえが変われば、結果は変わる！！ 藤田 智（富士通アメリカンフットボール部）</p> <p>8.31～9.1 第29回分科会合同研修会 浜名湖ロイヤルホテル テーマ：高等教育におけるグローバルの意味を問い直す 講演テーマ／講演者 教育のグローバル化を欧州初等教育の実践から学ぶ 川合 正（東洋大学）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・米フォーチュン誌「世界で最も賞賛される企業」に3年連続で選出。「社会的責任」、「革新性」、「マネジメントの質」で高い評価を獲得 ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会ゴールドパートナーに決定 ・富士通創立80周年 	<ul style="list-style-type: none"> ・Windows10 発売 	<ul style="list-style-type: none"> ・北陸新幹線開通（3月） ・ネパール中部地震（4月） ・天皇后両陛下がパラオを公式訪問（4月） ・日本年金機構より個人情報流出（6月） ・「18歳選挙権」改正公選法が成立。16年夏参院選から適用（6月） ・東京で猛暑日の連続記録を更新（8月） ・川内原発が再稼動（8月）

2005年度活動実績

大学名は、開催時点での大学名を記載しております。

(1) 第一分科会

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等	参加人数
1	5月20日(金)	富士通ソリューションスクエア テーマ：今後の第一分科会の進むべき方向性について考える ①事例紹介：富士通が関わった「学習環境の支援」 富士通(株) 文教ソリューション統括部 安納 氏 ②製品紹介：リッチメディアコンテンツ作成ツール Authoring Partner 富士通(株) 文教ソリューション統括部 三ツロ 氏 ③座談会：今後の第一分科会あり方について、要望など	26 名
2	6月17日(金)	学習院大学 目白キャンパス テーマ：特色のある大学環境・事例紹介(第1弾) ①事例紹介：学習院大学 事例紹介 学習院大学 計算機センター 助手 磯上 氏 ②事例紹介：事例紹介(学生支援システム K-SMAPY) 國學院大學 渋谷教務課 課長 白川 氏 國學院大學 総合情報センター事務部 情報システム課 課長補佐 及川 氏 ③フリートーク(質問)	38 名
3	8月24日(水) ～26日(金)	信州松代ロイヤルホテル ①製品紹介：「Campusmate/CourseNavig」「AuthoringPartner」 ②実習：AuthoringPartner ③紹介：スパイウェア検知ソフト ④討議とまとめ：コンテンツ活用法について、個人情報保護について	20 名
4	10月22日(土) ～23日(日)	帝塚山大学、飛鳥博物館 テーマ：特色のある大学環境・事例紹介(第2弾) ①学生の自立性を高める学習支援システム(TIES) ②施設紹介と見学	16 名
5	11月11日(金)	亜細亜大学 テーマ：特色のある大学環境・事例紹介(第3弾) ①講演：アジア夢カレッジキャリア開発中国プログラムー アジア夢カレッジ推進室課長 小木曾 氏 ②施設見学 ③フリーディスカッション ④製品紹介：大学様向けWebアンケートシステム(ACADUM) (株)ディマージシエア 取締役 段誠 氏	29 名
6	12月8日(木)	日本女子大学 テーマ：特色のある大学環境・事例紹介(第4弾) ①製品紹介：入学前教育のアウトソーシングサービスについて 富士通(株) 文教ソリューション統括部 赤澤 氏 ②講演：「ユビキタス社会における光と情報」理系女性の育成をめざして 日本女子大学 理学部数物科学科 教授 小舘 氏	35 名

参加人数計 164 名

(2) 第二分科会

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等	参加人数
1	5月24日(火)	富士通ソリューションスクエア テーマ：キャンパスシステムの体系について ①紹介：手のひら静脈認証について 富士通(株) ユビキタスシステム事業本部 バイオメトリクス認証システム部 宮島 氏 ②討議：キャンパスシステムの体系について	64 名
2	6月23日(木) ～24日(金)	愛知学院大学、名古屋学芸大学 テーマ：システムのカスタマイズ(パッケージシステムの強みと弱み) ①製品紹介：Campusmate/Portal アンケートシステムについて 富士通(株) 文教ソリューション統括部 小島 氏 ②事例紹介：システム構築事例紹介 愛知学院大学 大学事務電算化企画室 室長 石原 氏 愛知学院大学 大学事務電算化企画室 主任 松原 氏 ③討議：システムのカスタマイズーパッケージシステムの強みと弱みー ④施設見学	79 名
3	7月26日(火)	関東学院大学 関内メディアセンター テーマ：システムの運用(アウトソーシングか学内運用か?) ①施設見学：TVK(神奈川テレビ) ②紹介：キャリアから見たシステムの運用(アウトソーシングか学内運用か?) ソフトバンクBB(株) 法人営業本部法人第3営業部 主任 堀江 氏 ③討議：システムの運用ーアウトソーシングか学内運用か?ー	40 名
4	8月24日(水) ～26日(金)	信州松代ロイヤルホテル ①討議とソリューション紹介：EUCについて ②紹介：学生証・教職員証の共通フォーマットの考え方とこれからの動向 千葉工業大学における個人情報保護への取り組みについて ③討議：個人情報保護について ④討議とまとめ：個人情報保護について	38 名
5	10月18日(火)	白鷗大学 東キャンパス テーマ：ICカード、携帯電話の活用方法 ①事例紹介：白鷗大学におけるICカードと携帯電話の活用について 白鷗大学 学務部学務課 大和田 氏 ②討議：ICカード、携帯電話の活用方法 ③製品紹介：出欠管理システムについて ④施設見学	45 名
6	11月17日(木) ～18日(金)	広島国際大学、広島経済大学 テーマ：学生サービスのその後 ①広島国際大学の紹介 ②事例紹介：学生サービスとは・・・立正大学の取り組み 立正大学 情報メディアセンター 大崎システム開発課 石田 氏 ③フリートーク：学生サービスとは ④広島国際大学施設見学 ⑤広島経済大学システム紹介 ⑥製品紹介：着席管理システム「SOCRATEC」 (株)ICブレインズ 営業部 山田 氏 ⑦広島経済大学施設見学	33 名
7	12月9日(金)	共立女子大学 テーマ：大学における個人情報保護 その2 ①事例紹介：共立の改革への取り組みについて 共立女子大学 情報処理室 統括室長 小山 氏 ②討議：1. 大学における個人情報保護 その2 2. 2005年度活動を振り返って	39 名

参加人数計 338 名

(3) 第三分科会

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等	参加人数
1	5月18日(水)	富士通ソリューションスクエア テーマ：整理しようアウトソーシング ①講話：アウトソーシングへの取り組みについて 富士通(株) サービスビジネス本部 アウトソーシングサービス推進部プロジェクト課長 伊井 氏 ②フリーディスカッション：大学が希望するアウトソーシングについて ③今年度のCSOプロジェクトについて ④富士通ソリューションスクエアの紹介(見学含む) 富士通(株) ビジネスマネジメント本部 管理部担当課長 小林 氏	31名
2	7月1日(金)	工学院大学 新宿キャンパス テーマ：統合認証システム ①事例紹介：工学院大学のシステム紹介と統合アカウント管理ツールについて 工学院大学 情報科学研究教育センター 名取 氏 ②製品紹介：ICAssist統合アカウント管理 富士通(株) 文教ソリューション統括部 安納 氏 ③製品紹介：電子メールセキュリティアプライアンスアイアンポートCシリーズ アイアンポートシステムズ インク SEマネージャ 徳久 氏 アイアンポートシステムズ インク Salesマネージャ 横溝 氏 ④CSOについて ⑤施設見学	38名
3	8月24日(水) ～26日(金)	信州松代ロイヤルホテル ①紹介：システム管理者のための虎の巻 ②実習：フリーツールの活用 ③紹介：アイアンポートの提供するレピュテーションサービスと 業界標準のインプリメントについて Symantec「Mail Security 8100 Series製品」 「Brightmail AntiSpam製品」 ④討議とまとめ：CSOについて、その他フリーディスカッション	16名
4	10月27日(木) ～28日(金)	名古屋外国語大学、金城学院大学 テーマ：いつでもどこでもプリントアウト ①紹介：お金をかけない印刷管理(Windows編) いつでもどこでもインターネットプリント 富士通(株) 文教ソリューション統括部 安納 氏 ②フリーディスカッション：大学におけるプリンタ管理事情 ③名古屋外国語大学のネットワーク、システムの紹介と施設見学 名古屋外国語大学 法人事務局電算システム室 主任 須賀 氏 ④事例紹介：情報教育環境の現状と今後の課題 金城学院大学 マルチメディアセンター センター長 中田 氏 ⑤施設見学、質疑応答	26名
5	12月13日(火)	東京工業大学、キャノン販売株式会社 テーマ：XServeの実力 ①東京工業大学 施設見学 東京工業大学 大学院情報理工学研究科 教授 柴山 氏 ②XServeの実力 キャノン・スーパーコンピューティング・エスアイ(株) 九石 氏 アップルコンピュータ(株) 課長 塚平 氏、技術担当 小島 氏 ③プリンティングシステム紹介 キャノン販売(株) 弓狩 氏 ④講演：東京経営短期大学事例紹介「iMac100台導入。なぜ？」 東京経営短期大学 教育研究情報センター 藤井 氏	31名

参加人数計 142名

(4) 第四分科会

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等	参加人数
1	5月27日(金)	富士通 本社事務所 テーマ：個人情報保護法／OPAC ①施設紹介：武蔵工業大学 新図書館について 武蔵工業大学 図書館事務課 事務課長 小坂 氏 ②講話：個人情報保護法に関して 富士通(株) サービスビジネス本部セキュリティサービス推進部 プロジェクト課長 大湖 氏 ③製品紹介：wwwOPAC脆弱性、iLisSurf、新OPAC開発状況、iLiswave、iLiswave-J 富士通(株) 文教ソリューション統括部 野村 氏、中島 氏、杜 氏、芦田 氏、小島 氏	68 名
2	7月8日(金)	東洋大学 白山キャンパス テーマ：個人情報保護に関する各大学及び図書館での取り組み ①製品紹介：iLiswave-J、OPACアンケートの集計結果、 “パッケージシステム言いたい放題”のまとめ ②グループ討議：個人情報保護について ③施設見学	57 名
3	8月24日(水) ～26日(金)	信州松代ロイヤルホテル ①実習：Z39.50によるOPAC横断検索 ②実習：フリーツールの活用 ③紹介：WebQAシステム ④報告：パッケージシステムへの要望 ⑤実習：iLiswave-J使い放題 ⑥討議：iLiswave-J言いたい放題	18 名
4	10月6日(木) ～7日(金)	桑名市立中央図書館、名古屋大学附属図書館 テーマ：中京地区における先進事例 ①桑名市立図書館紹介と館内施設の説明 ②名古屋大学附属図書館及び図書館システムについてのご紹介	23 名
5	12月5日(月)	武蔵工業大学 世田谷キャンパス 新図書館視察(トピックス企画として実施) ①新図書館ご紹介プレゼンテーション 武蔵工業大学 図書館事務課 事務員 靱江 氏 ②施設見学	30 名
6	12月16日(金)	青山学院大学 相模原キャンパス テーマ：iLis言いたい放題 ①青山学院大学からのご紹介と施設見学 ②WebOPACご紹介 富士通(株) 文教ソリューション統括部 杜 氏 ③図書館パッケージシステム言いたい放題アンケートのコメント 富士通(株) 文教ソリューション統括部 芦田 氏、中島 氏 ④図書館パッケージシステム言いたい放題グループ討議	60 名

参加人数計 256 名

(5) 総会および創立20周年記念式典

開催日	場所・内容等	参加人数
6月3日(金)	高輪プリンスホテル ①総会議事 ②基調講演：大学の情報化と私立大学情報教育協会の取り組み 同志社大学工学部 教授 戸高 氏 ③創立20周年記念式典	233名

(6) 分科会合同研修会

開催日	場所・内容等	参加人数
8月24日(水) ～26日(金)	信州松代ロイヤルホテル ①特別講演：個人情報保護法 ―システム運用上の留意点を中心に― 明治大学 夏井 氏 ②事例紹介：千葉工業大学における静脈認証IC学生証の導入について 千葉工業大学 小川 氏 ③分科会活動	167名

(7) トピックス企画

開催日	場所・内容等	参加人数
技術講習会 11月14日(月) ～15日(火)	株式会社TBSテレビ、富士通ショールーム netCommunity ①「Accessのデータ加工テクニック講座」 産能大学 経営情報学部 助教授 坂本 氏	33名
最新技術セミナー 11月21日(月) ～22日(火)	東京大学宇宙線研究所 スーパーカミオカンデ ①東京大学宇宙線研究所 (神岡宇宙素粒子研究施設：スーパーカミオカンデ) 視察	20名

(8) 第6回海外セミナー(第4回アジアセミナー)「韓国大学先進システム視察」

開催日	場所・内容等	参加人数
海外セミナー 9月7日(水) ～10日(土)	・Fujitsu Korea Limited ・慶熙大学 ・ソウルサイバー大学校 ・韓国教育學術情報院	25名

2006年度活動実績

大学名は、開催時点での大学名を記載しております。

(1) 第一分科会

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等	参加人数
1	5月19日(金)	武蔵工業大学 世田谷キャンパス テーマ：2006年度問題 ～新課程、新学生来る～ ①講演：高校「情報」の実態と大学における対応 武蔵工業大学 松山 氏 ②討議 ③ソリューション紹介：就職活動支援「SPI就職対策コンテンツ」 富士通オフィス機器(株) ④施設見学	31名
2	6月23日(金)	青山学院大学 相模原キャンパス テーマ：新課程・・・あれから3年 ～高等学校の現場から～ ①施設見学 ②製品紹介：PC利用状況確認ツール「PC-Watcher」 富士通(株) ③講演：新課程「情報」あれから3年 ～高等学校の現場から～ 青山学院高等部 植田 氏 ④フリーディスカッション	32名
3	8月30日(水) ～9月1日(金)	信州松代ロイヤルホテル ①討議：大学と学生間のコミュニケーションについて(第二分科会と合同) ②紹介：大学の講義と学生の学びを改革するタブレットPC 富士通(株) ③実習・紹介：Join Meeting製品紹介及び実習 富士通(株) ④フリーディスカッション	19名
4	10月5日(木) ～6日(金)	熊本大学 黒髪キャンパス、九州東海大学 阿蘇キャンパス ①講演：教授システム学専攻の設立経緯と現状について 熊本大学 宇佐川 氏、熊本大学大学院 北村 氏 ②講演：情報基礎教育について 熊本大学 宇佐川 氏 ③講演：熊本市民塾について 熊本大学 宇佐川 氏 ④熊本大学施設見学 ⑤紹介：農学部についての概要説明 九州東海大学 荒木 氏 ⑥紹介：レポート提出について 九州東海大学 藤原 氏 ⑦九州東海大学農学部施設紹介と見学	24名
5	11月10日(金)	サレジオ工業高等専門学校 町田キャンパス ①紹介：サレジオ工業高等専門学校のご紹介 サレジオ工業高等専門学校 木戸 氏 ②事例紹介：ICカードを利用した出席管理システムについて 立正大学 藤村 氏 ③勉強会第1弾&フリーディスカッション 武蔵工業大学 平森 氏 ④施設見学	19名
6	12月8日(金)	芝浦工業大学 豊洲キャンパス ①事例紹介：芝浦工業大学におけるサイバーキャンパス事業の現状 芝浦工業大学 山崎 氏 ②施設見学 ③ソリューション紹介：「Campusmate/CourseNavig V02L03」について 富士通(株) ④フリーディスカッション	27名

参加人数計 152名

(2) 第二分科会

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等	参加人数
1	5月23日(火)	富士通ソリューションスクエア テーマ：今年度の活動を迎えるにあたって ①会員自己紹介 ②討議：今年度の活動を迎えるにあたって ～個性あるキャンパスシステムの実現に向けて～ ③ソリューション紹介：XML型汎用データベース「Campusdrams」について 富士通(株)	50名
2	7月6日(木) ～7日(金)	大阪産業大学 中央キャンパス、関西大学 千里山キャンパス テーマ：新しい学生サービスについて ～ポータル、学生カルテ等を考える～ ①製品紹介：若年者就職支援システム「キャリアサポートシステムのご紹介」 (株)シー・エス・エス ②システム構築事例紹介：Web系学生サービス／二題 大阪産業大学の場合 大阪産業大学 椿野氏 ③討議：新しい学生サービスについて ～ポータル・学生カルテ等を考える～ ④大阪産業大学施設見学 ⑤事例紹介：システム構築事例紹介 関西大学 鎌田氏 ⑥討議：新しい学生サービスについて ～ポータル・学生カルテ等を考える～(続) ⑦関西大学施設見学	65名
3	8月30日(水) ～9月1日(金)	信州松代ロイヤルホテル ①討議：大学と学生間のコミュニケーションについて(第一分科会と合同) ②討議：教職員間の情報共有について ③紹介：Social Network Site/Server製品紹介 (株)富士通ソフトウェアテクノロジーズ ④紹介：Eラーニングによる入学準備教育の成功事例 (株)ワオネット ⑤実習：マインドマップ技法による仕事の整理術 ⑥討議：個人情報保護とこれを担う仕組み ～過剰反応と大学としての枠組みを考える～ ⑦紹介：個人情報保護とこれを担う仕組み ～東北学院大学における取り組み事例～ 東北学院大学 今野氏 ⑧実習：個人情報保護とこれを担う仕組み～eラーニング体験～ 富士通(株)	35名
4	10月17日(火)	明治大学 駿河台キャンパス ①講演：個性あるキャンパスシステムへの道 明治大学 阪井氏 ②施設見学 ③討議：個性あるキャンパスシステムについて	44名
5	11月21日(火)	芝浦工業大学 豊洲キャンパス テーマ：情報環境の充実 ～教室設備などの効果性とリスクマネジメントを考える～ ①事例紹介：基幹IAサーバーを用いたデータベース統合 芝浦工業大学 祖父江氏 ②紹介：IT教室設備のご紹介 芝浦工業大学 佐々木氏 ③施設見学 ④事例紹介：リスクマネジメントを支援するデザイン～什器・備品を中心として～ 富士通コワーコ(株) ⑤討議：情報環境の充実～教室設備等の効果性とリスクマネジメントを考える～	48名
6	12月12日(火)	大東文化大学 板橋キャンパス ①討議：個人情報保護のその後 ②討議：2006年度のまとめと2007年度活動に関して ③ソリューション紹介：「WebLinks-Neo」 (株)富士通四国システムズ ④紹介：エコキャンパスと地域連携に関して 大東文化大学 篠原氏 ⑤施設見学	39名

参加人数計 281名

(3) 第三分科会

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等	参加人数
1	5月24日(水)	富士通プラットフォームソリューションセンター テーマ：シンククライアントについて(紹介) ①システム運用基礎講座Ⅰ 成城大学 榎氏 ②紹介：ネットワークブート型シンククライアントシステム (株)富士通ソフトウェアテクノロジーズ ③討議 ④施設見学	20名
2	7月4日(火)	東京電機大学 鳩山キャンパス テーマ：遠隔授業について、無線LANについて ①事例紹介：東京電機大学における遠隔授業と無線LANシステムについて 東京電機大学 橋本氏、(株)FFC ②事例紹介：産業能率大学における公衆無線LAN活用の実証実験について 産業能率大学 錦織氏 ③システム運用基礎講座Ⅱ 成城大学 榎氏 ④製品紹介：PC利用状況確認ツール「PC-Watcher」 富士通(株) ⑤フリーディスカッション ⑥施設見学	27名
3	8月30日(水) ～9月1日(金)	信州松代ロイヤルホテル ①実習：ネットワークブート方式のシンククライアントシステム構築 (株)富士通ソフトウェアテクノロジーズ ②実習・紹介：Mailシステムのトレンドとその運用について ミラポイントジャパン(株) ③紹介：ネットワークブートとストレージについて 富士通(株) ④紹介：Webアクセシビリティの現状と富士通の取組みについて 富士通(株) ⑤フリーディスカッション	19名
4	10月26日(木) ～27日(金)	筑波大学、日本大学工学部 ①講演：筑波大学教育用計算機システム 筑波大学 陳氏 ②筑波大学施設見学 ③フリーディスカッション ④講演：日本大学工学部サイバーキャンパスへの取組み ～ネットワーク環境について～ 日本大学工学部 浅里氏 ⑤日本大学工学部施設見学	23名
5	12月1日(金)	芝浦工業大学 豊洲キャンパス ①事例紹介：シンククライアントシステムの構築と運用に関して 芝浦工業大学 鈴木氏 ②施設見学 ③システム運用基礎講座Ⅲ：クライアントPCに纏わるキーワードについて 成城大学 榎氏 ④ソリューション紹介：セキュリティ対策の必要性和富士通の取組み 富士通(株) ⑤フリーディスカッション	22名

参加人数計 111名

(4) 第四分科会

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等	参加人数
1	5月26日(金)	国立科学博物館 ①講演：国立科学博物館におけるデジタルアーカイブス等情報の活用 国立科学博物館 井上 氏 ②紹介：iLisSurf Web情報検索適用事例について ～国立科学博物館サイエンスミュージアムネット～ 富士通(株) ③紹介：博物館収蔵資料管理システム「Musetheque V3」について 富士通(株) ④紹介：図書情報と収蔵資料情報の連携について 富士通(株) ⑤施設見学	52名
2	6月30日(火)	富士通 川崎工場 テーマ：商用データベース・電子ジャーナル ①紹介：Serials Solutions～最も充実した電子リソースアクセス管理ツール～ プロクエスト・インフォメーション・アンド・ラーニング 日本支社 (株) 紀伊國屋書店 ②紹介：リンクリゾルバの可能性 CSAジャパン ③紹介：図書館の電子リソースをわかりやすく利用者に提供する ジャーナルタイトルポータルA-to-Z、リンクリゾルバーLinkSource EBSCO Information Services Japan ④フリーディスカッションと総括 ⑤施設見学	42名
3	8月30日(水) ～9月1日(金)	信州松代ロイヤルホテル ①紹介と実習：Web-OPACについて 富士通(株) ②実習：Web-OPACのカスタマイズ 富士通(株) ③討議：Web-OPACいいたい放題紹介 ④報告：いいたい放題中間報告 富士通(株) ⑤紹介：武蔵工業大学におけるICタグの利用 武蔵工業大学 靱江 氏 ⑥紹介：ICタグの最新動向と今後の展開～図書館システムにおける応用提案～ (P-touch9500pcの紹介) 大日本印刷(株)、ブラザー工業(株) ⑦まとめ	20名
4	10月13日(金)	筑波大学 ①紹介：統合、法人化／図書館ボランティア制度／地域及び外部機関との連携等 筑波大学図書館 ②紹介：図書館システムの運用／つくばリポジトリ(機関リポジトリ) 等 筑波大学図書館 ③施設見学	22名
5	11月17日(金)	芝浦工業大学 豊洲キャンパス ①紹介：図書館施設について 芝浦工業大学 伊東 氏 ②施設見学と質疑応答 ③事例紹介：芝浦工業大学iLiswave(C/S版)導入事例報告－大学～富士通相互協力 によるシンクライアント環境でのiLiswave構築事例－ 富士通(株) ④ソリューション紹介：MyLibrary新機能紹介 富士通(株) ⑤ソリューション紹介：新検索機能の概要について 富士通(株)	42名
6	12月15日(金)	東京農業大学 世田谷キャンパス ①事例紹介：機関リポジトリへの取り組み(ブレ) 2002～2006 関東学院大学 外崎 氏、小山 氏 ②図書館パッケージシステムいいたい放題アンケートのコメント 富士通(株) ③図書館パッケージシステムいいたい放題グループ討議 ④施設見学	38名

参加人数計 216名

(5) 総会

開催日	場所・内容等	参加人数
6月2日(金)	富士通 本社事務所 ①総会議事 ②特別講演：グローバル化と日本の大学～国際教養大学の挑戦～ 国際教養大学 中嶋 氏	123 名

(6) 分科会合同研修会

開催日	場所・内容等	参加人数
8月30日(水) ～9月1日(金)	信州松代ロイヤルホテル ①特別講演：川中島の戦い～その史実と虚構について～ 松代文化施設等管理事務所 原田 氏 ②事例紹介：ITキャンパス構築のためのグランドデザイン ～芝浦工業大学豊洲キャンパスIT環境構築事例～ 芝浦工業大学 山崎 氏 ③分科会活動 ④デモ見学	170 名

(7) トピックス企画

開催日	場所・内容等	参加人数
管理職セミナー 5月16日(火)	富士通ソリューションステージ東京 テーマ：効果的な大学マーケティングについて ①紹介：ブランディング戦略とIT戦略の連携で大学マーケティングを進化させる 「PDCAミックス」ご紹介 富士通(株) ②講演：大学ブランディング実践論 (株)博報堂 ③講演：ブランディングを支えるこれからのIT戦略「大学eCRM」 富士通(株) ④フリーディスカッション	43 名
技術講習会 11月16日(木)	日本女子大学 目白キャンパス テーマ：オープンソースを活用した新しいWeb環境の構築 ①紹介：Web2.0時代の教育研究支援環境の現状と展望について eエデュケーション総合研究所(有) 井上 氏 ②実習：Apache・MySQL・PHPおよびMoodleの導入 ③実習：Moodleを活用したポータル構築とコースサイト作成	36 名
最新技術セミナー 12月5日(火)	株式会社TBSテレビ、富士通ショールーム netCommunity ①講演：ワンセグの生い立ち、現状、今後 (株)TBS ②講演：インターネット・モバイルの取り組み (株)TBS ③施設見学 ④デモ：新たなサービスを実現するRFIDの活用 富士通(株) ⑤デモ：アクセシビリティへの取り組み～富士通のユニバーサルデザイン～ 富士通(株)	21 名

2007年度活動実績

大学名は、開催時点での大学名を記載しております。

(1) 第一分科会

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等	参加人数
1	5月18日(金)	富士通ソリューションスクエア テーマ: Windows Vistaの移行を考える ①意見交換会: 年間のテーマ、スケジュール等についての説明、会員自己紹介 ②ソリューション紹介: (第三分科会と合同) IS-Link (Intelligent Secure Link)について ～New Concept Security Service～ (株) 富士通関西システムズ ③講演: Windows Vistaの移行を考える 富士通 (株)	18 名
2	6月21日(木) ～22日(金)	千歳科学技術大学、北海道情報大学 テーマ: eラーニングの最新事例をさぐる ①見学: 千歳科学技術大学施設 (第二分科会と合同) ②講演: 千歳科学技術大学におけるリメディアル教育への取組み (第二分科会と合同) 千歳科学技術大学 ③討議: リメディアル教育について (第二分科会と合同) ④見学: プロジェクトメンバーHTML講習会 (第二分科会と合同) ⑤見学: 北海道情報技術研究所 衛星教育センター ⑥講演: 無限大キャンパスの開発及び運用に関して 北海道情報大学	34 名
3	8月29日(水) ～31日(金)	樺原ロイヤルホテル ①実習: Office2007の新機能を体験する 富士通 (株) ②講演: 学生とのコミュニケーション力の向上について ～学生の可能性をひき出すために～ 桜美林大学大学院 (4分科会合同) ③講演: 携帯ゲーム機を使った教育環境について 大阪電気通信大学 ④講演: ワンセグ携帯向けスポットキャストシステム 富士通 (株) ⑤討議: 新しい教育環境について ⑥演習: アンケートシステム使用法 ⑦討議: 正しいアンケートの作り方について ⑧まとめ	27 名
4	10月12日(金)	神奈川工科大学 テーマ: 魅力的なキャンパスの見学 ①講演: キャンパス再構築について 神奈川工科大学 ②講演: モバイル学生証の活用について、基礎教育支援センターの取組みについて 神奈川工科大学 ③見学: 基礎教育支援センター、ヒューマンメディアセンター、KAITスタジアム	20 名
5	11月30日(金)	富士通ショールーム netCommunity、富士通 本社事務所 テーマ: 教育環境の改善プロジェクトの推進、富士通の先進技術見学 ①見学: 富士通ネットコミュニティ(ソリューション、先進技術)の見学 ②講演: 未来の学びへの挑戦; 東京大学・教育環境リデザインプロジェクト 東京大学 ③討議: 2007年度を振り返って等	14 名

参加人数計 113 名

(2) 第二分科会

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等	参加人数
1	5月18日(金)	富士通ソリューションスクエア テーマ: Windows Vistaの移行を考える ①会員自己紹介 ②ソリューション紹介 大学統合業務パッケージ Campusmate-J V2 富士通(株) ③講演: Windows Vistaの移行を考える 富士通(株)	50名
2	6月21日(木) ～22日(金)	千歳科学技術大学、札幌学院大学 テーマ: eラーニングの最新事例をさぐる、学生サービス向上 ①見学: 千歳科学技術大学施設(第一分科会と合同) ②講演: 千歳科学技術大学におけるリメディアル教育への取り組み (第一分科会と合同) 千歳科学技術大学 ③討議: リメディアル教育について(第一分科会と合同) ④見学: プロジェクトメンバーHTML講習会(第一分科会と合同) ⑤事例紹介: ポータルや学生カルテを活用した学生支援の取り組み 札幌学院大学 ⑥討議: 学生支援を考える ⑦解散後施設自由見学	64名
3	8月29日(水) ～31日(金)	榎原ロイヤルホテル ①討議: 学生サービスの向上 ～学生の気質を考える (窓口対応から感じる事、取り組んでいる事)～ ②講演: 学生とのコミュニケーション力の向上について ～学生の可能性をひき出すために～ 桜美林大学大学院(4分科会合同) ③演習: コミュニケーション能力の向上(コーチング演習) 桜美林大学大学院 ④実習: Office2007の新機能を体験する 富士通(株) ⑤フリーディスカッション及びまとめ	20名
4	10月11日(木)	亜細亜大学 テーマ: 学生サービスの向上3 ～キャンパスライフに溶け込んでいる大学戦略を見出す～ ①統合認証システムの導入について 亜細亜大学 ②アジア夢カレッジ 4年一環の産学連携によるキャリア開発中国プログラム 亜細亜大学 ③討議 ④施設見学	42名
5	11月15日(木)	武蔵工業大学 世田谷キャンパス テーマ: システムを支えるための大学職員の在り方 ①基調講演: これからの大学職員のあり方とキャリア育成(SD) ～募集広報戦略業務を事例に～立教大学 ②討議: システムを支える大学職員のあり方 ③施設見学	34名
6	12月14日(金)	東洋学園大学 本郷キャンパス ①講演: 東洋学園大学AVネットワークの仕組みとFD活動における利用を想定した 授業収録・閲覧環境の紹介 ②討議: コミュニケーションツールの大学適応について、2007年度まとめと 2008年度活動に関して ③施設見学	36名

参加人数計 246名

(3) 第三分科会

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等	参加人数
1	5月18日(金)	富士通ソリューションスクエア テーマ: Windows Vistaの移行を考える ①フリーディスカッション(会員自己紹介等) ②ソリューション紹介: (第一分科会と合同) IS-Link (Intelligent Secure Link) について ～New Concept Security Service～ (株) 富士通関西システムズ ③講演: Windows Vistaの移行を考える 富士通(株)	24 名
2	7月4日(水)	東洋学園大学 本郷キャンパス テーマ: Office2007の新機能について ①事例紹介: IP統合ネットワークと仮想化サーバによるシステム構築 東洋学園大学 ②紹介: Office2007の新機能について～新旧Office製品の混在環境における互換性～ 富士通(株) ③意見交換会 ④施設見学	22 名
3	8月29日(水) ～31日(金)	榎原ロイヤルホテル ①紹介と実習: ディスクレスクライアントによるマルチOS環境の実現 富士通(株) ②講演: 学生とのコミュニケーション力の向上について ～学生の可能性をひき出すために～ 桜美林大学大学院(4分科会合同) ③紹介と実習: 仮想化システムによるサーバ統合について 富士電機ITソリューション(株) ④紹介: ソリューション「SANBOOT」について 富士通(株) ⑤紹介: BlueCoatアプライアンスによるキャンパス間のアプリケーション遅延の 解消、およびセキュアで且つ、詳細なWebアクセスポリシー管理の実現 ブルーコートシステムズ(株) ⑥紹介: 容易な導入・管理により管理者負担を大幅軽減「WEB認証ゲートウェイ FEREC」 (株) ネットスプリング ⑦フリーディスカッション: VistaとOffice2007の現状について	26 名
4	11月15日(木) ～16日(金)	西南学院大学、九州大学 テーマ: Windows Vistaと仲良くおつきあい ①紹介: Windows Vistaによる教育システム導入事例ご紹介 富士通(株) ②討議: Vistaパソコン導入上の課題について ③見学: 1号館PC教室、元寇防塁、西南学院大学博物館 ④講演: 情報基盤研究開発センターの組織と役割、設備について 九州大学 ⑤施設見学: センター設置のスーパーコンピュータやアプリサーバ、演算サーバ、 教育用システム、学内ネットワーク施設、eラーニング支援室など	30 名
5	12月7日(金)	東京電機大学 神田キャンパス テーマ: Windows Vistaと仲良くおつきあい ①紹介: 東京電機大学 情報環境の紹介 東京電機大学 ②紹介: LDAP Managerによる統合ID管理 (株) 富士通ソフトウェアテクノロジーズ ③討議: 2007年度の活動のまとめと次年度の活動について ④施設見学	22 名

参加人数計 124 名

(4) 第四分科会

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等	参加人数
1	5月18日(金)	富士通ソリューションスクエア テーマ: Windows Vistaの移行を考える ①事例紹介: MyLibraryと学生支援システムの連携について 國學院大學 ②紹介: 図書館パッケージシステムからのお知らせとQ&A 富士通(株) ③講演: Windows Vistaの移行を考える 富士通(株)	48名
2	7月6日(金)	千代田区立千代田図書館、アカデミーヒルズ六本木ライブラリー テーマ: 空間デザインにみる図書館スペースの有効性 ①紹介: 千代田区立千代田図書館について 千代田区立千代田図書館 ②千代田区立千代田図書館内見学 ③アカデミーヒルズ六本木ライブラリー見学(セミナー、施設見学、質疑応答) ④解散後自由見学	40名
3	8月29日(水) ～31日(金)	橿原ロイヤルホテル ①テーマ研究: Web2.0から図書館2.0へ 研究発表 ②フリー討議: 利用者の情報探索行動について ～学生は何を使ってレポートを書くのか?～ ③講演: 学生とのコミュニケーション力の向上について ～学生の可能性をひき出すために～ 桜美林大学大学院(4分科会合同) ④入門講座: Web2.0の可能性について 富士通研究所 ⑤技術紹介: 「RSSソリューション紹介」Shunreader RSSファミリー (株)富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ ⑥実習: 「Shunreader RSSファミリー」操作実習 (株)富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ ⑦実習: Windows Vista 徹底検証 -OS&ブラウザの組み合わせ検証- 富士通(株) ⑧報告: 言いたい放題 中間報告 富士通(株)	25名
4	11月8日(木) ～9日(金)	石巻専修大学、せんだいメディアテーク テーマ: 空間デザインにみる図書館スペースの有効性～その2～ ①紹介: 石巻専修大学新図書館システムの概要について 石巻専修大学 ②講演: 歴史的な資料・記念物のデータ電子化の進め方 ～事例 サンファン館保存資料電子化の基礎調査～ 石巻専修大学 ③施設見学 ④施設案内(せんだいメディアテーク) ⑤施設見学	26名
5	12月7日(金)	関東学院大学 関内メディアセンター テーマ: 図書館パッケージシステム言いたい放題 ①報告: OpenURL連携について 富士通(株) ②報告: CiNii (NII論文情報ナビゲータ: サイニイ) について 富士通(株) ③報告: 関東学院大学におけるOpenURL連携事例の紹介 関東学院大学 ④言いたい放題コメント 富士通(株) ⑤iLiswave-J 将来構想について 富士通(株) ⑥討議: パッケージシステム言いたい放題 グループ討議とまとめ	40名

参加人数計 179名

(5) 総会

開催日	場所・内容等	参加人数
6月1日(金)	富士通 本社事務所 ①総会議事 ②特別講演：松下政経塾の人材育成 松下政経塾 研修塾 塾頭 古山 氏	95 名

(6) 分科会合同研修会

開催日	場所・内容等	参加人数
8月29日(水) ～31日(金)	橿原ロイヤルホテル ①特別講演：関西国際大学での学習支援の取り組み ～多面的で発展的な取り組みと今後の課題～ 関西国際大学 副学長(教務・学生) 教育学部 教授 山下 氏 ②テーマ別ミーティング：CS研について、特別講演を受けて、 危機管理について、携帯機器の活用について ③分科会活動 ④デモ見学	173 名

(7) トピックス企画

開催日	場所・内容等	参加人数
管理職セミナー 12月3日(月)	富士通EIセンター ①講演1：サイバー犯罪の現状と課題 警察庁技官 河石氏 ②講演2：最新ネット事情の紹介 テクニカルライター 三上 氏 ③フリーディスカッション：サイバー犯罪から学生をどう守るか	25 名
技術講習会 12月17日(月) ～18日(火)	富士通EIセンター ①1日目 ・マクロ/VBAの基礎知識 ・マクロの作成 ・マクロの編集 ・モジュールとプロシージャ ・ワークシートとセルの操作 ・プロシージャの登録と実行 ②2日目 ・変数と制御構造 ・プログラムの作成 ・デバッグ ・活用事例紹介	19 名
最新技術セミナー 3月7日(金)	富士通EIセンター ①講演1：セカンドライフ紹介と当社の取り組み (株) 富士通総研 サービスマネジメント事業部 永井 氏 ②講演2：バーチャルワールドでできること ー事例紹介ー (株) メルティングドッツ 代表取締役 浅枝 氏 ③体験デモ：セカンドライフの体験	24 名

2008年度活動実績

大学名は、開催時点での大学名を記載しております。

(1) 第一分科会

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等	参加人数
1	5月30日(金)	東海大学 湘南キャンパス テーマ：教育環境を再考する ①講演：TICU (Tokai International Cyber University) の取り組みとその展望 東海大学 ②紹介：TICU (Tokai International Cyber University) コンテンツのご紹介 東海大学 ③意見交換：年間のテーマ、スケジュール等についての説明と会員自己紹介 ④施設見学：チャレンジセンター、研究本部・知的財産本部、武道館他運動施設	21名
2	7月3日(木) ～4日(金)	甲南大学、神戸学院大学 テーマ：新しい教育環境創りと危機管理 ①講演：甲南大学における情報環境について 甲南大学 ②紹介：常に備えよー阪神・淡路大震災の経験を踏まえてー 甲南大学 ③施設見学：甲南大学 ④講演：教育の情報化支援 神戸学院大学 ⑤施設見学：神戸学院大学	18名
3	8月27日(水) ～29日(金)	信州松代ロイヤルホテル テーマ：教育への最新テクノロジーの活用 ①講演：信州大学インターネット大学院の取り組みについて 信州大学大学院 教授 不破 氏 ②意見交換：講演を受けての意見交換会 ③実習1：タブレットPCを活用した手書き学習の実習 ④デモ見学 ⑤実習2：タブレットPCを活用した手書き学習の実習 ⑥紹介：Yahoo!メール Academic Edition (教育機関向けウェブメールサービス) について ヤフー(株) ⑦意見交換：教育機関向けアプリケーションサービスを考える(その3)	12名
4	10月17日(金)	富士通EIセンター ①紹介：eラーニングを活用した大学向け入学前教育 富士通(株) ②紹介：安全・安心ソリューション 富士通(株) ③意見交換会	15名
5	11月21日(金)	東京電機大学 ①システム構築事例紹介：東京電機大学における教育研究システム構築のコンセプト について 東京電機大学におけるシステム導入事例 ②意見交換：東京電機大学様の事例紹介に関する意見交換 来年度の活動について ③ソリューション紹介 ④施設見学：東京電機大学	21名

参加人数計 87名

(2) 第二分科会

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等	参加人数
1	5月23日(金)	富士通EIセンター テーマ：2008年度の活動にあたって ①会員自己紹介 ②討議：今年度の活動を迎えるにあたって ～身近な問題を本音で語る～「教務の主張」と「情報の主張」～ ③紹介：大学統合事務システム「Campusmateシリーズ」について 富士通(株)	32名
2	7月4日(金)	東海大学 湘南キャンパス テーマ：業務の改善は大学の質向上に結び付くか(その1) ①講演：大学と学生の心をつなぐ試み 東海大学 ②討議：教務の仕事を理解する。教務の仕事は軽減できるのか？	46名
3	8月27日(水) ～29日(金)	信州松代ロイヤルホテル テーマ：本音で語る「教務の主張・情報の主張」 ①全体会 ②討論：教務の主張・情報の主張 ③演習：ファシリテーション ④デモ見学 ⑤事例紹介：Windows Vistaが大学事務に与える影響 ⑥討議：バージョンアップ?それっていったい誰のため？	13名
4	10月10日(金)	相模女子大学 テーマ：学生の力を引き出すシステムとは ①事例紹介：相模女子大学における教務システムについて 相模女子大学 ②紹介：F1100モバイルソリューションの紹介 富士通(株) ③討議：学生の力を引き出すシステムとは～ケータイ、大学にとっての功と罪。 ケータイは学生の力を引き出せるのか?～ ④施設見学	33名
5	11月6日(木) ～7日(金)	立命館大学 衣笠キャンパス、京都学園大学 バイオ環境館 テーマ：大学業務とコンプライアンス ①事例紹介：本学のコンプライアンス課題 ②討議：大学業務とコンプライアンス ～身近な問題からコンプライアンスを考える～ ③施設見学 ④事例紹介：ICカード学生証の導入について ⑤討議：業務の改善は大学の質向上に結び付くか	54名
6	12月5日(金)	千葉工業大学 津田沼キャンパス テーマ：業務の改善は大学の質向上に結び付くか(その2) ①紹介：静脈認証IC学生証を利用した学生サービスの向上 ②意見交換会：人、スケジュール、システムのあり方を考える ～教務業務をPDACサイクルさせるには～ ③意見交換会：2008年度のまとめと2009年度活動に関して ④施設見学	43名

参加人数計 221名

(3) 第三分科会

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等	参加人数
1	5月30日(金)	富士通EIセンター テーマ：教育機関向けアプリケーションサービスを考える(その1) ①システム構築事例紹介：WindowsLive@eduがもたらす大学Webサービスの新しい形 ～メールサービスを中心として～ 日本体育大学 ②紹介：Windows Server 2008について ◇Windows Server 2008 ご紹介 ◇Windows Server 2008への富士通の取り組み 富士通(株) ③意見交換会	31名
2	7月11日(金)	日本大学 総合学術情報センター テーマ：教育機関向けアプリケーションサービスを考える(その2) ①事例紹介：Google Appsの導入について ー新しい時代の始まりー 日本大学 ②討議：教育機関向けアプリケーションサービスを考える(その2) ③施設見学：日本大学	40名
3	8月27日(水) ～29日(金)	信州松代ロイヤルホテル テーマ：最新技術の動向を探る ①紹介と実習：Windows Server 2008による仮想化技術体験 ②デモ見学 ③紹介：Yahoo!メール Academic Edition(教育機関向けウェブメールサービス) について ヤフー(株) ④意見交換：教育機関向けアプリケーションサービスを考える(その3) ⑤ソリューション紹介：AXIOLEによる ネットワーク認証アカウント管理のご紹介 (株) ネットスプリング インターネットサービスを支えるCDNサービス	9名
4	11月13日(木) ～14日(金)	阪南大学 本キャンパス、大阪経済大学 テーマ：システム構築事例研究(その1) ①事例紹介：ポータブル HInT のご紹介 ポータブル HInT の運用について ポータブル HInTシステム概要説明 授業見学(企業分析論)：阪南大学 准教授 中條 氏 阪南大学 ②施設見学：図書館、フォロンティアホール、PC教室 ③ソリューション紹介：「WebCollaboration」について 「PC資産管理ソリューション」について 富士通(株) ④事例紹介：SANブートシステムを導入して 大阪経済大学 SANブートを利用したサーバ統合について 富士通(株)	31名
5	12月12日(金)	日本女子大学 テーマ：システム構築事例研究(その2) ①事例紹介：本学における情報教育システムの更改について 日本女子大学 ②ソリューション紹介：事業継続・システム安定運用における データセンターサービス活用について 富士通(株) ③意見交換 ④今年度の活動のまとめ ⑤施設見学：演習室、撮影スタジオ等	24名

参加人数計 135名

(4) 第四分科会

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等	参加人数
1	5月23日(金)	武蔵工業大学 テーマ: ネットライブラリー ①紹介: ICT時代におけるハイブリット図書館の役割 ～千代田Web図書館導入事例紹介～ iNEO(株) ②紹介: NetLibraryについて (株) 紀伊國屋書店 ③紹介: デジタル図書閲覧サイト 化学書資料館について 丸善(株) ④合同質疑 ⑤施設見学	30名
2	6月19日(木) ～20日(金)	関西大学、神戸ポートアイランド地区3大学 (神戸学院大学、兵庫医療大学、神戸夙川学院大学) テーマ: 図書館をめぐる諸問題と図書館革命 ①講演: 関西大学の図書館革命 関西大学 ②施設見学: 関西大学 ③紹介: 新キャンパスにおける図書館活動の展開ー神戸学院大学の場合ー 神戸学院大学 ④施設見学: 神戸学院大学 ⑤図書館の紹介と施設見学 兵庫医療大学 ⑥図書館の紹介と施設見学 神戸夙川学院大学 ⑦意見交換会	36名
3	8月27日(水) ～29日(金)	信州松代ロイヤルホテル テーマ: 「Web2.0と図書館」 Ver. 2008 ①紹介 (1) iLiswave-Jコンセプトとロードマップご紹介 (2) iLiswave-J/WebOPAC等新機能ご紹介 (3) コンテンツマネージメントシステム(CMS)ご紹介 (4) パッケージ言いたい放題中間報告 富士通(株) ②フリー討議: 図書館利用ガイドを比較検証 ③紹介: 「利用ガイド」のデジタル化の為のガイダンス ④デモ見学 ⑤実習1: 利用ガイドのデジタル化実習～部品作り編～ ⑥実習2: 利用ガイドのデジタル化実習～コンテンツ編～ ⑦実習3: 利用ガイドのデジタル化実習～CMS編～	9名
4	10月16日(木)	多摩美術大学、住友スリーエム株式会社 Customer Technical Center (CTC) テーマ: 空間デザインにみる図書館スペースの有効性 ①多摩美術大学図書館の紹介と見学 多摩美術大学 ②図書館情報システム向けICタグ「コンビタグ」の紹介とデモ 住友スリーエム(株) ③Customer Technical Center (CTC) にて各種ソリューション紹介と見学	30名
5	12月5日(金)	明治大学 駿河台キャンパス テーマ: 図書館パッケージシステム言いたい放題 ①講演: 最新機関リポジトリ動向 NII学術機関リポジトリ構築連携支援事業 ～作るための支援・使うための支援～ 国立情報学研究所 ②事例報告: 機関リポジトリ運用事例報告 関東学院大学 ③事例紹介: 図書館サービスの新しい展開に向けた明治大学の挑戦 ー学術・社会連携部の下での図書館ー 明治大学 ④グループ討議: パッケージシステム言いたい放題	40名

参加人数計 145名

(5) 第五分科会

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等	参加人数
1	7月25日(金)	富士通EIセンター テーマ：大学経営と情報化戦略 ①基調講演：企業（民間）から見た大学経営と情報化投資 （株）富士通総研 ②討議：本プロジェクトの方向性について	42 名
2	9月26日(金)	富士通EIセンター テーマ：大学経営と情報化戦略 ①基調講演：私立大学の経営と情報化 （株）クレオテック 代表取締役社長 伊藤 氏 ②討議：大学の各分野における情報化到達点	33 名
3	11月28日(金)	千葉工業大学 津田沼キャンパス テーマ：大学経営と情報化戦略（管理職セミナーと合同） 1. 大学経営の特性と「情報」の位置づけ 2. 大学の情報サービスの構造 3. 情報システムの評価・検証の方法 4. 情報環境を見る組織のあり方、人材のあり方、人材育成のあり方 ①基調講演：経営視点からみた情報システム監査（評価・検証） 情報システム監査株式会社 上田 氏 ②討議、全体のQA ③今年の感想・次年度に向けた意見討論会	22 名

参加人数計 97 名

(6) 総会

開催日	場所・内容等	参加人数
6月6日(金)	富士通 本社事務所 ①総会議事 ②特別講演：高等教育の質保証と「学士力」 関西国際大学 学長／学校法人濱名学院 理事長 濱名 氏	99 名

(7) 分科会合同研修会

開催日	場所・内容等	参加人数
8月27日(水) ～29日(金)	信州松代ロイヤルホテル ①特別講演：大学のコミュニケーション戦略～カスタマーとなる高校生の理解から～ (株) リクルート 「カレッジマネジメント」編集長 小林 氏 ②グループ別ミーティング ③分科会活動 ④デモ見学	127 名

(8) トピックス企画

開催日	場所・内容等	参加人数
技術講習会 7月15日(火) ～16日(水)	富士通エフ・オー・エム株式会社 竹芝会場 ①1日目 ・Accessの基礎知識 ・データベースの設計と作成 ・テーブルの作成 ・リレーションシップの作成 ・クエリの作成(1) ・フォームの作成 ②2日目 ・クエリの作成(2) ・レポートの作成 ・ピボットテーブルとピボットグラフの作成 ・便利な機能 ・大学での応用事例	36 名
技術講習会 10月6日(火) ～7日(水)	富士通エフ・オー・エム株式会社 竹芝会場 ①1日目 ・Accessの基礎知識 ・データベースの設計と作成 ・テーブルの作成 ・リレーションシップの作成 ・クエリの作成(1) ・フォームの作成 ②2日目 ・クエリの作成(2) ・レポートの作成 ・ピボットテーブルとピボットグラフの作成 ・便利な機能 ・大学での応用事例	9 名
最新技術セミナー 10月24日(金)	富士通 川崎工場 テーマ：富士通研究所による情報漏えい対策に関する研究成果 ①講演：グリーンIT技術、環境への取組み ②研究成果紹介とデモ ・セキュアポータブル環境技術 ・紙の暗号化技術 ③施設見学 ・富士通研究所 展示室の見学 ・Fujitsu Technology Hall (テクノロジーホール) の見学	16 名
管理職セミナー 11月28日(金)	千葉工業大学 津田沼キャンパス テーマ：大学経営と情報化戦略(第五分科会と合同) 1. 大学経営の特性と「情報」の位置づけ 2. 大学の情報サービスの構造 3. 情報システムの評価・検証の方法 4. 情報環境を見る組織のあり方、人材のあり方、人材育成のあり方 ①基調講演：経営視点からみた情報システム監査(評価・検証) 情報システム監査株式会社 上田 氏 ②討議、全体のQA ③今年の感想・次年度に向けた意見討論会	16 名

2009年度活動実績

大学名は、開催時点での大学名を記載しております。

(1) 第一分科会

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等	参加人数
1	5月28日(木)	立教大学 テーマ：ビジネスリーダーシップ ①講演：ビジネス・リーダーシップ・プログラム -体験と知識を統合する新しい経営学カリキュラムの展開- 立教大学 経営学部 教授 日向野 氏他 ②意見交換 ③施設紹介と見学	28 名
2	7月3日(金)	富士通EIセンター テーマ：FD（ファカルティ・デベロップメント） ①講演：教育の質を保証する教員職能開発と大学連携 -大学間連携を通じた実践的FDプログラムの開発ならびに 大学教員に求めら教育力量と職能の提案- 立命館大学 教育開発推進機構 講師 井上 氏 ②ソリューション紹介：ネットワークブート型シンククライアントシステムWingnet Pc 大興電子（株）	18 名
3	8月26日(水) ～28日(金)	信州松代ロイヤルホテル テーマ：地域・大学間連携 ①演習：現代GP申請書作成ポイントの評価 ②講演：大学間地域ネットワーク構築による高等教育の質保証と人材の育成 信州大学全学教育機構 機構長 教授 矢部 氏 ③紹介と実習：Web技術を利用した携帯電話用リッチコンテンツ作成支援環境 「WisdomCard」の紹介とデモ (株) 富士通ソーシアルサイエンスラボラトリ	12 名
4	10月2日(金)	日本女子大学 テーマ：キャリア教育 ①講演：eポートフォリオを活用したキャリアデザイン支援 日本女子大学 理学部数物科学科 准教授 小川 氏 ②意見交換 ③ソリューション紹介：SNSサービス 「知創空間（ちそうくうかん）」 (株) 富士通ソフトウェアテクノロジーズ ④施設見学	41 名
5	11月5日(木) ～6日(金)	金沢大学、金沢工業大学 テーマ：FD（ファカルティ・ディベロップメント）、 SD（スタッフ・ディベロップメント）、基礎数理教育、ポートフォリオ ①講演：金沢大学におけるICTを活用した教育とFD/SDへの取組み 金沢大学 FD・ICT推進室 教授 堀井 氏 金沢大学 総合メディアセンター 助教 森 氏 ②意見交換 ③施設見学 ④講演：全入時代における「個」に対応する数理教育 金沢工業大学 物理工教育センター 教授 青木 氏 ⑤講演：Plan、Do、Check、Action 総合力の向上を実感できる KITポートフォリオシステム 金沢工業大学 企画部広報課 課長 志鷹 氏 ⑥意見交換 ⑦施設見学	16 名
6	12月11日(金)	青山学院大学 テーマ：学士力 ①講演と実習デモ：学士力としての論理的文章作成能力育成 青山学院大学 教授 稲積 氏 ②講演：青山学院大学 社会情報学部における iPhoneの導入とその活用事例 青山学院大学 社会情報学部 准教授 宮治 氏 ③施設見学	29 名

参加人数計 144 名

(2) 第二分科会

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等	参加人数
1	5月22日(金)	富士通EIセンター テーマ：2009年度の活動にあたって ①講演：学士力とは？ -それを高めるための職員の役割- 工学院大学 教授・教職課程学芸員課程主任 蔵原 氏 ②意見交換会 ③ソリューション紹介：学生の個性を伸ばす「更に魅力ある大学像に向けて」 -「学生ポートフォリオ」活用による人材育成のご提案- 富士通(株)	44名
2	6月25日(木) ～26日(金)	東北学院大学、仙台大学 テーマ：入学直後に失望させないために ①事例紹介：入学前教育と工学基礎教育センターの取り組み 東北学院大学 工学基礎教育センター所長 斎藤 氏 ②事例紹介：関東学院大学・工学部における早期合格者を対象とした e-Learningによる入学前準備教育とSNSの実施2 関東学院大学 工学部庶務課 課長 千葉 氏 ③施設紹介と見学 ④事例紹介：東海大学における入学前・初年次教育の取り組みについて 東海大学 教学部湘南教務課 平石 氏、齊藤 氏 ⑤討議：入学直後に失望させないために -入学前教育、初年次教育及び指導-	42名
3	8月26日(水) ～28日(金)	信州松代ロイヤルホテル テーマ：学士力向上のための教育支援 ①討論：アンケートの効果的活用、TA・SAの効果的活用 ②事例紹介：くつろげる、学べる それが学生支援 関東学院大学 学生支援室 ACSEL 関東学院大学 学生支援室 金沢文庫キャンパス 田中 氏 ③演習：学士力に通じる技術・態度、「対話力」 -チームワークを醸成する効果的なコミュニケーション- パフォーマンス エクセレンス アソシエイツ代表 坂本 氏	24名
4	10月9日(金)	明治大学 駿河台キャンパス テーマ：退学者減少対策(I) ①事例紹介：Suica付学生証の導入に関して 明治大学 総務部 総務課 竹内 氏 ②講演：多様化する生徒への対応 浅野高等学校 校長 淡路 氏 ③討議：Suica学生証(ICカード)を活用したシステム、学士力向上につなげる出席管理	54名
5	11月5日(木)	跡見学園女子大学 文京キャンパス テーマ：退学者減少対策(II) ①事例紹介：跡見学園女子大学における事務システムについて -Campusmate-J V1からV2へ移行にまつわる四方山話- 跡見学園女子大学 学務部教務課長 渡邊 氏 ②事例紹介：大阪のとある大学の様子 大阪産業大学 工学研究科・工学部事務室 次長 椿野 氏 ③討議：在学中の脱落者を防ぐためのしくみ、学生カルテ、学生支援、学生相談 ④施設紹介と見学	53名
6	12月4日(金)	立教大学 池袋キャンパス テーマ：まとめ ①事例紹介：学生カルテシステムの導入と現状 学校法人 立教学院 総務部 副部長 兼 総務部事務システムセンター 課長 宇佐見 氏 ②討議：学生フォローアップの構造とサービス 2009年度活動のまとめと2010年度活動について ③施設紹介と見学	43名

参加人数計 260名

(3) 第三分科会

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等	参加人数
1	5月29日(金)	富士通EIセンター テーマ：大学における情報セキュリティを考える (I) ①紹介：大学における情報セキュリティを考える 情報システム監査(株) ②実習：情報セキュリティ簡易評価 富士通(株) ③ソリューション紹介：オープンソースを活用した統合ID管理 レッドハット(株)	25名
2	7月17日(金)	富士通ショールーム netCommunity テーマ：大学における情報セキュリティを考える (II) ①ソリューション紹介：ネットワーク最新動向とNGNの特長を活かした サービス展望 ②報告：「情報セキュリティ簡易評価」の結果フィードバック ③意見交換 ④施設見学(富士通の先進技術と新しいITの利活用を紹介)	28名
3	8月26日(水) ～28日(金)	信州松代ロイヤルホテル テーマ：最新技術の動向を探る 実習 (I) ①紹介と実習：サーバー仮想化技術 -VMware仮想化技術体験 - ・VMware の紹介 ・仮想マシンの作成と基本操作 ・Virtual Centerのオペレーション ②ソリューション紹介 ③意見交換	16名
4	11月13日(金)	グローバル ナレッジ ネットワーク株式会社 テーマ：最新技術の動向を探る 実習 (II) ①紹介と実習(実機)：Windows 7 の技術概要 講義+実習 ②講義：Windows 7 標準クライアント環境の構築と展開	30名
5	12月15日(火)	インテル株式会社 テーマ：最新システム導入事例 ①講演：インテル® vPro™ テクノロジーによる効率的なクライアントPCの運用管理 インテル(株) 牧氏 ②ソリューション紹介：ネットブート型シンクライアントシステム 「MAGICCLASS Z!BootOS」のご紹介 富士通(株) 田代氏 ③意見交換	30名

参加人数計 129 名

(4) 第四分科会

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等	参加人数
1	5月22日(金)	明治学院大学 白金キャンパス テーマ: キャンパスネットワークの裏側 ①紹介: デジタルアーカイブスとはいかなるメディアか 明治学院大学 図書館 資料管理課 コンテンツ係 松岡 氏 ②連続講座: 図書館員のためのシステム基礎知識 - キャンパスネットワークとセキュリティの裏側 - 富士通(株) ③施設紹介・見学 ④ミニ紹介: 電子ジャーナルの利用統計 富士通(株)、EBSCO、Serials Solutions	34名
2	7月3日(金)	富士通ショールーム netCommunity テーマ: 次世代検索システム ①製品紹介: iLiswave-J SearchCoordinator(横断検索)、その他新機能 富士通(株) ②連続講座: 図書館員のためのシステム基礎知識 - キャンパスネットワークとセキュリティの裏側 - [復習] 富士通(株) ③連続講座: 図書館員のためのシステム基礎知識 - 検索システムの裏側 - 暗号化, プロトコル, 横断検索 富士通(株) ④グループ討議 ⑤施設見学	21名
3	8月26日(水) ~28日(金)	信州松代ロイヤルホテル テーマ: 体験! ミニチュア図書館ネットワーク-図書館ネットワークを箱庭で作ろう- ①連続講座番外編: 図書館員のためのシステム基礎知識 - キャンパスネットワークとセキュリティの裏側 [復習] - ②実習: 図書館員のためのネットワーク基礎講座 ・ LANケーブル作成からネットワークまで ・ トラブル体験 ・ SearchCoordinator 体験 ③グループ討議 ④いいたい放題中間報告	14名
4	10月16日(金)	厚木市役所、湘北短期大学、東京農業大学 テーマ: 個人認証 ①紹介: 厚木市地域情報化の取組 - ICTの利便性を実感できる行政サービスを目指して - 厚木市政策部情報政策課 主査 小路 氏 ②紹介: 図書館を実践の場とする学科横断PBL教育 湘北短期大学 情報メディア学科 准教授 澤口 氏 ③施設見学: 湘北短期大学 ④連続講座: 図書館員のためのシステム基礎知識 - 個人認証の裏側 -	31名
5	12月4日(金)	芝浦工業大学 芝浦キャンパス テーマ: システム言いたい放題 ①講演: 学術認証フェデレーションの概要と構築 国立情報学研究所 学術ネットワーク研究開発センター 准教授 山地 氏 ②講演: Shibboleth経由のe-リソース利用 国立情報学研究所 学術基盤推進部 学術コンテンツ課 コンテンツチーム(総括・企画担当) 係長 阿藤品 氏 ③事例紹介: 図書館の利用頻度を高めることを目的とした書籍レコメンドシステムの開発 芝浦工業大学 学術情報センター 事務部ネットワークサービス課 青砥 氏 ④紹介: iLiswave C/S版における3M社コンピタグ対応 富士通(株) 文教ソリューション事業本部 鈴木 氏 ⑤施設見学: 図書館 ⑥紹介: 富士通図書館システムのエンハンス計画 富士通(株) 文教ソリューション事業本部 芦田 氏 ⑦グループ討議	27名

参加人数計 127名

(5) 第五分科会

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等	参加人数
1	5月25日(月)	富士通EIセンター テーマ：大学におけるIT投資を考える(Ⅰ)ー財政面から見た大学経営ー ①今年度活動について ②講演：大学経営の視点から見た情報投資 日本私立学校振興・共済事業団 私学経営情報センター 経営支援室 室長 田辺 氏 ③討議・勉強会	26 名
2	7月24日(金)	富士通ショールーム netCommunity テーマ：大学におけるIT投資を考える(Ⅱ)ーIT投資と大学会計ー ①講演：大学経営における情報化投資の狙いとその実態 芝浦工業大学 常務理事 石井 氏 ②グループ討議 ③講演：高度情報化関係補助金が一般補助に与える影響について 日本電子計算機(株)	26 名
3	9月25日(金) ～26日(土)	富士通 富士フォーラム テーマ：CIOについて(Ⅰ)ー企業における役割ー ①講演：企業におけるCIOの役割について (株)富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ 代表取締役社長 花岡 氏 ②討議・勉強会	23 名
4	3月18日(木)	富士通ショールーム netCommunity テーマ：CIOについて(Ⅱ)ー大学における役割ー ①講演：早稲田大学の情報化戦略とCIOの役割 早稲田大学 研究推進部長 教務部情報化推進担当部長 理工学術院教授 深澤 氏 ②討議・勉強会	23 名

参加人数計 98 名

(6) 総会

開催日	場所・内容等	参加人数
6月5日(金)	富士通 本社事務所 ①総会議事 ②特別講演：静岡産業大学の「教育第一主義」における実践 -人材の地産・地育への取り組み- 静岡産業大学 学長 大坪 氏	80 名

(7) 合同研修会

開催日	場所・内容等	参加人数
8月26日(水) ～28日(金)	信州松代ロイヤルホテル ①特別講演：学士力と教育の質保証 信州大学 全学教育機構 機構長 矢部 氏 ②グループ別ミーティング ③分科会活動 ④賛助会員デモの見学 ⑤最新技術報告：Windows 7と非互換点	141 名

(8) トピックス企画

開催日	場所・内容等	参加人数
技術講習会 9月14日(月) ～15日(火)	富士通エフ・オー・エム株式会社 横浜会場 「Access2007基礎」	10 名
技術講習会 10月5日(月) ～6日(火)	富士通エフ・オー・エム株式会社 横浜会場 「Access2007応用」	17 名

2010年度活動実績

大学名は、開催時点での大学名を記載しております。

(1) 第一分科会

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等	参加人数
1	5月13日(木)	東京電機大学 千葉ニュータウンキャンパス テーマ：学生支援、個別重視型教育 ①講演：学習意欲向上のためのフィードバック型教育への取り組み 東京電機大学 情報環境学部 教授 中村氏、准教授 土肥氏 ②施設見学 ③討議：今年度計画、会員からの期待、要望	25名
2	7月13日(火)	富士通ショールーム netCommunity テーマ：学生支援 ①講演：自発的学修者を育むアカデミックプランニング 国際基督教大学 学務副学長 日比谷氏 ②施設見学 ③討議	28名
3	9月1日(水) ～3日(金)	長浜ロイヤルホテル テーマ：ポートフォリオ ①講演：光華エンrollmentメント ～学生個人を大切にした総合的支援の推進～ 京都光華女子大学 教授 川西氏、助教 鳥越氏 ②講演：論理的内容のイメージ化による瞬間教育 大妻女子大学 教授 浪平氏 ③紹介：双方向コミュニケーション 授業支援システムご紹介 (株)富士通ビジネスシステム	18名
4	10月7日(木) ～8日(金)	愛媛大学 テーマ：FD/SD ①講演：四国地区大学教職員能力開発ネットワークの取組内容・実績説明 愛媛大学教育企画室の取組 質疑応答 四国地区大学教職員能力開発ネットワーク (SPOD) 実施担当責任者 佐藤氏 (愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室副室長) ②体験プログラム1：授業公開と効果的な授業アンケートの活用方法 四国地区大学教職員能力開発ネットワーク (SPOD) 実施担当責任者 佐藤氏 (愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室副室長) ③体験プログラム2：3つのポリシーの開発と一貫性構築手法 小林氏 (愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室室長)	25名
5	12月10日(金)	筑波大学 テーマ：学生支援 ①講演：学生・教職員が一体となった新たな自主的活動の創生 筑波大学 人間総合科学研究科 准教授 杉江氏 人間総合科学研究科 助教 檜村氏 (学生支援GP専任) システム情報工学研究科 准教授 中内氏 ②討議：今年度の振り返りと次年度に向けて	21名

参加人数計 117名

(2) 第二分科会

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等	参加人数
1	5月14日(金)	富士通 川崎工場 テーマ：大学における業務の省力化・効率化ー学生指導の時間確保に向けてー ①施設見学 富士通テクノロジーホールの見学 ②紹介：富士通におけるフィールド・イノベーション活動と具体的な取り組み事例について 富士通(株) ③討議：大学における業務の省力化・効率化ー学生指導の時間確保に向けてー	38名
2	6月11日(金)	東海大学 高輪キャンパス テーマ：教務業務で活用できるシステムー履修登録から成績発表までー ①事例紹介：教務業務で活用できるシステムー履修登録から成績発表までー東海大学 教学部 湘南教務課 係長 宮里 氏 ②ソリューション紹介：Campusmate-J/学生、教務V2 のご紹介 富士通(株) ③討議：教務業務で活用できるシステムー履修登録から成績発表までー ④施設紹介と見学	48名
3	7月16日(金)	国士舘大学 世田谷キャンパス テーマ：シラバスと授業評価ー学生への約束とその評価ー ①紹介：中央教育審議会答申と情報システム 国士舘大学 情報基盤センター 事務長 大平 氏 ②紹介：履修カルテシステムのご紹介 富士通(株) ③討議：シラバスと授業評価ー学生への約束とその評価ー ④施設見学	46名
4	9月1日(水) ～3日(金)	長浜ロイヤルホテル ①紹介：たまには自慢してみよう！！ ②紹介と意見交換：ホームページ運用における戦略や事例紹介について (合) プロジェクトリンクス 代表 福田 氏 ③演習：コミュニケーション テーマ：アセスメントツールを 利用して自己理解を促し、コミュニケーションスキルの向上を図る (有) Office C&M 代表 道幸 氏	31名
5	11月11日(木) ～12日(金)	神戸学院大学 ポートアイランドキャンパス、神戸大学 六甲台第2キャンパス テーマ：大学におけるソフトウェア管理 学士力を高めるためのしくみー学生ポータル・ポートフォリオー ①事例紹介 ②討議：学士力を高めるためのしくみー学生ポータル・ポートフォリオー ③ソリューション紹介：資産棚卸パッケージ「Convi. BASE」 IT資産管理支援パッケージ「ITConvi.」 (株) 内田洋行、(株) ネットレックス ④施設見学 ⑤討議2：大学におけるソフトウェア管理 ⑥紹介：神戸大学のICT関連組織とシステムについて 神戸大学 教授、情報基盤センター センター長 蛭名 氏 ⑦紹介：神戸大学全体ネットワークシステムについて 神戸大学 情報基盤センター 助教 佐々木 氏 ⑧情報基盤センターの紹介と見学 神戸大学 情報基盤センター 准教授 伴 氏	66名
6	12月4日(金)	日本体育大学 東京世田谷キャンパス テーマ：メールシステムの選択と活用ー生涯メールのASP活用ー ①大学競争力を高めるアウトソーシング 富士ゼロックス(株) 阪本 氏 ②事例紹介：日本体育大学・日本体育大学女子短期大学部におけるメールシステムの概要 日本体育大学・日本体育大学女子短期大学部 管理部電算課 荒井 氏 ③討議：メールシステムの選択と活用ー生涯メールのASP活用ー ④討議：2010年度年間活動のまとめ ⑤紹介：Microsoft Live@eduの現在と今後の展望 マイクロソフト(株) 田中 氏 ⑥施設見学：コンピューター教室・図書館・社会福祉演習室	42名

参加人数計 271名

(3) 第三分科会

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等	参加人数
1	5月25日(火)	富士通 川崎工場 テーマ：最新システム事例紹介1 ①システム構築事例紹介：Windows7搭載パソコンの導入について 専修大学 情報科学センター 情報システム部 情報システム課 小林 氏 ②ネットワーク技術事例紹介：インターネットを取り巻く最新動向 -IPv4アドレス在庫枯渇問題を中心に- (社) 日本ネットワークインフォメーションセンター インターネット推進部 部長 前村 氏 ③意見交換 ④施設見学：富士通テクノロジーホールの見学	33 名
2	6月24日(木) ～25日(金)	関西大学 千里山キャンパス、甲南大学 西宮キャンパス テーマ：最新システム事例紹介2 ①システム構築事例：全学IT統合認証システムの紹介 関西大学 学術情報事務局 システム管理課 村田 氏 ②意見交換会 ③施設紹介と見学 ④紹介：最新のICTを活用した教育支援の取り組み事例「CUBEが目指す新しい学びの場」 甲南大学 マネジメント創造学部 教授 井上 氏 ⑤施設紹介と見学	37 名
3	9月1日(水) ～3日(金)	長浜ロイヤルホテル テーマ：パソコン仮想化技術を学ぶ ①仮想マシンの活用メリット、利用場面など ②ソフト紹介(1)：「MS-Virtual PC」、「VMwarePlayer」 ③ソフト紹介(2)：「XenClient(ハイパーバイザー)」 シトリックス・システムズ・ジャパン(株) 北瀬 氏 ④「仮想マシンを構築する」(MS-Virtual PC 編) ⑤意見交換会：「各大学おすすめサービス紹介」	21 名
4	10月22日(金)	富士通 館林システムセンター テーマ：最新システム事例紹介3 ①施設紹介：システムセンターの紹介と見学 ②ソリューション紹介：Windows Azureのアーキテクチャと活用シナリオ マイクロソフト(株) シニアテクノロジーストラテジスト 岩田 氏	23 名
5	12月10日(火)	東京工科大学 蒲田キャンパス テーマ：最新システム事例紹介4 ①ソリューション紹介：賛助会員企業3社によるソリューション紹介 ・ウェブトラフィックの最新動向と最も効果的なウェブセキュリティソリューション ブルーコートシステムズ(合) ウェブセキュリティ スペシャリスト 水品 氏 ・ITインフラの成熟度診断と対策ソリューション(ITソリューションフレーム) (株) 富士通マーケティング ・基幹IAサーバ PRIMEQUEST 1000シリーズ クラウド時代の仮想化基盤- 富士通(株) ②意見交換会：2010年度活動の振り返りと次年度活動について ③施設紹介と見学	30 名

参加人数計 144 名

■第三分科会は、2010年度活動において、ユニーク企画 優秀賞を受賞しております。

(4) 第四分科会

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等	参加人数
1	5月28日(金)	<p>関東学院大学 関内メディアセンター テーマ：利用者の情報検索手法 ①事例紹介：明治大学図書館オンラインナレッジサービス ～オンラインレファレンス、読書ノート・レビュー機能～ 明治大学 学術・社会連携部 図書館総務事務室 中林 氏 ②事例紹介：「SearchCoordinator」連携機能と裏技 関東学院大学 図書館運営課 外崎 氏 ③連続技術講座1:WebOPACの検索連携機能- OpenURL ④情報講座1:聞いてお得な技術情報 ・PDFとXPSについて、iLiswave-J適用事例 富士通(株) ⑤意見交換会</p>	34名
2	7月2日(金)	<p>神田外語大学 テーマ：横断検索のしくみ ①施設紹介 ②技術紹介：「SearchCoordinator」横断検索技術 富士通(株) ③連続技術講座2:通信プロトコル - http, Z39.50, WebAPI 富士通(株) ④情報講座2:聞いてお得な技術情報 ・大学博物館・資料館の資料管理と横断検索について ・図書館員でもわかる最新技術「twitterについて」 富士通(株) ⑤製品紹介：統合検索サービス EBSCOhost Integrated Search (EHIS) EBSCO Publishing Japan 古永 氏</p>	46名
3	9月1日(水) ～3日(金)	<p>長浜ロイヤルホテル ①講座・実習：Twitter 体験 ②ミニ講座：クラウドってな～に？ ③実習：使ってさわってUfinity(演習1) ④実習：使ってさわってUfinity(演習2) ⑤体験：家電で検索(演習3) ⑥まとめ</p>	19名
4	10月4日(月)	<p>富士通トラステッド・クラウド・スクエア テーマ：データベースの契約と認証 ①デモ紹介：富士通のクラウドサービス基盤 ②施設見学 ③技術紹介：クラウドと大学図書館システムV2 ④連続技術講座3:データベース認証 - GakuNin と Ezproxy 富士通(株) ⑤情報講座3:聞いてお得な技術情報 ・カメレオンコード (株)シフト 代表取締役 CEO 遠藤 氏 ・事例報告：携帯電話による資料貸出(参考事例) 富士通(株) ⑥「データベース連携」アンケート中間報告</p>	31名
5	12月3日(金)	<p>東海大学 高輪キャンパス テーマ：統合情報検索システムのあり方 ①施設見学 東海大学付属図書館高輪図書館 等 ②データベース基盤調査報告 関東学院大学 図書館運営課 外崎 氏 ③iLiswave-J 新機能紹介 ④情報講座4:聞いてお得な技術情報 ・横断検索機能詳細説明 富士通(株) ・図書館システムに係る現状調査 日本図書館協会 情報システム研究会 外崎 氏 ⑤グループ討議(言いたい放題):図書館と授業連携</p>	35名

参加人数計 165名

■第四分科会は、2010年度活動において、ユニーク企画 最優秀賞を受賞しております。

(5) 第五分科会

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等	参加人数
1	6月18日(金) ～6月19日(土)	富士通 富士フォーラム テーマ：組織のあり方、人材育成についての共通課題認識 ①今年度活動について （情報環境を運営する組織のあり方、人材像およびその育成のあり方についての課題認識あわせ） ②講演：情報組織を改善するのか、革新を目指すのか？ 明治大学 法学部 教授 阪井 氏 ③ワークショップ：情報部門のあり方とその人材育成	17 名
2	8月3日(火)	富士通ショールーム netCommunity テーマ：人材育成のあり方Ⅰ ①講演：富士通のフィールド・イノベーション（FI）への取組みとその人材育成について 富士通（株） ②討議・勉強会	24 名
3	9月17日(金)	富士通ショールーム netCommunity テーマ：人材育成のあり方Ⅱ ①講演：地方行政の現状から見た情報化施策の方向性 都道府県CIOフォーラム会長・岐阜県総合企画部 次長 鈴木 氏 ②討議・勉強会	20 名
4	11月26日(金)	共立女子大学 テーマ：3年間の振り返りと次年度以降の活動について ①報告：3年間の振り返り 千葉工業大学 学生センター 次長 小川 氏 ②討議：3年間の活動を振り返って 振り返りのまとめ、次年度以降の活動について	27 名

参加人数計 88 名

(6) 総会

開催日	場所・内容等	参加人数
6月4日(金)	富士通 本社事務所 ①総会議事 ②特別講演：やれば、できる。 財団法人平成基礎科学財団 理事長・東京大学特別荣誉教授 小柴 氏	141 名

(7) 合同研修会

開催日	場所・内容等	参加人数
9月1日(水) ～3日(金)	長浜ロイヤルホテル ①特別講演：クラウドコンピューティングの全面適用とその効果 静岡大学 教授 情報基盤センター 副センター長 井上 氏 ②グループ別ミーティング：テーマ「大学でクラウドは何に使えるか？」 ③賛助会員からのソリューション紹介 ④分科会活動 ⑤技術報告：富士通の大学クラウドへの取組みについて 富士通 (株)	175 名

(8) トピックス企画

開催日	場所・内容等	参加人数
最新技術セミナー 4月28日(水)	富士通 館林システムセンター ①施設紹介：システムセンターの紹介と見学 富士通 (株) ②富士通のクラウドに対する取組みについて 富士通 (株)	28 名
技術講習会 7月30日(金)	富士通エフ・オー・エム株式会社 竹芝会場 ①動画コンテンツ制作技術研修 富士通エフ・オー・エム (株)	25 名
管理職セミナー 3月1日(火)	東京電機大学 創立25周年記念講演会として実施	一 名

(9) 25周年記念講演

25周年記念講演 3月1日(火)	東京電機大学 講演タイトル：なぜ今ドラッカーが求められるのか 講演者：岩崎 氏	162 名
---------------------	---	-------

2011年度活動実績

大学名は、開催時点での大学名を記載しております。

(1) 第一分科会

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等	参加人数
1	5月19日(木)	武蔵大学 テーマ：SNS、PBL ①講演：平成21年度教育GP採択事業 「三学部横断型ゼミナール・プロジェクト」の取り組み 武蔵大学 社会学部助教 稲増 氏 ②学生の体験談 ③意見交換会 ④施設見学	34 名
2	6月30日(木)	富士通ショールーム netCommunity テーマ：自己分析 ①講演：自らを発信するには 江戸川大学 マス・コミュニケーション学科 教授 小倉 氏 ②講演：ベストティーチャー授業DVDを授業改善に生かす 神奈川工科大学 教育開発センター 教授 遠山 氏 ③意見交換 ④施設見学	27 名
3	8月24日(水) ～26日(金)	信州松代ロイヤルホテル テーマ：学生支援、ワークショップ ①講演及びワークショップ：自分発見！社会人基礎力養成講座 「社会人基礎力を育む工夫」～新しい教育手法 “SBL” ～ 社会人基礎力測定 就業力育成支援コンソーシアム 会長 宇野 氏 ②講演：NPO・地元企業と連携した地域力循環型キャリア教育プログラム 聖泉大学 人間学部 教授 有山 氏 ③グループワーク：「6つの帽子」 「就業力を考える」	24 名
4	10月20日(木) ～21日(金)	同志社大学、富士通 京都支社 テーマ：PBL、IR ①講演：PBLで学生は変わる！社会が変わる！ 同志社大学 PBL推進支援センター センター長 文学部教授 山田 氏 ②意見交換 ③講演：大学教育の質保証と教学IR ー学びの実態の可視化を通じてー 立命館大学 教育開発推進機構 教授 鳥居 氏 ④意見交換	48 名
5	12月9日(金)	芝浦工業大学 テーマ：社会人基礎力、振り返り ①講演：企業が求める社会人基礎力とは 富士通(株) 人材採用センター センター長 豊田 氏 ②事例紹介：ICTを活用した社会人基礎力見える化 実証実験プロジェクトの報告 富士通(株) 文教ソリューション事業本部 第二ソリューション統括部 統括部長 中尾 氏 ③社会人(入社後2～3年目)体験談講演 ④意見交換	32 名

参加人数計 165 名

■第一分科会は、2011年度活動において、ユニーク企画 最優秀賞を受賞しております。

(2) 第二分科会

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等	参加人数
1	5月13日(金)	富士通トラステッド・クラウド・スクエア テーマ：教務システム① ～教務事務パッケージの紹介～ ①ソリューション紹介：Campusmate-Jのご紹介 富士通(株) 文教ソリューション事業本部 文教第二ソリューション部 プロジェクト部長 二村 氏 ②討議：教務システム運用上の問題点とは ③施設見学：富士通トラステッド・クラウド・スクエア ショールーム	40 名
2	6月17日(金)	共立女子大学 神田一ツ橋キャンパス テーマ：学生支援の具体的な取組み ①事例紹介：学生一人ひとりの就職能力向上を図る全学連携支援への取組み (事例：学内限定SNS「COHARU」) 共立女子大学 情報センター事務室 統括室長 田中 氏、村居 氏 ②施設見学 ③事例紹介：東海大学チャレンジセンターの取組みについて 東海大学チャレンジセンター推進室 高橋 氏 ④討議討議：学生支援を目的とした職員の取組みとは。職員間の連携、システムの活用	52 名
3	7月15日(金)	聖学院大学 テーマ：教務システム② ～履修登録開始までの準備～ ①事例紹介：履修登録開始までの準備 ー聖学院大学の場合ー 聖学院大学 教育支援部 教務課長代行 森 氏 ②ソリューション紹介：大学氏向け授業支援システム「CoursePower」ご紹介 富士通(株) 文教ソリューション事業本部 ソリューション推進部 酒井 氏 ③討議：履修登録開始までの適正な期間、プロセスとは ④施設見学	52 名
4	8月24日(水) ～26日(金)	信州松代ロイヤルホテル テーマ：学生の積極性を育むための職員の取組み ～学生の声を聴く～ ①ワールドカフェセミナー ダイナミクス・オブ・ダイアログLLP 坂本 氏 ・自己紹介 ・ワールド・カフェとは？ ・実施する上でのコツ ・事例 ・進め方 ・20分×4ラウンド ・振り返り ②討議	25 名
5	10月20日(木) ～21日(金)	関西大学、関西国際大学 テーマ：学習ポートフォリオ ①事例紹介：全学トータルシステムの概要とeポートフォリオの現状 関西大学 ITセンター次長 得永 氏 ②討議：学習ポートフォリオを運用する目的とは① ③事例紹介：関西国際大学における Eポートフォリオの活用事例 教育理念とその具現化を目指して 関西国際大学 評価室長・学長補佐 人間科学部 経営学科 教授 藤木 氏 ④討議：学習ポートフォリオを運用する目的とは② ⑤施設紹介と見学 ⑥オブションプログラム：(株)内田洋行 フューチャークラスルーム見学	56 名
6	12月2日(金)	東京工科大学 蒲田キャンパス テーマ：教室情報設備の管理と運用 ①事例紹介：教室情報設備の管理と運用 (株)内田洋行 ②討議 テーマ1「教室情報設備を適切に管理し、より効果的な運用をするための方策とは」 テーマ2「危機管理と事業継続ー震災後の対応に関して」 テーマ3「今年度の振り返りと次年度活動に向けて」 ③報告：第7回海外セミナー「フィンランド教育事情視察」実施報告 ④施設見学	33 名

参加人数計 258 名

(3) 第三分科会

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等	参加人数
1	5月26日(木)	工学院大学 新宿キャンパス テーマ：最新システム事例紹介1 ①紹介：共同利用コンピュータシステムの紹介 ～バーチャルカフェテリア環境～ 工学院大学 情報システム部情報システム課 高橋 氏 ②紹介：大学様向け災害対策ソリューション ～学内ICTインフラの全体最適化に向けて～ 富士通(株) マネージャー 鈴木 氏 ③意見交換 ④施設見学	32 名
2	7月7日(木)	日本マイクロソフト株式会社 テーマ：最新システム事例紹介2 ①事例紹介：クラウド時代のBCP(事業継続計画) ソリューション 日本マイクロソフト(株) パブリックセンター ソリューションビジネス本部 インタストリーソリューション部 クラウド・アーキテクト 加藤 氏 ②施設見学 ③意見交換	31 名
3	8月24日(水) ～26日(金)	信州松代ロイヤルホテル テーマ：最新技術の実践演習 ①実習：システム構築編 クラウドサービスによる環境構築 リソース設計、 サーバー構築 (オンデマンドによるWindows, Linuxサーバー構築) ②講義：クラウドサービス概要 実習環境を交えて利用・構築ノウハウを学ぶ ③実習：システム運用編1 リソースを追加 CPU、メモリ、ストレージなど、機能追加 ④実習：システム運用編2 サーバー・アプリの設定(Webサーバー設定と公開) ⑤動作検証(評価)：クラウド環境で構築したサービスをPC、携帯、スマートフォン などいろいろな端末から利用してみる。 ⑥体験：「Office365」サービス概要と体験学習	27 名
4	10月13日(木) ～14日(金)	北陸先端科学技術大学院大学、株式会社富士通 ITプロダクツ テーマ：最新システム事例紹介3 ①事例紹介：全学プライベート・クラウド環境の実現 北陸先端科学技術大学院大学 情報社会基盤研究センター 准教授 敷田 氏 ②意見交換 ③施設見学 ④ご紹介：会社概要、生産革新活動の取り組み等のご説明 ⑤工場見学	27 名
5	12月9日(金)	関東学院大学 テーマ：最新システム事例紹介4 ①講演：OliveNet 仮想基幹サーバ群等更改事業について 関東学院大学 情報科学センター運用課 課長 齋藤 氏、課長補佐 小糸 氏 ②ソリューション紹介：大学向け統合ID管理パッケージ 「UnifIDone(ユニファイドワン)」 富士通(株) ③意見交換会 ④報告：第7回海外セミナー「フィンランド教育事情視察」実施報告 ⑤施設紹介と見学	36 名

参加人数計 153 名

■第三分科会は、2011年度活動において、ユニーク企画 優秀賞を受賞しております。

(4) 第四分科会

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等	参加人数
1	5月27日(金)	<p>明治大学</p> <p>テーマ：学生とつながる1</p> <p>①施設見学：明治大学博物館見学</p> <p>②連続技術講座1：WebAPIとは（WebAPIの基本的な仕組みなど） 富士通(株) 芦田氏</p> <p>③事例紹介：図書館に関する学生アンケート調査報告について 関東学院大学 小山氏 東海大学 三橋氏 東京都市大学 靱江氏</p> <p>④グループ討議：学生目線の図書館サービスについて (学生アンケート調査を踏まえて)</p>	36名
2	7月21日(木)	<p>嘉悦大学</p> <p>テーマ：学生とつながる2</p> <p>①事例紹介：働ける大学で働く 嘉悦大学 情報メディアセンター 図書 グループ長 山田氏</p> <p>②事例紹介：富士通からの新しいご提案 -大学図書館におけるフィールド・イノベーション事例- 富士通(株) フィールド・イノベーション本部 稲葉氏、井出氏</p> <p>③意見交換会</p> <p>④施設見学</p>	27名
3	8月24日(水) ～26日(金)	<p>信州松代ロイヤルホテル</p> <p>テーマ：Webサービスでつながる</p> <p>①実習：twitter体験</p> <p>②検証：iLiswave-J/利用者サービス使いたい放題</p> <p>③報告：パッケージ言いたい放題</p> <p>④実習：WebAPIを使ったWebページ作り Part1. 基礎講座「WebAPI」とは？ Part2. 実習「WebAPIを使って連携プログラムを作ってみよう」</p> <p>⑤まとめ</p>	15名
4	11月11日(金)	<p>[第一部]パシフィコ横浜、 [第二部]富士通 神奈川支社</p> <p>第一部</p> <p>①講演：一常に情報発信し続ける図書館であるためにー SaaS型図書館ポータル「Ufinity」 三重県立図書館 中川氏、井戸本氏 東京都市大学 靱江氏</p> <p>②見学：第13回図書館総合展見学</p> <p>第二部</p> <p>③事例報告：iLiswave-J/V2利用者サービスの裏側 リプレース言いたい放題・予告編 中部大学 長縄氏</p> <p>④紹介：電子リソース時代における富士通の取り組み(ダイジェスト)</p>	38名
5	12月2日(金)	<p>東京都市大学</p> <p>①導入事例紹介：人と本、人と情報をつなぐユビキタスライブラリのご紹介 ～武蔵野美術大学美術館・図書館の事例から～ (株)内田洋行 教育ICT・環境ソリューション事業部 ユビキタスライブラリ部 課長 坂東氏 マーケティング本部事業開発室 課長 田中氏</p> <p>②導入事例紹介：武蔵大学図書館氏導入事例報告 ～学内共通プラットフォーム利用による～ 富士通(株) 文教ソリューション事業本部 第二ソリューション統括部 第三ソリューション部</p> <p>③報告：第7回海外セミナー「フィンランド教育事情視察」実施報告</p> <p>④グループ討議 テーマ：みんなつながる(事前課題を中心に)(最終回恒例課題付き)</p> <p>⑤紹介：大学図書館パッケージ「iLiswave-J」最新情報 富士通(株) 文教ソリューション事業本部 第二ソリューション統括部 第一ソリューション部 芦田氏</p> <p>⑥図書館見学</p>	32名

参加人数計 148名

(5) 第五分科会

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等	参加人数
1	6月24日(金) ～6月25日(土)	富士通 富士フォーラム テーマ：大学におけるIR (Institutional Research) とは何か ①今年度活動について ②講演：米国におけるIR概念と日本型教学IRの可能性 同志社大学 高等教育・学生研究センター長 山田 氏 ③ワールドカフェ：ラウンド1：教員からみた大学のIRとは ④講演：IRという2文字の重み ～職員として何が出来るのか～ 甲南大学 情報教育研究センター事務室 課長 深堀 氏 ⑤ワールドカフェ：ラウンド2：職員からみた大学のIRとは ⑥講演：企業からみた大学IRとは？ NPO人材育成マネジメント研究会 理事 中川 氏 ⑦ワールドカフェ：セッション3：企業（採用担当者）からみた大学のIRとは ⑧ワールドカフェ： ・前日のセッション1・2・3を受けて大学のIRを総合的に考える ・ラウンド1 ・ラウンド2 ・ラウンド3 ・テーブル報告	27 名
2	11月18日(金)	富士通 関西システムラボラトリ テーマ：大学におけるIRとは ①講演：我が国におけるIRの基盤づくりに向けて 名城大学 経営本部総合政策部 難波 氏 ②パネルディスカッション：大学におけるIRシステムの構築と運用の実態 パネリスト 大阪府立大学 副学長 高等教育推進機構長 高橋 氏 甲南大学 入試事務室 課長 深堀 氏 名城大学 経営本部総合政策部 課長 難波 氏 立命館大学 教学部 教育開発支援課 青山 氏 コーディネーター 芝浦工業大学 入試・広報部 部長 山崎 氏	71 名

参加人数計 98 名

(6) 総会

開催日	場所・内容等	参加人数
6月3日(金)	富士通 本社事務所 ①総会議事 ②特別講演：スーパーコンピュータとは何か、 そして次世代スーパーコンピュー 「京(けい)」で何ができるようになるか？ 独立行政法人 理化学研究所 情報基盤センター長 姫野 氏	97 名

(7) 合同研修会

開催日	場所・内容等	参加人数
8月24日(水) ～25日(金)	信州松代ロイヤルホテル ①特別講演：「はやぶさ」と日本の矜持 宇宙航空研究開発機構(JAXA) 名誉教授 的川 氏 ②グループ別ミーティング： テーマ「震災に対して大学が為すべきこと」 ③賛助会員からのソリューション紹介 ④分科会活動 ⑤危機管理ワークショップ (株) 富士通総研	154 名

(8) トピックス企画

開催日	場所・内容等	参加人数
管理職セミナー 6月10日(金)	明治大学 紫紺館 ①「ワールド・カフェ活用講座」 (1)講義 ・ワールド・カフェとは ～その概要と成り立ち～ ・ワールド・カフェを活かす場のつくり方・進め方 ・ワールド・カフェの活用事例 - 「事業部長が感激した！」 - 「学生がイキイキと活動した！」 ・ファシリテーションのポイント (2)実習 ・ワールド・カフェ体験演習 ・振り返り	23 名
技術講習会 11月30日(水)	富士通トラステッド・クラウド・スクエア ①「PowerPoint活用講座 ～魅力的な資料づくりのコツを身に着ける～」 富士通エフ・オー・エム(株) (1)プレゼンテーションの基本 (2)訴求力のあるスライド作成の基本 (3)紙面デザインの基本 (4)スライドのカスタマイズ (5)オートデモの作成 (6)マルチメディアの活用 (7)ほかのアプリケーションとの連携 (8)便利な機能	24 名

(9) 第7回海外セミナー

海外セミナー 9月5日(月) ～11日(日)	訪問国：フィンランド共和国 ・フィンランド教育システムレクチャー ・セッロ図書館(SELLON KIRJASTO) ・ヘルシンキ大学(University of Helsinki) ・エフセキュア社本社(F-Secure Oy) ・クオッパヌンミ総合学校(KUOPPANUMMEN KOULUKESKUS) ・アールト大学(Aalto University School of Science and Technology) ・職業学校オムニア(OMNIA)	20 名
------------------------------	--	------

2012年度活動実績

大学名は、開催時点での大学名を記載しております。

(1) 第一分科会

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等	参加人数
1	5月17日(木)	株式会社内田洋行 東京 ユビキタス協創広場 CANVAS (カンバス) テーマ：リメディアル教育と日本語、ICT活用事例 ①講演：リメディアル教育における日本語力とコミュニケーション能力の重要性 福岡大学・昭和大学 客員教授 小野 氏 ②意見交換会(ワールド・カフェ) テーマ：「日本語力って何だろう」 ③紹介：大学生が“その気”になる学生主体型の空間造り パワープレイス(株) 濱村 氏 ④施設見学	29 名
2	6月29日(金)	津田塾大学 小平キャンパス テーマ：リメディアル教育と日本語、ICT活用事例 ①講演：津田塾大学ライティングセンターの取組ー創設から今日まで 津田塾大学 ライティングセンター センター長 高橋 氏 ②賛助会員によるソリューション紹介：Cラーニング (株)ディスコ ヒューマンキャピタルカンパニー 教育ネットワークグループ グループ長 本間 氏 ③意見交換(ワールド・カフェ) テーマ：「伝えることば 伝わることば」 ④施設見学	31 名
3	8月29日(水) ～31日(金)	信州松代ロイヤルホテル テーマ：学生支援、ワークショップ ①講演：日本語表現法開発プロジェクト 青山学院大学 社会情報学部 教授 稲積 氏 ②講演：eラーニングを利用した文章表現授業 早稲田大学 オープン教育センター 助手 富永 氏 ③ワークショップ：日本語表現開発プロジェクト教育支援ツール実機体験 青山学院大学 社会情報学部 教授 稲積 氏 早稲田大学 オープン教育センター 助手 富永 氏 ④意見交換(ワールド・カフェ) テーマ：「自立した書き手とは」	26 名
4	10月4日(木) ～5日(金)	千歳科学技術大学、酪農学園大学 テーマ：リメディアル教育、eポートフォリオ ①講演：学士力養成に向けたICTを活用した共通基盤教育支援の取組 千歳科学技術大学 グローバルシステムデザイン学科 教授 小松川 氏 ②e-learningの体験(コンテンツの体験) ③e-learning教材製作に係わる学生諸氏の体験談紹介 ④意見交換会 ⑤施設見学 ⑥講演：eポートフォリオ(Mahara)を活用した学習力向上の取り組み 酪農学園大学 獣医学群 獣医学類 教授 遠藤 氏 ⑦eポートフォリオ体験 ⑧実例報告 酪農学園大学 獣医学群 獣医学類 獣医解剖学ユニット 教授 平賀 氏 ⑨意見交換会 ⑩施設見学	42 名
5	12月18日(火)	清泉女子大学 本館 テーマ：日本語表現法 ①講演：初年次日本語表現法科目のレポート作成プロセスへのピア・ラーニング の取り入れ 東京海洋大学 海洋科学部 海洋政策文化学科 准教授 大島 氏 ②ワークショップ：レポート作成プロセスでの協働推敲の模擬課題 東京海洋大学 海洋科学部 海洋政策文化学科 准教授 大島 氏 ③学生による体験談 ④賛助会員によるご紹介：大学生がつまずく日本語の問い ～2012年度第1回「Z会国語力検定」受検結果より (株)ファカルタス マネージャー 瀬戸 氏 ⑤賛助会員によるご紹介：双方向コミュニケーションシステム『PIInT』 (株)富士通マーケティング 河野 氏 ⑥意見交換会 ⑦施設見学	33 名

参加人数計 161 名

■第一分科会は、2012年度活動において、ユニーク企画 最優秀賞を受賞しております。

(2) 第二分科会

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等	参加人数
1	5月11日(金)	富士通 本社事務所 テーマ：ワールド・カフェの体験 ①討議（ワールド・カフェ形式） テーマ：「就職に強い学生を生み出すための職員の役割とは」 ②賛助会員によるソリューション紹介：タブレットPC活用授業支援システム AdvantageClassFS (株)インフィニテック 営業部 部長 西山 氏 ③賛助会員によるソリューション紹介：Dynamics CRM 日本マイクロソフト(株) クラウド&ソリューションビジネス統括本部 ビジネスアプリケーション営業本部 Dynamicsグループ ソリューションスペシャリスト 松原 氏 ④賛助会員によるソリューション紹介：教務データ自由活用ツール「DBplayer」 (株)富士通アドバンスソリューションズ 担当課長 大崎 氏	47 名
2	6月21日(木)	帝京大学 宇都宮キャンパス テーマ：LMSを有効活用するための学生を巻き込んだ支援体制 ①事例紹介：LMSを有効活用するための学生を巻き込んだ支援体制 帝京大学 ラーニングテクノロジー開発室 室長 渡辺 氏 ②討議（ワールド・カフェ形式） テーマ：「LMSの有効活用に必要な支援内容と支援体制とは」 ③施設紹介と見学	43 名
3	8月29日(水) ～31日(金)	信州松代ロイヤルホテル テーマ：スマートフォンおよびタブレットPC活用演習 ①講義：スマートフォンを学ぶ！～基礎講座編～ 富士通(株) モバイルフォン事業本部 森屋 氏 ②実習1：スマートフォンを体験する！～タッチ&トライ実践編～ ③実習2：Cラーニングを体験する！～双方向授業体験編～ (株)ネットマン 代表取締役 永谷 氏 ④ワークショップ テーマ：「スマートフォンを活用した大学での学生サービス」 ・ワールド・カフェ ・中間発表（各グループ・テーマ決定） ・グループ討議 ・各グループ発表（まとめ）	37 名
4	10月12日(金)	関東学院大学 金沢八景キャンパス テーマ：タブレットPCを活用した学生サービス ①事例紹介：関東学院大学情報科学センターにおける教育支援の取り組みについて 関東学院大学 情報科学センター運用課 課長 小糸 氏 ②講演：法学部教育におけるBeeDance活用の可能性 ―― 判例や法理の理解を補助する手段として ―― 関東学院大学 法学部法学科 准教授 武藤 氏 ③タッチ&トライ（iPadを活用したアンケート） ④討議（ワールド・カフェ形式） テーマ：「大学におけるデジタルとアナログの共存を考える」 ⑤施設紹介と見学	45 名
5	11月15日(木) ～16日(金)	東北学院大学 土樋キャンパス、石巻専修大学 テーマ：リスク管理とボランティア ①事例紹介：被災地域における大学の復興支援取り組み 事例紹介 東北学院大学 学長室事務課 其田 氏 ②施設紹介と見学 ③討議（ワールド・カフェ形式） テーマ：「今後の学生ボランティアとは」 ④事例紹介：東日本大震災への対応 石巻専修大学 学長・理工学部教授 坂田 氏 ⑤施設紹介と見学	42 名
6	12月11日(火)	東京電機大学 東京千住キャンパス テーマ：大学に求められている責任 ～自己点検、情報公開、各種調査、IR…～ ①事例紹介：全学クラウド化と次世代情報インフラの構築 ～未来形都市型キャンパスにおける取り組み～ 東京電機大学総合メディアセンター 企画・推進担当/運用(千住)担当 課長 高橋 氏 ②施設紹介と見学 ③ソリューション紹介：Campusmate-J V3.3（2013年1月に発売予定）の先行ご紹介 富士通(株) ビジネス推進本部 文教ソリューション推進部 村上 氏 ④討議： テーマ：「使いまわしの利く」大学情報（データ）の管理方法とは？	46 名

参加人数計 260 名

(3) 第三分科会

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等	参加人数
1	6月1日(金)	聖学院大学 テーマ：最新システム事例紹介1 ①事例紹介：大学無線LAN(SWAN)構築におけるPDCA 聖学院大学 総務部 情報推進課 清水 氏 ②施設見学 ③意見交換会 ④賛助会員からのソリューション紹介：IT Policy N@vi(アイティーポリシーナビ) (株)富士通システムズ・ウエスト 運用管理ソリューション事業部 戦略企画部 プロジェクト課長 佐川 氏 ⑤賛助会員からのソリューション紹介： Webシステムの性能・負荷テストツール「APTest負荷テスト」 Webシステムのリグレーションテストツール「APTestリグレーションテスト」 (株)富士通アドバンスドソリューションズ 第四ソリューション事業部 第三ソリューション統括部 第一ソリューション部 井上 氏	39 名
2	7月20日(金)	千葉工業大学 芝園キャンパス テーマ：最新システム事例紹介2 ①事例紹介：富士通データセンターを利用したクラウド型演習室の構築 千葉工業大学 情報科学部 情報ネットワーク学科 教授 中村 氏 ②施設紹介と見学(芝園キャンパス) ③意見交換会 ④賛助会員氏からのソリューション紹介：キャンパス向けセキュリティ製品の紹介 エフセキュア(株) コーポレート営業本部 担当部長 長澤 氏 ⑤施設紹介と見学(津田沼キャンパス)	42 名
3	8月29日(水) ～31日(金)	信州松代ロイヤルホテル テーマ：最新技術の実践演習 ①紹介：次期OS Windows Server 2012の紹介 ・デモ環境を交え、機能、特徴、ライセンス等の紹介実施 協力：日本マイクロソフト(株) 富士通(株) ②紹介：次期OS Windows 8の紹介 ・機能、特徴、ライセンス等の紹介実施 協力：日本マイクロソフト(株) 富士通(株) ③Windows 8の実機体験 ④グループ討議と発表 ⑤意見交換会	30 名
4	10月4日(木) ～5日(金)	同志社大学 今出川キャンパス、理化学研究所計算科学研究機構 テーマ：最新システム事例紹介3 ①システム構築事例紹介：統合運用管理システムによる運用管理の高度化・効率化 同志社大学 企画部 企画室 情報企画課 情報開発係長 佐々木氏 ②施設紹介と見学 ③意見交換会 ④紹介：スーパーコンピュータ「京」の利活用 理化学研究所 計算科学研究機構 コーディネーター 伊藤 氏 ⑤施設紹介と見学	30 名
5	12月7日(金)	東京電機大学 東京千住キャンパス テーマ：最新システム事例紹介4 ①システム構築事例紹介：全学クラウド化と次世代情報インフラの構築 ～未来形都市型キャンパスにおける取り組み～ 東京電機大学総合メディアセンター 企画・推進担当/運用(千住)担当 課長 高橋 氏 ②「パッケージを活用したシステムのご紹介」 富士通(株) ヘルスケア・文教システム事業本部 文教第一ソリューション統括部 第一ソリューション部 木村 氏 ③施設紹介と見学 ④紹介：大学向けSINET接続ソリューション 富士通(株) ビジネス推進本部 文教ソリューション推進部 佐藤 氏 ⑤意見交換会	52 名

参加人数計 193 名

(4) 第四分科会

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等	参加人数
1	5月18日(金)	日本体育大学 東京・世田谷キャンパス テーマ：イマドキのソーシャルメディア ①技術情報基礎講座：イマドキのソーシャルメディアについて ビーンスター(株) 代表取締役 鶴野 氏 ②紹介：MultiSeat Computingの導入事例 日本体育大学 法人事務局 総合企画・システム室 システム課 荒井 氏 ③紹介：MultiSeat Computing製品紹介 日本ビューレットパッカード(株) PSG事業統括 DS0本部 RCS市場開発部 深沢 氏 PSG事業統括 コマーシャル営業統括第一営業部 後藤 氏 ④施設紹介と見学 ⑤紹介：iLiswave-J パッケージ最新情報 富士通(株) 文教ソリューション事業本部 次世代教育ソリューション統括部 ソリューション開発部 前 氏 ⑥意見交換会	44 名
2	7月17日(火)	東京電機大学 東京千住キャンパス テーマ：イマドキのソーシャルメディア2 ①技術情報基礎講座2：大学図書館におけるソーシャルメディア活用 ビーンスター(株) 代表取締役 鶴野 氏 ②システム構築事例紹介：全学クラウド化と次世代情報インフラの構築 ～未来形都市型キャンパスにおける図書館の取り組み～ 東京電機大学 総合メディアセンター 企画・推進担当／運用(千住)担当 課長 高橋 氏 ③システム構築事例紹介：東京電機大学氏 新図書館システム導入事例のご紹介 富士通(株) ヘルスケア・文教システム事業本部 文教第二ソリューション統括部 第二ソリューション部 安藤 氏、鈴木 氏 ④施設紹介と見学	72 名
3	8月29日(水) ～31日(金)	信州松代ロイヤルホテル テーマ：テーマ：ソーシャルメディアを体験する ①講義：スマートフォンを学ぶ！～基礎講座編～ 富士通(株) モバイルフォン事業本部 森屋 氏 ②実習：スマートフォンを体験する！～タッチ&トライ実践編～ ③検証：スマホ版OPAC使いたい放題 ④実習：Facebookはじめの一歩 ⑤検証：iLiswave-J/V3 次世代OPAC使いたい放題	19 名
4	10月19日(金)	明治大学 和泉キャンパス 和泉図書館 テーマ：ソーシャルメディアを活用する ①和泉キャンパス新図書館の紹介と見学 明治大学 和泉図書館事務長 坂口 氏 ②事例紹介：OPACの活用事例 明治大学 学術社会・連携部 図書館総務事務室 梅田 氏 ③紹介：電子リソース連携への弊社取り組み 富士通(株) ヘルスケア・文教システム事業本部 文教第二ソリューション統括部 第二ソリューション部 松永 氏 ④技術情報基礎講座：企業におけるソーシャルメディア活用法 富士通アプリコ(株) デザインプロダクトソリューション部 HCD-Net認定 人間中心設計専門家 阿形 氏 ⑤意見交換会	45 名

(4) 第四分科会

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等	参加人数
5	12月7日(金)	<p>東京医科歯科大学 湯島キャンパス</p> <p>テーマ：年末恒例「言いたい放題」</p> <p>①事例紹介：東京医科歯科大学図書館について 東京医科歯科大学 図書館情報メディア機構 図書館メディア推進部 図書館メディア推進課 専門員 五百部 氏</p> <p>②事例紹介：自動書庫について (株)岡村製作所 マーケティング本部 パブリック製品部 文化施設担当 今井 氏</p> <p>③事例紹介：図書館におけるRFIDの技術動向 住友スリーエム(株) SSPS製品技術部 シニアエンジニア 多ヶ谷 氏</p> <p>④事例紹介：東京医科歯科大学氏 図書館システムご紹介 富士通(株) ヘルスケア・文教システム事業本部 文教第二ソリューション統括部 第二ソリューション部 岩崎 氏</p> <p>⑤施設紹介と見学</p> <p>⑥技術情報基礎講座：オープンアクセス時代の到来に向けて図書館はどう 立ち向かうべきか？～ソーシャルメディアや文献管理ツールの 活用から見えてくるもの～ 国立情報学研究所 学術基盤推進部 学術コンテンツ課 コンテンツシステム開発室 特任技術専門員 田邊 氏</p> <p>⑦パッケージ最新情報：言いたい放題一次回答とiLiswave-Jエンハンス情報 富士通(株) ヘルスケア・文教システム事業本部 次世代教育ソリューション統括部 ソリューション開発部 芦田 氏</p> <p>⑧意見交換会・発表・まとめ</p>	48 名

参加人数計 228 名

(5) 第五分科会

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等	参加人数
1	6月22日(金) ～23日(土)	<p>時之栖(ときのすみか) (静岡県御殿場市)</p> <p>テーマ：SNSとは何か。</p> <p>①講演：ソーシャルメディアの基本 ビーンスター(株) 代表取締役 鶴野 氏</p> <p>②活用事例1：入学案内/学校PR</p> <p>③グループディスカッション(事例からの気づき)</p> <p>④活用事例2：学生生活(離学者対策、リメディアル)</p> <p>⑤グループディスカッション(事例からの気づき)</p> <p>⑥活用事例3：就職活動</p> <p>⑦グループディスカッション(事例からの気づき)</p> <p>⑧討議(ワールド・カフェ形式) テーマ：「大学でSNSをどう使う？」</p> <p>⑨発表</p>	32 名
2	10月19日(金)	<p>MSAT(名城大学 名古屋駅前サテライト施設)</p> <p>テーマ：大学でのSNSの利用実態とその安全な運用管理について</p> <p>①事例紹介：大学のSNSを利用した広報戦略 ～実践を通して～ 聖学院大学 広報局長 山下 氏</p> <p>②事例紹介：芝浦工業大学における公式ソーシャルメディアの運用 芝浦工業大学 経営企画部 企画広報課 羽田 氏</p> <p>③グループ演習：Facebookを中心にソーシャルメディアを用いた大学公式ページの 立ち上げ総括責任者に任命されたら？</p>	37 名

参加人数計 69 名

(6) 第六分科会

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等	参加人数
1	7月12日(木)	甲南大学 CUBE西宮 テーマ：先進的な取り組み事例(学生参加)を学ぶ ①施設見学 ②講演(質疑応答含む)：ソーシャルメディアを活用した授業実践 ーFacebookを活用した授業ー 甲南大学 マネジメント創造学部教授 井上 氏 ③意見交換会 テーマ：第六分科会に何を期待するか	72 名
2	11月1日(木)	関西大学 高槻ミュージックキャンパス テーマ：教育に関するデータ蓄積と活用 ①講演：いかに私たちの学生を知り抜くのか ー山形大学エンrollment・マネジメント部の真のIRへの挑戦ー 山形大学 エンrollment・マネジメント部 教授 福島 氏 ②講演(質疑応答含む)：教育の質保証を目指して～富士通Azureによる学習成果の蓄積 関西大学 ITセンター次長 得永 氏 ③講演：初等教育におけるeポートフォリオの活用 関西大学 初等部教諭 田邊 氏 ④施設見学	134 名
2	12月13日(木)	立命館大学 衣笠キャンパス テーマ：ICTを利用した教育モデル実践についての考察 ①事例紹介：大学におけるプライベートクラウド導入効果と今後の期待について 立命館大学 情報システム部 (株)クレオテック 執行役員ICTソリューション部 部長 柴田 氏 ②製品紹介：Cloud Ready Blocks 富士通(株) プラットフォーム技術本部クラウドインフラセンター マネージャー 佐藤 氏 ③学生によるパネルディスカッション(フロアからの課題の投げかけ含む)： 次世代のICT環境を活用した教育モデルを探求 ー私たち学生は、大学のICT活用授業にこんなことを期待しています。ー ④施設見学 ⑤意見交換会	68 名

参加人数計 274 名

■第六分科会は、2012年度活動において、ユニーク企画 優秀賞を受賞しております。

(7) 総会

開催日	場所・内容等	参加人数
6月8日(金)	富士通 本社事務所 ①総会議事 ②特別講演：日米のディズニーで教わった感動のサービス (有) 加賀屋感動ストアーマネージメント 代表取締役 加賀屋 氏	102 名

(8) 合同研修会

開催日	場所・内容等	参加人数
8月29日(水) ～31日(金)	信州松代ロイヤルホテル ①特別講演：タイトル：大学におけるソーシャルメディアの活用と事例 ビーンスター(株) 代表取締役 鶴野 氏 ②グループ別ミーティング：テーマ『ソーシャルメディアと大学』 ③賛助会員からのソリューション紹介 ④分科会活動 ⑤トラブルシューティング演習： ビーンスター(株) 代表取締役 鶴野 氏	191 名

(9) トピックス企画

開催日	場所・内容等	参加人数
最新技術セミナー 3月14日(木)	独立行政法人海洋研究開発機構 ①講演：南海トラフ巨大地震・大津波研究と対策 ーリアルタイムモニタリングと先端シミュレーションー 独立行政法人海洋研究開発機構 地震津波・防災研究プロジェクト プロジェクトリーダー 金田 氏 ②施設紹介と見学(独立行政法人海洋研究開発機構 横浜研究所) ・地球シミュレータ ・地球情報館 ・水圧実験 ③施設紹介と見学(独立行政法人海洋研究開発機構 横須賀本部) ・展示ロビー、高圧実験水槽、無人探査機、船舶	35 名
技術講習会 10月29日(月)	富士通 トラステッド・クラウド・スクエア ①『業務効率化のためのExcel活用講座』 富士通エフ・オー・エム(株) (1)関数の基礎知識 ー関数とは ー関数の活用 ー計算式やエラーの原因を調査する (2)Excelの分析機能を知ろう ーExcelデータ分析方法 ーリスト加工 ーグラフの活用 ー複数ブックの操作 ーピボットテーブルとピボットグラフ ーマクロの作成 ー便利な機能	28 名
技術講習会 11月30日(月)	富士通 関西システムラボラトリ ①『業務効率化のためのExcel活用講座』 富士通エフ・オー・エム(株) (1)関数の基礎知識 ー関数とは ー関数の活用 ー計算式やエラーの原因を調査する (2)Excelの分析機能を知ろう ーExcelデータ分析方法 ーリスト加工 ーグラフの活用 ー複数ブックの操作 ーピボットテーブルとピボットグラフ ーマクロの作成 ー便利な機能	13 名

2013年度活動実績

大学名は、開催時点での大学名を記載しております。

(1) 第一分科会

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等	参加人数
1	4月26日(金)	法政大学 小金井キャンパス テーマ：ICTの力を活かす！(CMS, eポートフォリオ, 剽窃検知システム) ①講演：授業支援システムを中心としたITを活用した教育の現状と課題 法政大学 情報メディア教育研究センター 教授 常盤 氏 ②講演：ePortfolio全学展開への序章～ゼミ募集システムの開発 法政大学 情報メディア教育研究センター 助手 宮崎 氏 ③意見交換会 ④施設見学：GBC(Glass Box Office Hour Center) 電子透かしを活用したシステム他	32 名
2	6月14日(金)	中央大学 後楽園キャンパス テーマ：グローバルに力を活かす！(大学の国際化, グローバル人材育成推進) ①講演：科学的グローバル教育モデルとしてのコンピテンシー育成 中央大学 理工学部長補佐・教授 博士(工学) 牧野 氏 ②意見交換会 ③施設見学：(CAVE [立体視表示システム]、空中庭園ほか)	24 名
3	8月29日(木) ～30日(金)	浜名湖ロイヤルホテル テーマ：教職員の力を活かす！(FD, SD, 教育サービスの向上, 学生支援体制) 午前の部 ①講演：大同大学のFDの取り組み 大同大学 授業開発センター センター長 教授 酒井 氏 ②意見交換会 午後の部 テーマ：SD (第一・第二分科会による夢のコラボレーション企画！) ③講演：名城大学におけるSD戦略 ― 時代が求める新しい人材とは ― 名城大学 大学・学校づくり研究科 池田 氏 ④討議：大学職員は、どんな役割を果たすために、何をどう学んで実践していくか？ (グループ討議形式)	18 名
4	10月17日(木) ～18日(金)	久留米大学 御井キャンパス、久留米市立南筑高等学校 テーマ：学生の力を活かす！ 協同学習 ①演とワークショップ：活動性を高める授業づくり ― 協同教育のすすめ ― 久留米大学 大学院心理科学研究科・文学部 教授 安永 氏 ②意見交換会 ③視察：協同学習を活用した実践現場「授業」 ④意見交換会	22 名
5	12月8日(水)	日本近代文学館、東京大学 駒場キャンパス、青山学院大学 青山キャンパス テーマ：施設設備を活かす！ ― 最新教育環境の活用と整備 ― 第1部(日本近代文学館、東京大学) ①講演：アクティブラーニングのための学習環境と実施支援 東京大学 教養学部 附属教養教育高度化機構 アクティブラーニング部門 駒場アクティブラーニングスタジオ(KALS) 特任助教 中澤 氏 ②施設見学：駒場アクティブラーニングスタジオ(KALS) 第2部(東京大学) ③講演：青山学院大学におけるICTを活用した教育学習支援に関する戦略 ― 情報メディアセンターの設立と今後の展開 ― 青山学院大学 付属情報メディアセンター 所長・社会情報学部教授 宮川氏 ④意見交換会 ⑤施設見学	37 名

参加人数計 133 名

(2) 第二分科会

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等	参加人数
1	5月24日(金)	慶應義塾大学 湘南藤沢キャンパス テーマ：業務改善の主役になるためには ①基調講演：Cost, Quality, Access 慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 環境情報学部 准教授 森川 氏 ②討議：業務改善はなぜできないか？(ワールド・カフェ形式) ③施設見学と紹介：メディアセンター、ITC、特別教室	47 名
2	6月27日(木) ～28日(金)	熊本大学 黒髪キャンパス、東海大学 阿蘇校舎 テーマ：GPを支える職員の力 ①事例紹介：ICTによる教育支援の取り組みと組織及びシステム連携について 熊本大学 総合教育基盤センター長 中野 氏 ICTによる教育支援における事務組織の役割とその取り組み事例の紹介 熊本大学 運営基盤管理部 情報ユニット 河津 氏 ②施設見学：eラーニング推進機構、五高記念館 ③討議：学生のための教育支援って？(ワールドカフェ形式) ④事例紹介：黒川学生村の活性化と地域貢献活動の実践 ～地域と大学をつなぐ職員の役割～ 東海大学 九州学部阿蘇教学課 課長補佐 高橋 氏 ⑤施設見学と紹介：農学教育実習場	48 名
3	8月29日(木) ～30日(金)	浜名湖ロイヤルホテル テーマ：職員の力を活かす！ 午前の部 テーマ：eポートフォリオ ～導入後の成果を検証する！～ ①講演：教育の質保証への挑戦とその後 ～金沢工業大学&関西大学の事例～ 関西大学 ITセンター 得永 氏 ②討議：あんなこといいな、できたらいいな♪(ワールドカフェ形式) 午後の部 テーマ：SD (第一・第二分科会による夢のコラボレーション企画！) ③講演：名城大学におけるSD戦略 ― 時代が求める新しい人材とは ― 名城大学 大学・学校づくり研究科 池田 氏 ④討議：大学職員は、どんな役割を果たすために、何をどう学んで実践していくか？ (グループ討議形式)	31 名
4	10月18日(金)	千葉工業大学 テーマ：タブレットを利用したペーパーレス化 ①事例紹介：iPadの導入とペーパーレス化 千葉工業大学 学生センター芝園教務課 課長補佐 高沼 氏 ②討議：あんなこといいな、できたらいいな2 あなたがこれからやりたい業務は何ですか？(ワールド・カフェ形式) ③施設見学：新習志野キャンパス及び津田沼キャンパス	53 名
5	12月10日(火)	清泉女子大学 テーマ：業務改善の主役になる！～実践的PDCAのまわし方～ ①事例紹介：ボトムアップ型業務改善の実践事例 清泉女子大学 情報環境センター センター長 可児 氏 ②紹介：Campusmate-J/出席 V3 富士通株式会社 次世代教育ソリューション統括部 ソリューション推進部 橋本 氏 ③施設紹介と見学 ④紹介：フィールド・イノベーションと業務改善 富士通(株) フィールド・イノベーション本部 首藤 氏、井出 氏 ⑤紹介：第六分科会WGにおけるIRの取り組みについて 富士通(株) 文教第三ソリューション統括部 第一ソリューション部 荻野 氏 ⑥討議：大学の仕事において“変えない(変えてはいけない) こと・変えたい (変えなきやいけない) こと”(ワールド・カフェ形式)	44 名

参加人数計 223 名

(3) 第三分科会

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等	参加人数
1	5月31日(金)	シスコシステムズ合同会社 東京本社 テーマ：最新システム事例紹介1 ①講演：ビジュアルコミュニケーションの可能性と新しい教育スタイル シスコシステムズ(合) コラボレーションアーキテクチャ事業 テクノロジーセールス部 プロダクトセールススペシャリスト 森氏 コラボレーション営業部 プロダクトセールススペシャリスト 馬場氏 ②施設見学：シスココラボレーション体験会、シスコオフィス見学会 ③紹介：「フレッツ・VPNワイド」のご紹介 ～S大学様への導入事例～ 東日本電信電話(株) 神奈川支店 法人営業部 公共・教育営業部門 課長 平田氏、中津川氏 ④意見交換会	52名
2	7月19日(金)	国士舘大学 世田谷キャンパス テーマ：最新システム事例紹介2 ①講演：「国士舘=面倒見の良い学園」に向けた改革に関する取り組み 仮想デスクトップ環境等教育系システムの構築と運用 ー フィールドイノベーションは我慢の分配から ー 国士舘大学 図書館・情報メディアセンター 副センター長 運営委員会 情報環境部会長 法学部 教授 加藤氏 ②施設見学(A501教室、メイプルセンチュリーホール等) ③ソリューション紹介：教育機関のデータの共有化と最適な活用を支援する WEBファイル共有システム clbox のご紹介 (株) 富士通マーケティング 公共ソリューション統括部 大西氏 ④意見交換会	44名
3	8月29日(木) ～30日(金)	浜名湖ロイヤルホテル テーマ：仮想化基盤を活用した事務/教育研究システムのリプレイスを探る！ ～事例、演習、ディスカッションを交えて～ 午前の部 ①事務システムのリプレイス 1. 仮想基盤活用のポイント ・留意点 仮想化基盤の製品動向、Microsoft関連ライセンス体系紹介 ・活用事例 企業や大学での導入、活用について、事例紹介 午後の部 ②教育・研究系システムのリプレイス 富士通「キャンパスクラウド」の紹介(製品紹介、質疑応答、ディスカッション) ③事務、教研系システム全体を通じた留意点、事例紹介を参考に 各大学の取り組みや課題についてディスカッション ④全体まとめ	33名
4	10月24日(木) ～25日(金)	岐阜大学、名古屋大学 東山キャンパス テーマ：最新システム事例紹介3 ①システム構築事例紹介：岐阜大学の情報化の現状 ～ITビジョンと戦略～ 岐阜大学 総合情報メディアセンター センター長 加藤氏 ②システム構築事例紹介：キャンパス基幹情報システム概要および その後の運用状況 岐阜大学 学術国際部情報戦略課 技術専門職員 田中氏 ③施設見学 ④意見交換会 ⑤サテライトキャンパスの紹介と施設見学 ⑥システム構築事例紹介：名古屋大学の全国共同利用システムの運用・管理について 名古屋大学 情報連携統括本部 情報推進部情報基盤課 技術専門員 高橋氏 ⑦システム構築事例紹介：名古屋大学の情報メディア教育システムにおける 仮想デスクトップサービスについて 名古屋大学 情報連携統括本部 情報推進部情報基盤課 技術専門職員 松岡氏 ⑧施設紹介と見学 ⑨意見交換会	43名
5	12月6日(金)	明治大学 中野キャンパス テーマ：最新システム事例紹介4 ①講演：明治大学における情報基盤整備の課題 明治大学 情報基盤本部 部長 鎌田氏(理工学部教授) ②システム構築事例紹介：明治大学の情報システム概要 明治大学 情報メディア部生田メディア支援事務室 事務長 町田氏 ③技術紹介：ネットワーク仮想化/SDNについて - 当社の取り組み - 富士通(株) ネットワークサービス事業本部 ネットワークソリューションセンター ネットワークサービス技術部 部長 櫻井氏 ④施設紹介と見学 ⑤意見交換会	41名

参加人数計 213名

(4) 第四分科会

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等	参加人数
1	5月28日(火)	千葉大学 テーマ：アカデミックリンク/電子リソース管理 ①施設見学(質疑応答を含む) ②最新情報：ERDBプロジェクトとこれからの学術情報システム 国立情報学研究所 コンテンツシステム開発室長 准教授 大向 氏 ③事例紹介：フィールド・イノベーション ～大学図書館における利用者傾向分析について～ 富士通(株) フィールド・イノベーション本部 井出 氏 ④グループ討議	49 名
2	7月12日(金)	京都産業大学、同志社大学 今出川キャンパス テーマ：新しい図書館設備、ラーニング・コモンズ 第1部(京都産業大学) ①事例紹介：自動書庫の導入、システム設計、運用、その他問題点について 京都産業大学 図書館 情報サービス担当 山本 氏 ②事例紹介：iLiswave-J V2(V3) 自動書庫連携 機能のご紹介 富士通(株) ヘルスケア・文教システム事業本部 文教第二ソリューション統括部 第二ソリューション部 中村 氏 ③事例紹介：京都産業大学運用面のサポートについて 日本ファイリング株式会社 大阪支店 澤見 氏 ④図書館見学 ⑤技術紹介1：学位規則改正に伴う富士通の対応 富士通(株) ヘルスケア・文教システム事業本部 次世代教育ソリューション統括部 ソリューション開発部 芦田 氏 ⑥技術紹介2：学認とEzproxy による電子ジャーナルの利用について 富士通(株) ヘルスケア・文教システム事業本部 文教第二ソリューション統括部 マネージャー 荒井 氏 ⑦意見交換：学位規則改正・学認に関する情報交換会 第2部(同志社大学) ⑧同志社大学 ラーニング・コモンズ 自由見学	76 名
3	8月29日(木) ～30日(金)	浜名湖ロイヤルホテル テーマ：iLiswave-J でイノベーション ～大学図書館における継続的改善の実現～ [講師] 富士通(株) フィールド・イノベーション本部 貝谷 氏、井出 氏 午前の部 ①講義1：利用者傾向分析の事例・手法紹介 ②実習1：デモデータによる利用者傾向分析の実習 ③iLiswave-J 言いたい放題 午後の部 ④講義2：iLiswave-J/V3の新サービス紹介 ⑤実習2：フィールド・イノベーション活動における課題感知・施策立案の演習 ⑥討議とまとめ：図書館の今を見える化する ～図書館をイノベーションする第四分科会～	13 名
4	10月31日(木)	パシフィコ横浜 第15回図書館総合展 フォーラム会場、横浜ワールドポーターズ テーマ：最新技術動向 第1部(パシフィコ横浜) ①図書館総合展 フォーラム： (内容) 富士通図書館のコンセプト、利用者レビューとカーリル連携、 次世代OPACと外部連携、フィールド・イノベーションによるログ分析、 ソリューション最新情報 ②第15回図書館総合展自由見学 第2部(横浜ワールドポーターズ) ③紹介：iLiswave-J 新機能紹介(SP13) 富士通(株) ヘルスケア・文教システム事業本部 次世代教育ソリューション統括部 ソリューション開発部 芦田 氏 ④紹介：図書館における利用者行動の可視化技法と事例 富士通(株) フィールド・イノベーション本部 井出 氏、植村 氏 ⑤討議：最新技術の適用	29 名

(4) 第四分科会

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等	参加人数
5	12月6日(金)	帝京平成大学 中野キャンパス テーマ：これからの学術基盤 ①事例紹介：帝京平成大学図書館について 帝京平成大学 メディアライブラリーセンター 係長 深澤 氏 富士通(株) 文教第二ソリューション統括部 菊地 氏 ②施設紹介と見学 ③「言いたい放題」まとめ・技術紹介 富士通株式会社 次世代教育ソリューション統括部 芦田 氏 ④フィールド・イノベーション実践報告 ～アンケートから見えてくる学生の図書館利用意識傾向～ 東海大学付属図書館 中央図書館 係長 秋山 氏 神奈川大学図書館 総合サービス課長補佐 中村 氏 富士通(株) フィールド・イノベーション本部 竹腰 氏、井出 氏 ⑤「学位規則改正への対応」について(ミニ事例紹介、グループ討議)	44 名

参加人数計 211 名

■第四分科会は、2013年度活動において、ユニーク企画 最優秀賞を受賞しております。

(5) 第五分科会

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等	参加人数
1	6月21日(金)	富士通 本社事務所 テーマ：少子化時代に際立つ！ブランド戦略を考える ①講義：何のためにマーケティング活動をするのか (株) スコラ・コンサルティング 顧客創造プロセスデザイナー 長野 氏 ②講義：マーケティング手法の理解と実践 (クロスSWOT、コアコンピタンス、価値分析、4P/4C) ③演習：自大学の強みを考える ④グループ討議(振り返り)	23 名
2	10月25日(金)	富士通トラステッド・クラウド・スクエア テーマ：ブランド戦略成功事例から学び自大学の成功要因をつかむ ①講義：定員割れからのブランド戦略 (前) 前橋国際大学 大学運営センター長 岩田 氏 ②グループ討議：成功事例分析	20 名

参加人数計 43 名

(6) 第六分科会

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等	参加人数
1	6月13日(木)	関西大学 千里山キャンパス テーマ：大学間で共同利用可能なクラウド環境の考察 ①先行事例：「edubase Cloud」紹介 ークラウドコンピューティングで変わる大学のIT活用と将来展望ー 国立情報学研究所 GRACEセンター 吉岡 氏 ②先行事例：e-Knowledgeコンソーシアム四国紹介（質疑応答含む） ー成果と課題、今後の展望ー 香川大学 総合情報センター 教授 林 氏 ③ソリューション紹介：アプリブッシュ型新技術 富士通（株） ④施設見学（関西大学千里山キャンパス）	73 名
2	7月11日(木) 【WG】	富士通 関西システムラボラトリ テーマ：IRに関する情報を相互に提示・確認の上、IRとは何か、 分科会で何ができるのかを議論し、今後の具体的活動について検討する ・第六分科会活動計画とWG主旨について ・IR活用事例の紹介 富士通（株） ・各大学での取組み状況、留意事項等の説明 ・事例紹介 関西学院 小野 氏 ・2013年度活動における検討テーマ／成果物／スケジュールの再検討	－ 名
3	9月6日(金) 【WG】	富士通 関西システムラボラトリ テーマ：大学間で共同利用することを考慮し、IRテンプレートについて、 共同利用の可能性を検討する。 ・仮説アンケート結果確認 ・シナリオの検討・決定 ・シナリオに基づき、アンケート結果の中から項目を決定 ・項目の管理ポイント（分析視点「～別」）の決定	15 名
4	10月9日(木)	大阪工業大学 うめきたナレッジセンター テーマ：大学間で共同利用可能なクラウド（アプリケーション）の考察 ①事例紹介：大阪府立大学におけるIR取組み事例 大阪府立大学 学長補佐 高橋 氏 ②事例紹介：京都府における共同運営システムへの取り組みについて 京都府 政策企画部 情報技術専門監 原田 氏 ③施設見学（グランフロント大阪 ナレッジキャピタル） ④意見交換会 ⑤WG活動状況報告	53 名
5	11月14日(木) 【WG】	富士通 関西システムラボラトリ テーマ：大学間で共同利用することを考慮し、IRテンプレートについて、 共同利用の可能性を検討する。 ・分析テンプレートの評価・討議（分析評価アンケート集計結果より） ・IRテンプレートのクラウド利用について（富士通からの提言） ・11/28次回分科会でのWG報告について	15 名
6	11月28日(木)	甲南大学 ポートアイランドキャンパス テーマ：大学間で共同利用可能なクラウド（アプリケーション）の考察 ①事例紹介：千葉工業大学における法人事務システム等の標準パッケージ 適用事例について ークラウドのフル活用による業務システム運用ー 千葉工業大学 法人事務局次長兼財務部長 松尾 氏 ②WG活動報告（IR分析テンプレートの実証実験について） ③意見交換会 ④施設見学1（甲南大学 見学） ⑤施設見学2（理化学研究所「京」見学）	54 名

参加人数計 180 名

■第六分科会は、2013年度活動において、ユニーク企画 優秀賞を受賞しております。

(7) 総会

開催日	場所・内容等	参加人数
6月7日(金)	富士通 本社事務所 ①総会議事 ②特別講演：わかりあえないことから 劇作家・演出家 大阪大学コミュニケーションデザインセンター 教授 平田 氏	123 名

(8) 合同研修会

開催日	場所・内容等	参加人数
8月29日(木) ～30日(金)	浜名湖ロイヤルホテル ①特別講演：大学におけるビックデータの活用について考える 立教大学 経営学部 教授 佐々木 氏 ②事例紹介：実践事例に見るビックデータ活用最前線 富士通(株) ミドルウェア事業本部 シニアディレクター 倉知 氏 ③討議：あなたにとって大学におけるビックデータとは(ワールド・カフェ形式) ④賛助会員ソリューション紹介 ⑤ワークショップ ⑥分科会活動	160 名

(9) トピックス企画

開催日	場所・内容等	参加人数
管理職セミナー 5月16日(木)	富士通トラステッド・クラウド・スクエア テーマ：大学の未来を創造するための管理職の役割とは～組織連携を中心として～ (株) スコラ・コンサルト 顧客創造プロセスデザイナー 長野 氏 ①オリエンテーション：主催者の挨拶、セミナーの全体像と今回の進め方、ひとり一言 ②ジブンガタリ ③情報提供 ～企業と大学の事例から学ぶ「なぜ連携が必要なのか」 ④モヤモヤガタリ／ミライガタリ ⑤ひとりずつ感想、次回の予定、宿題など	18 名
管理職セミナー 8月7日(水)	富士通トラステッド・クラウド・スクエア テーマ：大学の未来を創造するための管理職の役割とは～組織連携を中心として～ (株) スコラ・コンサルト 顧客創造プロセスデザイナー 長野 氏 ①オリエンテーション：主催者の挨拶、セミナーの全体像と今回の進め方、ひとり一言 ②各大学の実現したい未来の姿を「1つの軸」「2つの価値」「3つの賞品・サービス」で定める ③未来の姿の実現を阻む制約条件と突破口を探る ④Q&A、まとめ ⑤ひとりずつ感想	16 名
技術講習会 12月2日(月)	富士通トラステッド・クラウド・スクエア テーマ：情報技術(IT)の基礎知識 富士通エフ・オー・エム(株) 大和田 氏 (1) 導入 (2) 第7章 基礎理論 ー基礎理論 ーアルゴリズムとプログラミング (3) 第8章 コンピュータシステム ーコンピュータ構成要素 ーシステム構成要素 ーソフトウェア ーハードウェア ー章末問題 (4) 過去問題プログラムの紹介、質疑応答	20 名
技術講習会 12月9日(月)	富士通トラステッド・クラウド・スクエア テーマ：情報技術(IT)の基礎知識 富士通エフ・オー・エム(株) 大和田 氏 (1) 第9章 技術要素 ーヒューマンインタフェース ーマルチメディア ーデータベース ーネットワーク ーセキュリティ ー章末問題 (2) 質疑応答 (3) 第1章 法務部分 ー知的財産権、セキュリティ関連法規、個人情報保護法ー	24 名

2014年度活動実績

大学名は、開催時点での大学名を記載しております。

(1) 第一分科会

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等	参加人数
1	5月28日(水)	帝京大学 八王子キャンパス テーマ：魅力あふれる授業に学ぶー反転授業ー ①土持先生の授業：「総合基礎 一般教養セミナーⅠ」を見学 ②ご講演とワークショップ（反転授業の体験学習） 帝京大学 高等教育開発センター長・教授 総合教育センター長 土持 氏 ③メディアライブラリーセンター紹介と見学	34 名
2	6月20日(金)	明星大学 日野校 テーマ：初年次教育（グループ学習を中心とした初年次教育の紹介） ①「自立と体験1」授業見学 明星大学 人文学部 国際コミュニケーション学科 教授 菊地 氏 以下授業の見学となります。 ・図書館を知る ・大学職員を取材する ・大学を紹介する（ポスター製作）・自分や相手の大切さを知る ②ご講演とワークショップ ③意見交換会（全体を通しての質疑等）	38 名
3	8月28日(木) ～29日(金)	浜名湖ロイヤルホテル テーマ：オンライン講座（MOOCs、JM00Cの現状と可能性について紹介） 午前の部 ①講演：日本におけるMOOCの現状について 一般社団法人日本オープンオンライン教育推進協議会事務局長 明治大学 研究知財戦略機構 特任教授 福原 氏 ②講座制作のご紹介 富士通エフ・オー・エム(株) 林 氏 ③ワークショップ1 第一分科会と第二分科会合同にてワールド・カフェ テーマ：「MOOCの楽しい活用法！」 午後の部 ④MOOCに関する当社の取組み 富士通(株) 石岡 氏 ⑤ワークショップ2 テーマ：「あなたの組織にとって、JM00C活用する上での一番困難な問題は！」 ⑥まとめ	27 名
4	10月29日(水) ～30日(木)	公立はこだて未来大学、函館大学 テーマ：プロジェクト学習、キャンパス・コンソーシアム函館 ①講演：未来大学 プロジェクト学習（システム情報科学実習） 公立はこだて未来大学 システム情報科学部複雑系知能学科 准教授 竹之内 氏 ②授業見学 ③施設紹介と見学 ④意見交換会（質疑応答） ⑤講演：キャンパス・コンソーシアム函館の取組、その成果と課題 函館大学 教授・入試部長 キャンパス・コンソーシアム函館 運営会議 座長 田中 氏 ⑥キャンパス紹介と見学 ⑦意見交換会（質疑応答）	23 名
5	12月8日(月)	千葉工業大学 津田沼キャンパス テーマ：魅力あふれる授業に学ぶ～学生を惹きつける授業～ ①講演：アメリカと日本の大学教育の比較とそれに基づく私の教育術 千葉工業大学 未来ロボット技術研究センター研究員 富山 氏 ②施設見学	29 名

参加人数計 151 名

(2) 第二分科会

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等	参加人数
1	5月19日(月)	富士通トラステッド・クラウド・スクエア テーマ：業務改善の主役になるためには「実践編」 ①講演：業務改善の主役になる「実践編」 「PDCAはもう古い」 政策研究大学院大学 教授 岡本 氏 ②討議	55 名
2	6月26日(木) ～27日(金)	甲南大学、キャンパスプラザ京都、同志社大学 テーマ：ICTを活用した教育支援、ラーニング・コモンズ ①講演：ICTを活用した教育支援とラーニング・コモンズ 甲南大学 情報教育研究センター 所長 マネジメント創造学部 教授 井上 氏 ②施設見学 ③討議 ④業務改善(手法、事例、実践) 1 富士通(株) FI本部第六統括部 大可 氏、第七統括部 小栗 氏 ⑤事例紹介：政策実現を導くための職員の専門性を考える ～ラーニング・コモンズの設置を事例に～ 同志社大学 教育支援機構 学習支援・教育開発センター事務長 井上 氏 ⑥質疑応答 ⑦同志社大学 ラーニング・コモンズの紹介と見学	63 名
3	8月28日(木) ～29日(金)	浜名湖ロイヤルホテル テーマ：JM00Cの紹介と体験／ファシリテーション入門実践研修 午前の部 ①講演：日本におけるMOOCの現状について 一般社団法人日本オープンオンライン教育推進協議会事務局長 明治大学 研究知財戦略機構 特任教授 福原 氏 ②講座制作のご紹介 富士通エフ・オー・エム(株) 林 氏 ③質疑応答 ④ワークショップ1 第一分科会と第二分科会合同にてワールド・カフェ テーマ：「MOOCの楽しい活用法！」 午後の部 ⑤ファシリテーション入門 実践研修 富士通(株) フィールド・イノベーション本部 有馬 氏	25 名
4	10月17日(金)	青山学院大学 青山キャンパス テーマ：ICTを活用した教育支援 ①紹介：教育機関の情報センターの役割と将来構想 ～青山学院大学附置 情報メディアセンター(AIM)での試み～ 青山学院大学附置情報メディアセンター所長・社会情報学部 教授 宮川 氏 LMSを活用したアクティブラーニングのデザイン 青山学院大学 情報メディアセンター 助教 湯浅 氏 ②施設紹介と見学 ③グループ討議 ④業務改善のテーマ設定と施策展開の考え方 ～FI活動による業務改善事例の紹介～ 富士通(株) フィールド・イノベーション本部 フィールドイノベータ 首藤 氏	45 名
5	12月9日(火)	富士通トラステッド・クラウド・スクエア テーマ：eポートフォリオ／業務改善 ①講演：eポートフォリオ 2.0 ～eポートフォリオの本質的役割と活用方法～ 東京学芸大学 情報処理センター 准教授 森本 氏 ②ソリューション紹介：大学IRツール(分析テンプレート) ご紹介 富士通(株) ヘルスケア・文教システム事業本部 文教第二ソリューション統括部 第一ソリューション部 榎原 氏 ③業務改善2「業務改善を“継続”させるには」 富士通(株) フィールド・イノベーション本部 フィールドイノベータ 首藤 氏、下山 氏 ④施設見学 ⑤今年度活動のまとめ	46 名

参加人数計 234 名

(3) 第三分科会

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等	参加人数
1	5月30日(金)	株式会社内田洋行 東京 ユビキタス協創広場 CANVAS (カンバス) テーマ：最新システム事例紹介1 ①ご紹介：アクティブラーニングを支えるインフラの利活用 (株)内田洋行 公共本部 高等教育事業部 東日本営業部 荒井 氏、石島 氏 ②ご紹介：キャンパス向けセキュリティソリューション マカフィー (株) サイバー戦略室 室長 本橋 氏 公共営業本部 テリトリーアカウントマネージャ 池田 氏 ③意見交換会 ④施設見学	56 名
2	7月3日(木)	慶應義塾大学 湘南藤沢キャンパス テーマ：最新システム事例紹介2 ①施設見学 ②事例紹介：慶應義塾インフォメーションテクノロジーセンター 慶應義塾大学 ITC本部 課長 金子 氏 ③ソリューション紹介 ソフトバンクテレコム (株) 担当部長 前川 氏 ④意見交換会	54 名
3	8月28日(木) ～29日(金)	浜名湖ロイヤルホテル テーマ：大学システムにおけるマルチデバイスの活用を探る！ ～事例紹介、ディスカッションを交えて～ 午前の部 ①紹介：スマートデバイスソリューション (株)富士通マーケティング ②紹介：無線対応プレゼンテーション用機器wivia (株)内田洋行 ③パネルディスカッション：「キャンパスでの活用I」～こんな環境がほしかった～ 午後の部 ④グループディスカッション：「キャンパスでの活用II」～ICT環境の提案～ ⑤発表(各グループ発表) ⑥まとめ(第三分科会の提案)、おわりに	40 名
4	10月23日(木) ～24日(金)	名古屋外国語大学 日進キャンパス、愛知学院大学 名城公園キャンパス テーマ：最新システム事例紹介3 ①事例紹介：キャンパスネットワーク環境整備について 名古屋外国語大学 法人事務局電算システム室 須賀 氏 ②施設見学 ③Office 365サービス概要の解説 日本マイクロソフト (株) パブリックセクター統括本部 テクノロジーソリューションセールス本部 ソリューションスペシャリスト 小林 氏 ④ソリューション紹介：標的型サイバー攻撃の内部対策「iNetSec Intra Wall」 ～入口・出口対策だけでは守り切れない～ 富士通 (株) ネットワークソリューションセンター 西日本ネットワークソリューション部 部長 岡本 氏 (株)PFU プロダクト営業統括部 主任 加藤 氏 ⑤ご紹介：愛知学院大学の情報環境と名城公園キャンパスでの取り組みについて 知学院大学 ネットワークセンター 酒井 氏 ⑥施設見学 ⑦意見交換	36 名
5	12月5日(金)	関東学院大学 横浜・金沢八景キャンパス テーマ：最新システム事例紹介4 ①事例紹介：仮想基幹サーバの更新とDaas活用による事務PCシンクライアント化 関東学院大学 情報科学センター運用課 課長 小糸 氏 ②ソリューション紹介：クラウドデスクトップサービスのご紹介と 関東学院大学の導入事例から見えるDaaSの選定ポイント (株)TOKAIコミュニケーションズ キャリアサービス事業部 永田 氏 ③ソリューション紹介：学内のパソコンやサーバ資産を活用 仮想ストレージシステム「Z!Storage」ご紹介 ソフト・オン・ネット ジャパン (株) マネージャー 地主 氏 ④施設見学 ⑤意見交換会	41 名

参加人数計 227 名

■第三分科会は、2014年度活動において、ユニーク企画 最優秀賞を受賞しております。

(4) 第四分科会

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等	参加人数
1	5月23日(金)	<p>帝京大学 八王子キャンパス テーマ：図書館と学習支援</p> <p>①講演：メディアライブラリーセンターが目指す学習支援と 共読ライブラリープロジェクトについて 帝京大学 メディアライブラリーセンター グループリーダー 中嶋 氏</p> <p>②メディアライブラリーセンター見学</p> <p>③紹介：大学IRとは 富士通(株) ヘルスケア・文教システム事業本部 文教第二ソリューション統括部 マネージャー 植田 氏</p> <p>④意見交換会(ワールド・カフェ形式)</p>	41名
2	6月27日(金)	<p>首都大学東京 南大沢キャンパス テーマ：学習支援のための技術</p> <p>①紹介：首都大東京におけるラーニング・コモンズ 首都大学東京 首都大学東京管理部 学術情報基盤センター事務局 事務長 辻 氏</p> <p>②施設見学</p> <p>③講演：続・これからの学術情報システム -ERDBプロジェクトとJAIR Cloudを中心に- 国立情報学研究所 コンテンツシステム開発室長 准教授 大向 氏</p> <p>④iLiswave-J ロードマップ 富士通(株) ヘルスケア・文教システム事業本部 次世代教育ソリューション統括部 芦田 氏</p> <p>⑤フィールド・イノベーションによる図書館利用傾向分析を大学IRにどう活かせるか 富士通(株) 株式会社 フィールド・イノベーション本部 井出 氏</p> <p>⑥意見交換会</p>	43名
3	8月28日(木) ～29日(金)	<p>浜名湖ロイヤルホテル テーマ：アクティブガイダンス</p> <p>午前の部</p> <p>①概要：図書館IRと利用者動向の捉え方 富士通(株) 井出 氏</p> <p>②講習：効果的なプレゼン講習 富士通エフ・オー・エム(株) 甲斐 氏</p> <p>③実習：効果的なプレゼン資料作成</p> <p>午後の部</p> <p>④発表：効果的なプレゼン資料 午前中の講習を受けて作った資料を発表</p> <p>⑤紹介：クリッカー"イマキク"とは</p> <p>⑥ガイダンスバトル：大学職員 vs 企業マン</p> <p>⑦まとめ・意見交換</p>	20名
4	10月17日(金)	<p>関西学院大学 西宮上ヶ原キャンパス、関西学院大学 神戸三田キャンパス テーマ：システム構築事例紹介とアカデミックコモンズ</p> <p>第1部(関西学院大学 西宮上ヶ原キャンパス)</p> <p>①関西学院大学図書館 図書館システム導入事例 関西学院大学 大学図書館 運営課 総合主管 服部 氏</p> <p>②関西学院大学 図書館システム 特徴的な機能のご紹介 富士通(株) ヘルスケア・文教システム事業本部 文教第二ソリューション統括部 第二ソリューション部 中村 氏</p> <p>③意見交換会(質疑応答を含む)</p> <p>④図書館見学</p> <p>第2部(関西学院大学 神戸三田キャンパス)</p> <p>⑤アカデミックコモンズの見学</p> <p>⑥アカデミックコモンズのご紹介 関西学院大学 神戸三田キャンパス 事務局 課長補佐 中谷 氏</p> <p>⑦図書メディア館の自由見学</p>	44名

(4) 第四分科会

◆活動スケジュール

5	12月5日 (金)	東京農業大学 世田谷キャンパス テーマ：ICTが支える図書館に取り組む学習支援 ①施設紹介 ②iLiswave-J V3 移行事例 東京農業大学 図書館事務課 柴本 氏 ③施設見学・質疑応答 ④図書館ログの分析報告 富士通 (株) フィールド・イノベーション本部 第七F I 統括部 フィールドイノベータ 井出 氏 富士通 (株) ヘルスケア・文教システム事業本部 文教第二ソリューション統括部 菊地 氏 ⑤iLiswave-J/SP14 紹介 富士通 (株) ヘルスケア・文教システム事業本部 次世代教育ソリューション統括部 芦田 氏 ⑥意見交換会・まとめ	43 名
---	-----------	---	------

参加人数計 191 名

(5) 第五分科会

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等	参加人数
1	7月1日 (金)	富士通 本社事務所 テーマ：MOOCってなんだ ～初心者にもわかるMOOCの全体像～ ①講演1：MOOCとは何か？ ～教育とICTの関係～ 富士通 (株) 文教・ヘルスケアビジネス推進統括部 次世代教育ビジネス推進室 シニアマネージャー 野沢 氏 ②講演2：大学経営の側面からみたMOOC/JMOOCとは 慶應義塾大学大学院 特任准教授 伊藤 氏 ③グループ討議	38 名
2	10月24日 (金)	大手前大学 さくら夙川キャンパス テーマ：他大学氏の実践事例を踏まえオンライン教育が大学運営に及ぼす 具体的影響を考察する ①講演：大手前大学におけるMOOCへの挑戦ーeラーニング、通信制大学、そしてMOOCー 大手前大学 情報メディアセンター長 畑 氏 ②コンテンツ製作設備とCELLs (小教室) の見学及びコンテンツ作成の企画を含めた 過程のご説明 大手前大学 情報メディアセンター長 畑 氏 (説明) 情報メディアセンター主任 西尾 氏 (設備、施設見学) ③オンラインコースに対する当社の検討内容について 富士通 (株) 次世代教育ビジネス推進室 室長 瀬瀬 氏 ④意見交換、討議 (質疑応答含む)	40 名

参加人数計 78 名

(6) 第六分科会

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等	参加人数
1	7月28日(月)	株式会社富士通エフサス 西日本本部関西支社 テーマ：教育シーンでのタブレット活用の考察 ①講演：一人一台のタブレット端末、スマイル学習(武雄式反転授業)で教育が変わる 武雄市立武内小学校 校長 兼 武雄市教育監 代田 氏 ②ソリューション紹介(マーナビケーション) 富士通ネットワークソリューションズ(株) ソリューション開発本部 NIセンター 共通技術部 部長 真弓 氏 ③グループ討議(テーマ：タブレット活用にあたって) ④施設説明、見学(7階オフィスおよび10階フューチャーセンターの見学)	55 名
2	9月4日(木) 【WG】	富士通 関西システムラボラトリ テーマ：未来のタブレットを考える 学生向けタブレットの未来の活用シーンについて、 ソフト(コンテンツを含む)や利用方法、運用管理 ・第1回分科会でのグループ討議結果の整理(事務局) ・タブレットに関する各大学の状況を情報共有(各大学) ・タブレットを活用した広告による新たなビジネスモデルのご紹介 (富士通 ユビキタスサービス事業本部 法人ビジネス統括部) ・全体討議/意見交換 テーマ：未来のタブレットを考える ・2014年度WG活動のスケジュール/成果物の検討	22 名
3	10月2日(木)	学校法人常翔学園 テーマ：事務業務利用シーンでのタブレット活用の考察 ①ペーパーレス会議システム「WebコアConference」の操作方法説明 (株)富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ ②事例紹介：ペーパーレス会議システム使ってます！ 大阪工業大学 学長室企画課庶務担当課長 宇川 氏 情報センター事務室 室長 正司 氏 ③ソリューション紹介：MobileSUITE 富士通(株) ④グループ討議(テーマ：事務部門でのタブレット活用にあたって) ⑤WG活動報告 ～未来のタブレットを考える～ ⑥常翔歴史館の見学	42 名
4	11月13日(木) 【WG】	富士通 関西システムラボラトリ テーマ：タブレット生活実践報告 10月末から運営委員および有志の方に貸し出したWindowsタブレットについて、 実際に使用した上での意見を相互交換 ・第1回WG活動状況報告 ・タブレット生活実践報告 ：各大学での実践結果報告 ：富士通営業部門に試験的に配布されたタブレットの活用状況報告 ・全体討議/意見交換 ：タブレットの活用シーンについて ：2014年度WG活動の成果物の検討	16 名
5	11月26日(水)	京都産業大学 テーマ：教育シーンでのタブレット活用の考察、今年度の活動まとめ ①講演：九州大学における学生PCの必携化の取り組みについて 九州大学 情報統括本部長 藤村 氏 ②事例紹介：ICTを活用した営業ワークスタイルの変革を目指して 富士通(株) 産業・流通営業グループ プロモーション企画推進部 部長 武田 氏 ③事例紹介と施設見学：-共に学び、共に創る- 京都産業大学雄飛館ラーニングコモンズから見る “新しい”学習の難しさと可能性 京都産業大学 学長室 中澤 氏 ④施設見学：雄飛館ラーニングコモンズ、天文台 ⑤意見交換 ⑥第2回WGの活動報告	52 名

参加人数計 187 名

■第六分科会は、2014年度活動において、ユニーク企画 優秀賞を受賞しております。

(7) 総会

開催日	場所・内容等	参加人数
6月6日(金)	富士通 本社事務所 ①総会議事 ②特別講演 テーマ：チームメイクにおけるコーチングと強い組織づくり 講演者：神戸製鋼ラグビー部 ゼネラルマネージャー (元)ラグビー日本代表監督 平尾 氏	113 名

(8) 合同研修会

開催日	場所・内容等	参加人数
8月28日(木) ～29日(金)	浜名湖ロイヤルホテル ①特別講演：社会から期待される大学の姿 富士通(株) 顧問 伊東 氏 ②事例紹介1：MOOCの動向について 一般社団法人日本オープンオンライン教育推進協議会理事 明治大学法学部 教授 阪井 氏 ③事例紹介2：大学みらい会議(活動のご紹介) 富士通(株) 法務・コンプライアンス・知的財産本部 小堀 氏 富士通(株) 文教ビジネス推進部 植本 氏 ④グループワーク：スキルアップワークショップ ～アイデア発想手法の体験～ ファシリテーター 富士通(株) 法務・コンプライアンス・知的財産本部 豊原 氏、小堀 氏 ⑤賛助会員ソリューション紹介 ⑥分科会活動	179 名

(9) トピックス企画

回	開催日	場所・内容等	参加人数
1	最新技術セミナー 7月18日(金)	富士通 川崎工場 テーマ：ヒューマン セントリック・インテリジェントソサイエティ ①講演：人工頭脳プロジェクト ーロボットは東大に入れるかー (株)富士通研究所 ナレッジプラットフォーム研究部 主管研究員 九州大学 マス・フォア・インダストリ研究所 教授 国立情報学研究所 客員教授 穴井 氏 ②富士通テクノロジーホール(川崎工場本館 B1階)の見学 ③富士通研究所1階展示室の見学	27 名
2	技術講習会 11月18日(火)	富士通トラステッド・クラウド・スクエア テーマ：Excelを使ったビジュアル分析 Excel2013の機能やPower BIツールを使って、傾向、推移、特徴等が わかりやすい視覚に訴える分析資料の作成方法を学習 富士通エフ・オー・エム(株) ・ビジュアル分析の概要 ・ビジュアル分析のご紹介 ・分析表をビジュアル化しよう ・特殊グラフを作成しよう ・事実と傾向を把握しよう！ ・多次元データベースを作成・分析しよう ・ビジュアル分析レポートを作成しよう ・地域を要素としたビジュアル分析をしよう	28 名
3	技術講習会 11月20日(木)	富士通 関西システムラボラトリ テーマ：Excelを使ったビジュアル分析 Excel2013の機能やPower BIツールを使って、傾向、推移、特徴等が わかりやすい視覚に訴える分析資料の作成方法を学習 富士通エフ・オー・エム(株) ・ビジュアル分析の概要 ・ビジュアル分析のご紹介 ・分析表をビジュアル化しよう ・特殊グラフを作成しよう ・事実と傾向を把握しよう！ ・多次元データベースを作成・分析しよう ・ビジュアル分析レポートを作成しよう ・地域を要素としたビジュアル分析をしよう	15 名

2015年度活動実績(2015年9月1日時点)

大学名は、開催時点での大学名を記載しております。

(1) 第一分科会

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等	参加人数
1	5月28日(水)	グーグル オフィス、シスコシステムズ合同会社 東京本社 テーマ：LMS（大学教育をサポートするクラウドベースのツールを紹介） ①事例紹介：グーグルのグローバル展開とソリューション、サービスについて グーグル株式会社 日本統括責任者 菊池 氏 ②実機を使ったタッチ&トライ (Google Classroomなど) ③事例紹介：シスココラボレーションソリューションのご紹介 シスコシステムズ合同会社 コラボレーション営業部 プロダクトセールススペシャリスト エルカイリ カマル 氏	53 名
2	6月20日(金)	立正大学 熊谷キャンパス テーマ：協働学習 ①講演：立正大学地球環境科学部におけるアクティブ・ラーニングの取組み タブレットを用いた双方向授業を中心に 立正大学 地球環境科学部 教授 小松 氏 ②模擬授業：水文学（山地小河川における降雨流出） 立正大学 地球環境科学部 教授 小松 氏 ③意見交換会 ④施設見学	33 名
3	8月31日(月) ～9月1日(火)	浜名湖ロイヤルホテル テーマ：『反転授業』を正しく理解しよう！ 講師：(株) ハンテンシャ 加藤 氏 午前の部 ①講演：反転授業とは何か？ ②演習：よくある質問の「模範解答」を考える① ③講演：授業設計のポイント ④演習：教員の「行動規範」を考える ⑤講演：運用設計のポイント ⑥演習：よくある質問の「模範解答」を考える② 午後の部 ⑦講演：予習動画の作成法① ⑧演習：絵コンテを作成する ⑨講演：予習動画の作成法② ⑩講演：評価基準の作成方法 ⑪意見交換会・まとめ	34 名

参加人数計 120 名

(2) 第二分科会

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等	参加人数
1	5月19日(月)	株式会社富士通エフサス みなとみらいInnovation & Future Center テーマ：グローバルとは！？ ①講演：変わり続ける社会から、“グローバル人材”を考える 富士通(株) 人事本部人材採用センター長 山本 氏 ②討議 テーマ：グローバルとは！？ ③ソリューション紹介：学費クレジット決済サービスのご紹介 富士通(株) (株) 富士通システムズ・ウエスト ④施設紹介と見学	46 名
2	6月18日(木) ～19日(金)	札幌学院大学、千歳科学技術大学 テーマ：ダイバーシティ推進のためには！？ ①ソリューション紹介：聴覚障がい者参加型コミュニケーションツール 「FUJITSU Software LiveTalk」背景と開発の流れ 富士通(株) グローバルマーケティング本部 総合デザインセンター エキスパート 高本 氏、小野 氏 ②事例紹介：札幌学院大学における障がい学生支援の取り組みについて 札幌学院大学 学習支援室 係長 斎藤 氏 札幌学院大学 人文学部 教授 新國 氏 ③事例紹介：学生による本学の障がい学生支援の取り組み紹介 札幌学院大学 サポートデスク 遠藤 氏 札幌学院大学 テイカー養成チーム 齋藤 氏 ④討議 ⑤施設見学 ⑥講演：大学での主体的な学びの支援に向けて 千歳科学技術大学 理工学部 グローバルシステムデザイン学科 教授 キャリアセンター長 小松川 氏 ⑦プロジェクト活動(英語、情報、理科)の見学 ⑧意見交換会 ⑨施設見学	40 名
3	8月31日(月) ～9月1日(火)	浜名湖ロイヤルホテル テーマ：効果的なプレゼンテーションテクニックを楽しく習得しよう！ ①ガイダンス ②演習1 ③講習 富士通エフ・オー・エム(株) トレーニングコンサルタント 甲斐 氏 ④演習2 ⑤演習3	29 名

参加人数計 115 名

(3) 第三分科会

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等	参加人数
1	5月28日(木)	<p>日本マイクロソフト株式会社 品川本社</p> <p>テーマ：最新システム事例紹介1</p> <p>①事例紹介：マイクロソフトクラウドデータセンターのご紹介 日本マイクロソフト(株) マーケティング&オペレーション部門 プラットフォーム戦略部門 業務執行役 本部長 越川 氏</p> <p>②事例紹介：クラウド上のディレクトリを活用した学内共通認証基盤の実現 日本マイクロソフト(株) デベロッパーエバンジェリズム統括本部 テクニカルエバンジェリスト 安納 氏</p> <p>③ソリューション紹介：クラウド活用の勘所と FUJITSU Cloud A5 for Microsoft Azureご紹介 富士通(株) サービス&システムビジネス推進本部 公共サービス&システムビジネス統括部 首都圏ビジネス部 三苦 氏</p> <p>④施設紹介と見学：マイクロソフトの取り組み及びオフィスツアー</p> <p>⑤意見交換会</p>	52 名
2	7月17日(金)	<p>津田塾大学 小平キャンパス</p> <p>テーマ：最新システム事例紹介2</p> <p>①システム構築事例紹介：津田塾大学の情報サービスの概要 ～今までの取組！これからの行方？～ 津田塾大学 視聴覚センター 石井 氏 マルチOS環境に対応したシステムと今後について考える キャノンITソリューションズ(株) 基盤開発センター 基盤開発第一部 九石 氏</p> <p>②施設見学：計算センター、視聴覚センター</p> <p>③意見交換会</p>	51 名
3	8月31日(月) ～9月1日(火)	<p>浜名湖ロイヤルホテル</p> <p>テーマ：最新システム事例紹介3</p> <p>午前の部</p> <p>①講演：最新OS Windows 10紹介 日本マイクロソフト株式会社 胡口 氏</p> <p>②グループディスカッション&発表資料作成：大学でこんな活用できるのでは？</p> <p>③グループ発表</p> <p>午後の部</p> <p>④講演：IT環境を取り巻く現状 ～ 巧妙化するサイバー攻撃、標的型攻撃の実態 マカフィー株式会社 開本 氏</p> <p>⑤紹介：脅威の現状理解と今やるべきことの方角性について 日本マイクロソフト株式会社 川添 氏</p> <p>⑥グループディスカッション</p> <p>①OGCチェックシートの紹介</p> <p>②シート記入、レーダーチャート作成</p> <p>③結果確認</p> <p>④大学の取り組み施策検討</p> <p>⑦グループ発表・まとめ</p>	50 名

参加人数計 153 名

(4) 第四分科会

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等	参加人数
1	5月22日(金)	<p>東京都市大学 世田谷キャンパス</p> <p>テーマ：ラーニング・コモンズの10年とこれから</p> <p>①事例紹介と図書館見学 事例紹介：ラーニング・コモンズ環境の整備 東京都市大学 図書館事務センター（世田谷キャンパス担当）事務員 猶江 氏</p> <p>②講演：大学図書館の活力の源 ～本のチカラ、人のチカラ、データのチカラ～ 鶴見大学 学術情報事務長 長谷川 氏</p> <p>③最新技術紹介：AR (Augmented Reality) 技術について 富士通 (株)</p> <p>④ワークショップ</p> <p>⑤事例紹介：ネットワークセントリック（今までの10年）から ラーナーセントリック（これからの10年）への転換 ～その時、図書館は 富士通 (株)</p> <p>⑥グループ討議</p> <p>⑦iLiswave-J 事例紹介：博士論文の国会図書館による自動収集について 富士通 (株)</p>	64 名
2	6月26日(金)	<p>明治大学 駿河台キャンパス</p> <p>テーマ：電子ジャーナルの10年とこれから</p> <p>①システム構築事例紹介：明治大学図書館の概要 明治大学 学術・社会連携部 図書館総務事務室 梅田 氏 明治大学様導入事例 富士通 (株) 行政・文教システム事業本部 文教第二ソリューション統括部 第二ソリューション部 松永 氏</p> <p>②ワークショップ：EBSCO Discovery Service (EDS) vs Summon EBSCO Discovery Service (EDS) で実現できること EBSCO International Inc., Japan 古永 氏 Web Scale Discovery Service Summon の概要と導入の効果 (株) サンメディア e-Port 長谷川 氏</p> <p>③講演：MOOCの海外動向とJMOOCの展開 明治大学 法学部 教授 阪井 氏</p> <p>④施設見学：中央図書館・米沢嘉博記念図書館</p> <p>⑤富士通・大学図書ソリューションセミナープレビュー 新たな時代を切り拓く最新図書館システム iLiswave-J V3 富士通 (株) 行政・文教システム事業本部 次世代教育ソリューション統括部 第一ソリューション開発部 芦田 氏</p>	56 名
3	8月31日(月) ～9月1日(火)	<p>浜名湖ロイヤルホテル</p> <p>テーマ：～お手軽MOOCでオンラインガイダンス、反転ガイダンスに挑戦～</p> <p>①ソリューション紹介：Web会議ツールを使って遠隔地ガイダンス「シスコ WebEX」 富士通 (株) 行政・文教システム事業本部 文教第二ソリューション統括部 第二ソリューション部 塩田 氏</p> <p>②講演：「お手軽MOOC」ってなに？ ～ ちょっとはずかしがり屋さんもOK、 音声付ビデオ教材を簡単に作成する ～ (財)九州先端科学技術研究所 副所長 村上 氏(SS研 会長)</p> <p>③実習：お手軽MOOCでオンラインガイダンス反転ガイダンスに挑戦 ～SACを用いた講義動画の作成～ (財)九州先端科学技術研究所 研究員 吉松 氏</p> <p>④オンラインガイダンス発表</p> <p>⑤アクティブラーニング最新動向： ラーニングコモンズを支援するWebコア Innovation Suiteの可能性について (株)富士通ソーシアルサイエンスラボトリ 米澤 氏</p> <p>⑥意見交換：テーマ「アクティブラーニングツールを次世代図書館サービスに活かす」</p>	30 名

参加人数計 150 名

(5) 第五分科会

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等	参加人数
1	7月14日(火)	芝浦工業大学 芝浦キャンパス テーマ：今、大学のグローバル化に求められているモノとコト ①講演：スーパーグローバル大学等事業採択の意味することとは 芝浦工業大学 教育イノベーション推進センター教授 新井 氏 ②グローバルPBLビデオ紹介：SIT meets HUST 芝浦工業大学学生の手ノイ理工科大学遠征記 ③事例紹介：学部窓口もグローバル化対応へ 『大学職員のためのとっさのひとこと英会話』プロジェクト 法政大学 学務部教育支援課 課長 平山 氏 法政大学 教学企画課教学改革 担当 岡田 氏 ④ワールド・カフェ テーマ：グローバル化を推進する大学が求める職員とは？ ⑤まとめと講評	39 名

参加人数計 39 名

(6) 第六分科会

◆活動スケジュール

回	開催日	場所・内容等	参加人数
1	6月30日(火)	近畿大学 東大阪キャンパス テーマ：大学とクラウド ①講演：大学・研究機関のためのクラウド導入・利用支援 国立情報学研究所 アーキテクチャ科学研究系 クラウド基盤研究開発センター長 教授 合田 氏 ②ソリューションならびに取組み紹介：「成長」「革新」を支える 富士通の最新クラウド 富士通(株) 統合商品戦略本部 クラウドイニシアティブセンター クラウドサービス推進部 山口 氏 ③意見交換会 ④施設見学	89 名

参加人数計 89 名

(7) 総会及び創立30周年記念式典

開催日	場所・内容等	参加人数
6月5日(金)	富士通 本社事務所、ロイヤルパークホテル ザ 汐留 ①総会議事 ②特別講演：あたり前が変われば、結果は変わる！ 富士通アメリカンフットボール部 フロンティアーズ ヘッドコーチ 藤田 氏	124 名

(8) 合同研修会

開催日	場所・内容等	参加人数
8月31日(月) ～9月1日(火)	浜名湖ロイヤルホテル ①特別講演：教育のグローバル化を欧州初等教育の実践から学ぶ 学校法人東洋大学 京北幼稚園 園長 川合 氏 ②ワークショップ1：業務課題の抽出(アイスブレイク) スキルアップ講座(TCoM：交流制約法の体験と習得) 明治大学 法学部 教授 阪井 氏(CS研会長) ③賛助会員ソリューション紹介 ④分科会活動	205 名

海外セミナー一覧

名称	第1回海外セミナー 「米国大学の先端的情報環境の調査」
開催国	アメリカ合衆国
開催日	1990年10月16日（火）～31日（水）
開催目的	米国の代表的な大学における情報化の動向と先端的な情報処理環境に関する調査と情報交換および施設の見学を行った。これより、会員大学の次代を担う教職員の視野を広めるとともに、これからの日本の私立大学の情報化の方向性を見だし理想の学園作りの一助とする事を目的として実施した。

名称	第2回海外セミナー（第1回アジアセミナー） 「中国－日本キャンパスシステム研究会」
開催国	中華人民共和国
開催日	1995年8月20日（日）～26日（土）
開催目的	中国の代表的な大学と教育・研究、事務、図書館などのコンピュータ利用技術についての交流を行いCS研での活動内容をアジアに向けて発信することで、会員校教職員の視野と研鑽を深め、次代を担う教職員の養成を図ることを目的として実施した。

名称	第3回海外セミナー 「米国大学先進システム視察」
開催国	アメリカ合衆国
開催日	1996年10月1日（火）～12日（土）
開催目的	我が国の大学におけるコンピュータ及びネットワークを中心としたシステム環境は、大きく変化しつつある。具体的には、パーソナルコンピュータ／ワークステーションの急速な普及に伴う分散処理の拡大と全学的なネットワーク構築が進行中であり、これらを駆使したユーザサービスの高度化を、各大学は実現しようと模索している。この海外セミナーは、これらの状況を踏まえて先進的なシステムを構築している米国大学の状況を調査し、情報交換を行うとともに、先端技術の展示会や企業の視察を行うことで、今後の私立大学の情報化の方向性を見いだすことを目的として実施した。

名称	第4回海外セミナー（第2回アジアセミナー） 「アジアのコンピュータ事情視察」
開催国	シンガポール共和国、タイ王国
開催日	1997年9月6日（土）～14日（日）
開催目的	「アジア諸国との連携と貢献」を目的とし、シンガポール・タイ両国の代表的な大学に於けるコンピュータ利用事情の視察とコンピュータ利用技術の交流を行なうことで、国際化に向けた私立大学の情報化の方向性を見いだすとともに、会員校教職員の視野と研鑽を深め次代を担う教職員の養成を図ることを目的として実施した。

名称	第5回海外セミナー（第3回アジアセミナー） 「アジア諸国との連携と貢献」
開催国	日本
開催日	1998年8月26日（水）～28日（金）
開催目的	1998年度分科会合同研修会の実施に併せて、第三回アジアセミナーを行った。第一回アジアセミナー（1995年8月20日～26日、中国－日本キャンパスシステム研究会）で訪問した中国の大学の教職員を招待し、「アジア諸国との連携貢献」を目的として講演及び交流会を実施した。

名称	第6回海外セミナー（第4回アジアセミナー） 「韓国先進大学システム視察」
開催国	大韓民国
開催日	2005年9月7日（水）～10日（土）
開催目的	韓国の代表的な大学等におけるIT利用事情の視察ならびに利用技術についての交流を行うことで、会員校教職員の視野と研鑽を深め、次代を担う教職員の養成を図ることを目的として実施した。

名称	第7回海外セミナー 「フィンランド教育事情視察」
開催国	フィンランド共和国
開催日	2011年9月5日（月）～11日（日）
開催目的	海外セミナーにおいて訪れるフィンランドは、人口約500万人の小国であるが、ノキア社などの世界的企業を有するヨーロッパ内でも有数の経済大国かつ電子政府立国である。また、同時にOECD生徒の学習到達度調査（PISA）において世界トップクラスの学力を誇る教育立国でもある。今回のセミナーは、フィンランドの教育現場の実情とIT利用事情の視察を行うことにより、会員校教職員ならびに賛助会員の方々の更なる視野拡大と次代を担う教職員の養成を図ることを目的として実施した。

情報戦略フォーラム実施一覧

名称	第1回情報戦略フォーラム
実施日/実施場所	2009年7月21日（火）/富士通汐留本社
特別講演	立命館大学 本間 政雄 氏 「経営戦略からみた情報戦略」
パネルディスカッション	「情報戦略を切り口とした経営戦略を考える」

名称	第2回情報戦略フォーラム
テーマ	「大学・研究機関における「情報」の利活用戦略 ～改革の推進者は誰か～」
実施日/実施場所	2010年7月27日（火）/富士通汐留本社
基調講演	早稲田大学 深澤 良彰 氏 「大学における情報利活用のステークホルダーとその活用戦略」
事例紹介	金沢工業大学 福田 謙之 氏 「教育付加価値日本一を目指して（教育のシステム化）」 和歌山大学 小畑 力人 氏 「国立大と私立大の比較から大学の学生受け入れと広報戦略を考える」 富士通 利光 哲哉 氏 「IRに向けた情報分析と活用方法について」

名称	第3回情報戦略フォーラム
テーマ	「危機を乗り越える組織とは ～持続的な変革を目指して～」
実施日/実施場所	2011年8月2日（火）/富士通関西システムラボラトリ
基調講演	大阪府立大学 奥野 武俊 氏 「公立大学における人材育成～地域から世界へ～」
事例紹介	愛媛大学 秦 敬治 氏 「大学における戦略的人材育成の必要性とその事例」 富士通総研 古本 勉 氏 「東日本大震災をふまえた実践的な危機対応 ～大学における危機管理への取組みについて～」
パネルディスカッション	「組織にとっての危機管理と人材育成」

名称	第4回情報戦略フォーラム
テーマ	「ICTを活用した将来の教育研究現場とは～大学・研究所におけるICTの新動向を探る～」
実施日/実施場所	2012年8月21日（火）/富士通汐留本社
基調講演	東京大学 藤原 毅夫 氏 「理想の教科書Today-eTEXTの開発とICTを用いた教育改革」
事例紹介	横浜国立大学 徐 浩源 氏 「学生の学習行動見える化に向けた新たな取り組み～学びログとは」 芝浦工業大学 井上 雅裕 氏 「理工学教育におけるジェネリックスキル育成の新たな取り組みと アセスメント」 パワープレイス 濱村 道治 氏 「近未来の教育現場とは？」
パネルディスカッション	「将来の教育・研究の場をデザインする」

名称	第5回情報戦略フォーラム
テーマ	「大学はどこに向かう ～あらためて戦略を考える～」
実施日/実施場所	2013年8月6日（火）/富士通汐留本社
基調講演	東京大学 小林 雅之 氏 「大学ガバナンスの課題」
事例紹介	岡山大学 稗田 隆 氏 「情報統括による大学の見える化の推進」 明治大学 福原 美三 氏 「オープンエデュケーションの現状と今後の展望」
パネルディスカッション	「大学にイノベーションを起こす！」

名称	第6回情報戦略フォーラム
テーマ	「オープンエデュケーションが大学教育をどう変えていくのか？」
実施日/実施場所	2014年8月6日（水）/富士通汐留本社
基調講演	京都大学 飯吉 透 氏 「日本の教育に今何が欠けているのか？」
事例紹介	法政大学 児玉 靖司 氏 「ICTを用いたブレンデッド学習の新潮流」 慶應義塾大学 伊藤 健二 氏 「大学経営面から見たMOOCへの期待と可能性について」
富士通メッセージ	富士通 伊東 千秋 氏 「デジタルラーニング」
パネルディスカッション	「MOOCで伸びる大学、消える大学！？」

名称	第7回情報戦略フォーラム
テーマ	「クラウド化で大学の教育研究はどう変わるか？」
実施日/実施場所	2015年8月4日（火）/富士通汐留本社
講演	文部科学省 渡邊 和良 氏 「大学におけるクラウドの活用について」 国立情報学研究所 合田 憲人 氏 「大学・研究機関のためのクラウド導入・利用支援」 九州大学 村上 和彰 氏 「OACFJ (Open Academy by Cloud Foundation Japan) で 大学はこう変わる」 富士通 太田 雅浩 氏 「富士通が考えるデジタルビジネスの世界」
パネルディスカッション	「大学の教育・研究・業務・運営の有り様がクラウドでどう変わるか？変えるべきか？」

あ　と　が　き

あとがき

私立大学キャンパスシステム研究会
副会長 山崎 達朗
(芝浦工業大学)

CS研の周年記念誌に寄稿するのは十五周年、二十周年に続き、今回で三度目となります。最初は分科会運営委員長として、二度目はCS研OBとして、そして三度目は副会長として「あとがき」を担当することになりました。執筆にあたり、過去の記念誌のあとがきを読み返したところ、錚々たる副会長の方々が格調高く各記念誌を締め括られておられます。三十周年記念誌を締め括るにあたり大学職員として副会長を務める意味とは、その役割とは何だろう。そんなところから想いをめぐらせているうちに気づいたことがあります。それは、この会が大学のコンピューターシステムユーザー会としては珍しく教育研究職を含みながらも技術職から事務職にわたる広範囲な職域を包含した研究会として活動しているということです。この事は現在のCS研を性格づける大きな要因となりました。

言わずもがなのことですが、大学におけるコンピューターシステムの普及は研究活動を中心教育、事務業務へと広がっていきました。CS研も大学のコンピューター運用に携わる研究者や技術員を中心に活動を始めています。ここに事務や図書館のシステム化を網羅していくことによって現在のCS研の基礎が形作られていきます。いわば、コンピューターセンターをコアとして大学の情報化を推し進めることが大きな使命のひとつでした。この使命は現在も変わっていません。変わったことといえば、コンピューターセンターや図書館で働いていた多くの専門職員が大学法人内の様々な部門へ転出していったこと、そしてコンピューター・ネットワークが一般の教職員や学生にとって日常生活の一部になっていることでしょう。インターネットが社会生活のインフラとして認知されて以降、データベースシステムは定形・不定形を問わず多彩なデータを受け入れるようになりましたし、そのデータへのアプローチの道筋は多様化の一途をたどっています。ビッグデータの概念とモバイルデバイスの急速な普及によって大学の情報化戦略は一層、ユーザー・セントリックな視点を要求されています。現在、CS研に集う会員はそれぞれの大学のあらゆる職域から、様々な課題を抱えて分科会に特別企画に参加しています。我々が抱える問題の多くは既にユーザーが取り込まれている情報環境を可能な限り正しく認識し、対処療法であったとしても何らかの解決策を提示しなければならないというジレンマにあるといえます。クラウドコンピューティングをはじめとした五里霧中のなかで大学の情報化戦略を模索している状態が「今」なのです。これまでも、そしてこれからもCS研が活動が続けるということは大学総体が直面する様々な状況の中で、多くの仲間達と手を携えて「今を生きる」ということなのでしょう。

CS研が三十年をかけて培ってきた協同の精神が、十年後の「今」を生きる皆さんの精神のインフラとなることを信じてやみません。最後に、これまでCS研を支えてくださった富士通ほか参加企業の皆さんと歴代会長をはじめとする諸先輩方への感謝、これからのCS研を盛り立ててくれるだろう後輩の皆さんへの期待を込めて三十周年記念誌の締め括りとします。

C S 研創立 3 0 周年記念誌

2015 年 12 月発行

発 行 私立大学キャンパスシステム研究会
URL <http://www.csken.or.jp>

編 集 私立大学キャンパスシステム研究会役員会

〔連絡先〕 〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター

私立大学キャンパスシステム研究会事務局
電話 03-6252-2565
E-mail : csweb-renraku@csken.or.jp

発行責任者 私立大学キャンパスシステム研究会役員会

印 刷 株式会社東京プリント
〒142-0051 東京都品川区平塚 1-16-1
電話 03-3786-8811 (代表)
